

て南に進み、土耳其軍を破り、一七八九年ボチムキンはベンデルを、一七九〇年シュヴァロフはイスマイルを占領した。塙將ラウドンも亦ベルグラードを占領した。

然るに、塙領ネーデルランド及び洪牙利に於て騒亂が起つた爲めに、土耳其方面に出征した塙地利軍にとつて後顧の憂を生じたのに加へて、一七九〇年普魯西は土耳其と同盟した。之は、塙地利の領土がバルカン半島に擴張して勢力過大になるに至らんことを懼れたが爲めである。普國外相ヘルツベルヒは、露國に土耳其の地を與へて、互に牽制せしむると共に、普魯西の爲めに、領土擴張の策を立て、露國にドニエステル河東の地を、塙地利にワラキヤ及びモルダヴィヤを各占領せしめ、その爲めに塙地利をしてガリチヤを波蘭に還附せしめ、波蘭をして普魯西にダンチヒ、トルン及びカリッシェを割讓せしめんことを圖つた。ヘルツベルヒの策は、要するに、塙地利の領土をバルカン半島に増して、露國と相争ふ地位に置き、その對外政策の重點を此の方面に轉せしめんと圖つたのである。然るに、此の年塙帝ジョセフ二世歿して、レオポルド二世位を襲ぐや、前帝の方針を更めて、内政を舊に復すると共に、普魯西とライヘンバッハ條約を結んで、互に和親を結んだ（一七九〇年七月）爲めに、ヘルツベルヒの建策はその儘實現するに至らなかつた。普塙兩國が互に和親を約したのは、佛國に起つた革命が漸く悪化した爲めに、之に對抗して獨逸諸邦の間に協力を保つことの必要を感じたからである。而して土耳其が力窮して和を請ふや、塙地利は佛國に於ける情勢を憂へてゐた爲めに、直に之に應じて、一七九一年八月土耳其とシストヴァ平和條約を結んで、古オルソヴァを割讓せしめた外は、總べて戦前の状態に復すべきことを約した。ついで、レオポルド二世は普魯西王フレデリック・ウィリヤム二世とピルニッツに會見して、互に親密を睦じうした。蓋し佛國革命の經過を憂へたが爲めである。

シストヴァ平和條約の未だ締結せられざる前、露軍は又もマツチンに於て土耳其軍を破つたが、普塙間に親善の關係が生じ、塙土間に平和條約締結せられた後は、露國も獨り永く戦争を繼續すること能はず、加ふるに波蘭の情勢は露國にとつて憂ふべきものがあつた爲めに、一七九二年正月九日露國は土耳其とヤッシー平和條約を結んで、オチャコフの外にドニエブル河下流ブグ河及びドニエステル河間の地を得、ドニエステル河を以て兩國の境界線と定め、且つ土耳其をしてクリミア半島が露國領に屬することを承認せしめた。されば、戦争の前、カタリナ帝が望んでゐた如く、君府を占領して、土耳其人を歐洲以外に驅逐せんと欲する大策は實現するに至らず、また戦争の爲めに費したところは少くなかつたとはいへ、前後二回の土耳其戦役に依つて、露國の領域は黒海に達して、ドニエブル、ブグ及びドニエステル三河間の地とクリミア半島とを領土に加ふることを得、君府に向つて進撃の前途は開かれたのである。

露國が土耳其と戦争中に、瑞典は露國に向つて開戦した。瑞典はペートル大帝の爲めに奪はれたバルチック沿海州を回復せんと欲する志を忘れなかつた。エリサベス女帝の代、塙地利繼承戦役の際に、瑞典は露國に向つて開戦したが、却て露軍の爲めに敗れて、一七四三年キュメネ河東フィンランドの地を割いて

和を結ぶに至つた。カタリナ二世が土耳其と戦うて、露軍がバルカン半島方面に集中せられた機會に乗じて、一七八八年瑞典は又もや露國に向つて開戦し、その艦隊はペテルスブルグを攻略せんと企てたが、露國艦隊の爲めに阻止せられて目的を達し得なかつた。されど、スウェンクスズンドの海戦に於て瑞典艦隊は大いに露國艦隊を破つた。而して陸上に於て兩軍は芬蘭に於て衝突したとはいへ、遂に決戦する迄に至らず、一七九〇年ヴェルロー平和條約は結ばれて、双方の境域は戦前の状態に復歸した。

三 波蘭の分割

波蘭の國情 十四世紀の後半に、リトワニヤ公ヤゲロが波蘭王の位に即いて後、十六世紀の中頃にいたる迄、波蘭の國勢は隆々として興り、東南は露西亞人より赤露西亞（ヴォリニヤ及びポドリヤ）、小露西亞（ウクライナ）及び白露西亞を奪ひ、西北は獨逸人を壓迫して、東普魯西、西普魯西並にクールランド及びリヴランドを權下に收め、西普魯西及びリヴランドは波蘭領に屬し、東普魯西及びクールランドは、波蘭王の宗主權を戴く獨逸騎士團の所領となつた。

波蘭人の史に現はれたのは、十世紀の中頃、彼等の君公ムシスラウ（始祖ピヤスト）が獨逸帝國に從屬して、オールド河とワルテ河との間に於ける所領の爲めに、貢賦を納めたることを以て初めとする。彼はホヘミヤ王女と結婚して基督教を奉じ、九九二年に歿した。波蘭人は露西亞人と同じく、スラヴ民族でありながらも、之と異なつて羅馬教會に屬した。波蘭人と露西亞人とが同民族に屬するに拘はらず、互に融和し得なかつた一原因は、彼等の宗教

と之に伴ふ文化とが相異なつてゐた爲めである。ムシスラウの嗣ホレスラウ一世は、智略に富みて大いに領土を擴め、北はホメラニヤ及び東普魯西の一部を併せ、西南はフロヴァチヤ（クラカウの附近）及びシレシヤを併有して、東歐の強國となつた。然るに彼の歿後内亂續いて、國勢衰へ、約三百年の間微々として振はなかつたが、十四世紀の初めウラヂスラウ・ロキエツクが王位に即くに及んで、國勢再び興り、その子カシミール大王の代、獨逸皇帝より獨立王國たることを承認せられ、外は領土を擴め、内は行政及び司法制度を改良し、商業を獎勵し、またクラカウに大學を創設した。一三七〇年カシミール大王歿するや、洪牙利王ルイは約に基いて波蘭王位を兼攝したが、一三八二年歿するに及び、その女ヘドヴィヒは波蘭王位に即き、一三八六年リトワニヤ大公ヤゲロと結婚した爲めにヤゲロは波蘭王となり、この後波蘭及びリトワニヤは同一國王の下に統治せられて、ヤゲロ朝の盛時は始まつた。リトワニヤ人はバルチック海岸ヂユナ河及びニーソン河の間より南はアグ河の中流にいたる迄の地域を占め、十三世紀の中頃より國勢漸く興り、十四世紀の初、大公ゲヂミンの代隆盛を極めた。而してヤゲロが波蘭王となつた後は、波蘭人と宗教制度を同じうして、離るべからざる關係を結ぶに至つたが、東南地方には、露西亞人と同様に希臘教を奉ずる者があつて、彼等は露西亞に倚らんとし、露西亞とリトワニヤ及び波蘭との間には、殆ど絶えざる戦争が続いた。

ヤゲロ朝の下に、波蘭は隆昌を極めて、ジギスムンド一世（一五〇六一一五四八）及びジギスムンド二世（一五四八一—一五七二）の代に、領域はバルチック海より、南は殆ど黒海に及んで、ドニエプル河畔の

コサック人亦波蘭王の宗主権の下に、彼等の自治團を作つた。而して一五六九年ルブリン協約に依つて、波蘭貴族の特権はリトワニヤ貴族も之を享有して、兩王公國は全く合同することとなつた。貴族(Szlachta)は各、所領を有して獨り政權を有し、官職も、地方議會及び地方議會に於て選舉せられたる國會議員も、貴族に依つて獨占せられた。而して貴族は自ら産業を營むことを禁ぜられてゐた爲めに、商工業は猶太人の掌裡に歸し、農民は農奴として領主貴族の抑壓を被つて勞役に服した。中等社會を形成する市民階級は、波蘭に於ては未だ發達し得なかつた。而して獨逸に起つた宗教改革の影響は波蘭にも波及して、波蘭貴族の間にも新教を奉ずる者を生じた。

一五七二年ジギスムンド二世歿して嗣なく、ヤゲロ朝の男系絶ゆるや、翌年ワルソウに於て開かれた國會は、將來の國王が貴族の選舉に由るべきことと、貴族の特権を擁護することとの目的を以て、辦法(Pacta Conventa)の名の下に根本法を議決した。之に依つて、波蘭は選舉王國となり、國王が歿した際に、グネーゼンの大司教は次王選舉の爲めに國會を召集し、之に貴族の代表者たる國會議員及び元老院議員の外、貴族は總べて参加し得ることが定められた。而して國王の存在中に後嗣を選定することは禁止せられた。王權は極めて制限せられて、國王は國會の協賛を経ずしては租税を賦課し、宣戰媾和すること能はず、また三箇月以上に亘つて戰爭を繼續することを禁じられた。國會は二箇年毎に召集せられ、閉會中、國王は國會に於て選舉せられた元老院の委員會に依つて制肘せられた。而して國王が根本法に違反した場合には、臣民は王に對する忠順の誓を解除せらるべきことが明かに認められた爲めに、波蘭の根本法は、貴族が主權を有する一種の民主政治であり、また民約主義に據つて作られたものであつた。

かく政權は貴族に歸して、彼等は王權の微弱ならんことを望み、外國君公を國王に選舉することさへ恥としなかつた爲めに、波蘭は名は王國と稱せらるゝも、事實は貴族の共和政治であつて、國家の統一は全く破壊せられ、國勢漸く衰ふるに至つた。

ジギスムンド二世の後、佛國のアンジュール公Henriヘンリーは波蘭王に選舉せられたが、一五七五年佛國王チヤールス九世歿するや、ヘンリーは兄の後を襲いで佛國王位に即かんが爲めに、波蘭を遁れて國に歸つた爲めに、波蘭國會はジギスムンド一世の女アンナ・ヤゲロと結婚したトランシルヴァニアの大守ステファン・バトリイStephen Bathoryを國王に選舉した。彼は武略を以て當時に著はれ、國勢の伸張に力めたが、一五八六年歿するに及んで、瑞典王子ジョン(János)ジギスムンド一世の女カタリナ(Catherine)の夫は選ばれて波蘭王位に即き、ついで一五九二年彼が父の後を襲いで瑞典王となるや、茲に瑞典及び波蘭は各、國王を同じうして、波蘭にては所謂ワザ朝が始まつた。

ジギスムンド三世が波蘭及び瑞典兩國の王位を兼併してゐた頃、中西歐に於て反宗教改革が起り、前王バトリイの代、既に波蘭に於て布教してゐたジェズイト教士はジギスムンド三世の保護を得て益々勢力を加へ、王は彼等を尊信して瑞典及び波蘭をカトリック教化することに全力を傾注した。波蘭の貴族が元來

カトリック教徒であつたのに加へて、王が彼等に利益を與へて之を誘うた爲めに、彼等は益、カトリック教に歸依し、波蘭は東歐に於ける反宗教改革の中心となつて、新教は全く抑壓せらるゝに至つた。然るに、瑞典人は彼等の信仰と國民的獨立思想とに動かされて波蘭王に反抗し、リトワニヤの希臘教貴族は、波蘭王のカトリック教的抑壓に抗して露西亞帝に援を求めた。波蘭と瑞典及び露西亞との抗争については既に述べた。瑞典は遂に波蘭との關係を離れて獨立し、波蘭王が露西亞に於てルリック朝絶えた後に起つた混亂に乗じて露西亞をも併合せんと欲した計畫も、露西亞人の國民的敵愾心が大いに興つて之に反抗した爲めに、遂に目的を達すること能はず、露西亞に於てはロマノフ朝新に興つてその國家的統一は回復せられた。而して新教のリヴランド亦瑞典に割譲せらるゝに至つた。

波蘭王のカトリック政策は瑞典及び露西亞と戦争を惹起して結局は失敗に終つたが、國內に於て、貴族は益、カトリック教に歸依して、波蘭は東歐に於けるカトリック教の中堅となつた。されど之が爲めに、波蘭の國家的統一は何ら強固とならず、貴族は益、專横となり、且つ互に相争うて、貴族的共和政治の弊は益、甚しくなつた。一六五二年の國會に於て、自由禁止權は根本法として認められ、國會の議決は全院一致を要し、議員の一人と雖も異議を唱ふる者あれば、何ら議決する能はざることとなつた。即ち各議員に自由に他の決議を禁止し得る權能が與へられたのである。而して、王權が選舉の度毎に益、制限せられたのに加へて、自由禁止權が認めらるゝに至つた後は、國家の統一は全く失はれて、波蘭は貴族的共和政

治といふよりも、所領を有する貴族の散漫なる集合國たるに過ぎざるものとなつた。而して自由禁止權に由る弊を矯正する目的を以て、所謂聯盟（Konfederation）の制度は始められて、貴族はある定まつた目的を以て聯盟を結ぶことの權利を認められた。聯盟は先づ地方に始めて之を全國に及ぼし、その目的とするところを公にして、之に反對する者をば武力を以て制壓し、國家の一切の機關を掌握して、國政を指導し、國會もその權下に屬せしむることを認められたのである。而して聯盟の議會は多數決に依つて事を決した。されば聯盟は公認せられた非常處分（クリ・デクレ）とも稱すべきものであるが、貴族の間に異なつた目的を有する二種以上の聯盟が起つた場合には、忽ち内亂を生ずべく、重大なる事件に對しては、地方に依り、また感情利害に依つて、二種以上の聯盟は必ず起り得るのであつた。要するに、貴族は自由禁止權に依り、また聯盟權に依つて、黨を作つて互に相争ひ、しかも、之に武力を用ひた爲めに、黨争殆ど絶えることなく、無政府の國家と殆ど擇ぶところはなかつたのである。而して既に述べた如く、波蘭には王政を擁護する市民階級なく、商工業は猶太人の掌裡に歸して、彼等は自ら利する外に、何ら國家の利害を憂ふことなく、精神界はジエズイト教士に依つて思想の自由を拘束せられ、農民は貴族領主の農奴となり、一六三二年後は恣に他に移住することを禁止せられて抑壓せられた爲めに、彼等に國家思想は起らず、彼等と貴族との間には何ら感情及び利害の双方を結び付けるものがなかつた。

波蘭が選舉王國となつた後も、猶ほワーズ朝は相次いで選舉せられたが、一六六八年ジョン・カシミール

ルが自ら位を退いて佛國に移住し、ついで歿した爲めに、母系に於て傳はつたヤゲロ朝の血統は全く斷絶し、この後、波蘭王の選舉に於て、血統の關係は何ら顧慮せられざることとなつた。而して波蘭は露西亞と常に衝突してゐたに加へて、東南は土耳古人の侵寇に苦しんだが、土耳古人を拒ぐ上に於て、波蘭人の熱烈なる宗教思想は克く彼等を一致せしめ、また同じくカトリック教國であつた奥地利と協力した。十七世紀の後半に波蘭王ジョン・ソビエスキーは土耳古人を破つてウィーンの圍を解いた。一六九七年にサクソニヤ選舉公アウグスト二世は波蘭王に選舉せられた。北方戰役に於て、瑞典王チャールス十二世が波蘭に侵入したこと、及びその後十八世紀の初半に於ける波蘭王位繼承戰役については既に前に述べた。而して波蘭に於ける貴族の横暴は何ら改まることなく、依然として舊の如くなるに反して、鄰境の露西亞及び普魯西は各、中央集權の強國として興り、奥地利は數多の異民族を包有せるに拘はらず、猶ほ帝權の下に國家の統一は確保せられた。波蘭が是等三強國の爲めに分割せられて滅亡するに至つたのは、自ら招いた災とも稱すべく、到底避くること能はざる運命であつた。

波蘭の第一回分割（一七七二）

七年戰役後普魯西のフレデリック大王が露國に接近を求めた時に於て、

一七六三年十月波蘭王アウグスト三世歿して、後嗣の選舉について貴族間に争が起つた。露帝カタリナは、アウグスト王が歿する前、既に波蘭貴族スタニスラウス・アウグスト・ポニャトウスキーを後嗣として推薦した。ポニャトウスキーは波蘭に於て『一門』と稱せられてゐた大貴族ツァルトリスキー家黨に屬し、

露都駐劄波蘭公使として露帝の寵遇を受けてゐた。然るに貴族の一派は之に反して、サクソニヤ選舉公を

擁立せんとしたが、公が歿するに及んで、彼等は波蘭貴族ブラニッキ將軍を王位候補者に推薦した。是

等の貴族は『愛國者』と稱して、露國及びツァルトリスキー家に反對する一派であつたが、ポトツキー家及

びラッヂウイ家等の大貴族は之に屬し、佛國及び奥地利が彼等に後援を與へた。既に述べた如く、一七

六四年露普同盟が締結せられたのは、波蘭問題を中心として佛奥兩國に對抗せんと欲したが爲めである。

波蘭貴族が兩黨に分れて王位を争ひ、内亂が起るや、露國は兵を進めて、ツァルトリスキー黨を援けて反

對黨を破り、その結果スタニスラウス・ポニャトウスキーは國會に於て王位に選舉せられた。

然るに、ポニャトウスキーは位に即くの後、王權を強うせんが爲めに、貴族の享有せる自由禁止權を廢せんと企て、國會亦露國の要求を拒んで、非國教徒を抑壓する法令の廢止を肯んぜざるや、露國は王に反對せる貴族をして、ラドム聯盟を作らしめ、嚮に國王選舉の際に露國に反對したラッヂウイ家をも味方

に加へた爲めに、露國の勢力は全國を壓し、國會はラドム聯盟に迫られて、遂に非國教徒にカトリック教徒と同等の權利を與ふべきことを議決し、また露國の同意を得て、國會開會後最初の三週間に於て、財政問題の議決に對する自由禁止權を廢止した。露國が之に同意したのは、之に依つて、改革黨貴族をも收攬せんと欲したが爲めである。然るに國會の右の議決に反對して、ポトツキー家を中心とする貴族はカトリック教擁護を名として、一七六八年バルの『神聖』聯盟を結び、奥地利及びサクソニヤは軍資を送

つて之を援け、茲に激烈なる内亂が起つたが、バル聯盟軍は遂に露國軍の爲めに敗れた。時恰も露國は土耳其と開戦して遂に之に克つたが、普魯西が奥地利に接近し、一七七二年露國と波蘭分割を約し、奥地利亦之に加はつて、この年三強國の間に、波蘭の第一回分割が行はるゝに至つたことは既に述べた。第一回分割に依つて、露國はヂュナ及びドニエステル兩河の東なる白露西亞を、普魯西は西普魯西及びネッツ河地方を、奥地利はガリチヤを各獲得したが、ダンチヒ及びトルンは猶ほ波蘭に残された。而して三強國の壓迫は、波蘭國會をして是等地方の割讓を承認せしめた。

波蘭の滅亡 第一回分割の後も、波蘭の弊政は何等改善せられなかつた。貴族の專横は依然として舊の如く、彼等の間に於ける黨争の弊は、相競うて露國の款心を求むることを恥とせず、國王亦貴族に對抗せんが爲めに、露帝の庇護を仰ぎ、露國の勢力は益々國中に及んだ。然るに貴族の間に之を憤慨して國運の挽回を圖る『愛國者』の一派を生じ、彼等はその爲めに、先づ從來の弊政を改革して國家の統一を固うすることの必要なるを唱へた。既に述べた如く、露國は奥地利と聯盟して、一七八七年土耳其と開戦し、ついで瑞典とも戦争を始めたが、普魯西は露國に對して反對の態度を現はし、ついで一七九〇年奥地利帝ジ・セフ二世歿するや、波蘭の愛國黨は機以て乘ずべしとなし、貴族の多くが反對したるに拘はらず、一七九〇年普魯西にトルン及びダンチヒを割讓すべきことを約して、之と攻守同盟條約を締結した。既に於て、奥地利が普魯西に接近して、兩帝王はライヘンバハに於て會見し、露國が孤立するに至るや、波蘭愛國黨

は之を聞いて、露國の勢力を一掃する時機到れりとなし、加ふるに、佛國革命は彼等を刺戟して益々露國と戦ふ決心を固うせしめた。此に於て、王も遂に愛國黨の意見を容れて、一七九一年五月三日非常處分を斷行して、新憲法を發表したが、その要旨は(一)選舉王政を改めて世襲王政となし、サクソニヤ選舉公を王ポニヤトウスキーの後嗣と定めて、將來王位をサクソニヤ家に世襲せしめ、(二)國王及び内閣に行政權を委ね、上下兩院より成る議會に立法權を與へ、貴族の特權たりし自由禁止權を廢止し、(三)司法權を獨立せしめんと欲するにあつた。

然るに、貴族の一團は之に反對して、新憲法廢止の目的を以て、タルゴヴィツ聯盟を結び、援を露國に請うた。ヤッシー平和條約に依つて土耳其と戦争を終つた露國は、直に之に應じて兵を波蘭に進めて愛國黨と戦うて之を破つた。國王ポニヤトウスキー亦タルゴヴィツ聯盟に加はつて新憲法を廢止した。而して前に愛國黨と同盟を約した普魯西王フレデリック・ウイリヤム二世亦約を變じて、波蘭に於ける革命主義鎮壓の名を以て兵を波蘭に進め、遂に露國と波蘭の分割を約し、波蘭議會に迫つて之を承認せしめた。一七九三年の第二回分割に依つて、リトワニヤの大部分とヴォリニヤ及びポドリヤは露國の有に歸し、ダンチヒ、トルン及び大波蘭は普魯西の領土となつた。而して露國は波蘭に迫つて同盟條約を結び、波蘭王をして、露帝に豫め諮つて承認を経ることなしには、憲法を改め、また外國と條約を締結せざるべきことを約せしめ、且つ露國軍隊に對して波蘭領内に自由に進軍し得る權利を承認せしめた。

第二回分割に依つて波蘭は事實に於て既に獨立を失うたのである。然るに、一七九四年愛國黨貴族の一團はタデウス・コシウスコの下に獨立回復の目的を以て兵を擧げ、露軍を破つて、ワルソウを占領したが、Radzisz Kosciuszko 普魯西及び露西亞の大軍が進撃し來るや、遂にコシウスコは敗れ、一七九四年十月マチエヨウウィッチェの 戦に於て重傷を被つて捕虜となり、ワルソウは露軍に依つて占領せられた。此に於て、一七九五年十月露、Maciejowice 奧、普三國は波蘭の殘地を分割し（第三回分割）、また波蘭王が宗主權を有してゐたクールランド、露國に併合せられて、嘗て東歐の強國であつた波蘭は茲に亡んだ。波蘭が鄰境三強國の爲めに分割せられた時に於て、從來波蘭を後援してゐた佛國が何ら之に干渉しなかつたのは、革命の爲めに他を顧みる餘裕のなかつたが爲めである。而して英國が露國の土耳其侵略にも、また波蘭分割にも干渉しなかつたのは、英國の大陸に對する傳統政策が、英國の利害に直接關係せざる限りは、大陸に於ける國際的葛藤より遠ざからんことを旨として、主たる關心が海上に傾注せられてゐた外に、米國獨立戦役の爲めに他を顧みる餘裕のなかつたが爲めである。

第二十一章 米國の獨立と英國の印度併有

一 米國の獨立戦争と歐洲列國

米國獨立戦役の原因 一七六三年の巴里條約に依つて、英國の海外領土は増大し、北米大陸に於て、カ

ナダ及びミシシッピ河以東の地は英國の有に歸した。而して西班牙既に衰へ、佛國及び西班牙の聯合艦隊に克つた後は、海上に於て英國海軍に對抗し得る者なく、世界の海上權は英國人の掌裡に歸した。時にジョージ三世は英國王の位に在つて、獨裁政治を行はんと欲し、爲めに國內に於て專制主義と自由主義と兩派の争を生じたが、之と共に、政府と北米大陸に於ける殖民地との間にも權限に關する爭議を生じた。而して英國の憲政は牢固たる根柢を有して王の專制主義の爲めに動搖しなかつたが、殖民地との爭議は發展して、彼等の獨立戦争となり、彼等は遂に英國より分離獨立するに至つた。

北米大陸に於ける英國殖民地は自由民主主義に據つて制度を定め、各、自治團體をなして、本國政府より干渉せらるゝことなく、事實に於て政治的に獨立せる共和國であつた。而して彼等の勤勉と天然の資源とに由つて彼等の富力は年と共に加はり、教育も亦之に伴うて進歩したが、經濟上に於て殖民地は尙ほ母國の利益の爲めに干渉を受けて拘束せられた。一六五一年の航海條令以後、北米殖民地に對しても輸出入は總べて英國船に限られたのみならず、殖民地に於て新に工場を建設することも禁止せられた。既に政治上に於て自治權を有してゐた殖民地が、經濟上に於ても母國の羈絆を脱して富力の自由なる發展を圖らんと欲したことは、彼等が母國政府に反抗して獨立運動を起すに至つた主たる原因である。即ち彼等は政治上に、また經濟上に、完全なる自治權を確保せんと欲して、遂に獨立運動となつたのである。而して彼等の間に現に行はれてゐた自由民主思想と、歐洲に於てルッソーに依つて代表せられた自由民主思想とは、

彼等の獨立運動に理論的根據を與へ、課稅權について彼等と母國政府との間に爭議を生ずるや、彼等は英國憲法に彼等の主張の根據を求めたのである。

既に經濟上に於て母國の利益の爲めに殖民地を拘束しめた英國政府は、七年戰役後、殖民地に輸入せらるゝ種々の物貨に對して輸入税を賦課した。蓋し七年戰役に依つて國債の甚しく膨脹した爲めに、政府は、殖民地も母國と等しく之を分擔する義務があり、特に此の戰爭に依つて北米大陸に於ける佛國の勢力が一掃せられた爲めに殖民地が多額の利澤を被つたことを理由として、彼等に輸入税を課するに至つたのである。然るに此の戰爭中に殖民地の獨立思想は却て強固を加へた。彼等は、英國が北米大陸に於て佛國軍と戦うて之に克つことを得たのは、主として殖民兵の力に因るものなることを信じ、佛國の勢力が一掃せられて鄰境に強敵の畏るべきものが存在せざるに及んで、彼等は母國より援護を受くる必要を感じざるに至つた。而して英國政府が新に輸入税を課するや、殖民地は英國憲法の根本義に據つて、彼等の代表せられる議會が彼等に課税する能はざることを抗議した爲めに、問題は英國政府及び議會と殖民地との間に於ける課稅權そのものについての争となつたのである。一七六五年政府は殖民地に課した輸入税を撤廢したが、議會は更に印紙税を通過した。印紙税に對しても殖民地は強硬に抗議し、ボストン及びニュー・ヨークに於ては、英國官吏に對する暴行事件も起つた。一七六六年英國議會は遂に印紙税をも廢棄したが、之と共に、議會に總べての場合に於て殖民地を拘束し得る權能あることを宣言した。即ち殖民地に對しても、

課稅權が英國議會に存することを宣言したのであつて、殖民地の主張と到底相容れざるものであつた。而して殖民地駐在官吏の俸祿に充てんが爲めに、硝子、紙、塗料及び茶に對する少額の輸入税が課せられたが、殖民地の反對は益々甚しく、英國官憲に對する彼等の反感は日に加はつた。一七七一年ボストンの街上に於て英國兵士と人民との争鬭起つて、人民の殺さるゝ者三名、傷く者八名あつた。所謂ボストンの虐殺である。此の年英國議會は硝子、紙及び塗料に關する税を撤廢し、茶税のみを保存した。蓋し英國議會に課稅權の存することを證せんが爲めである。ニュー・ヨーク及びフィラデルフィヤは東印度會社船の茶を荷揚するを拒み、ボストンに於ては、市民の一團が印度人に變装して港内に碇泊せる商船に上つて積載せる茶箱三百四十二個を海中に投じた。此に於て一七七四年英國議會はボストン港令を發布して、食料及び燃料を除く外一切の物貨の輸出入を禁止し、次にマッサチューセツト州の自治制に制限を加へて知事の權力を増大ならしめた。要するに、英國政府及び議會が殖民地に對して主權を確保せんとするに對抗して、殖民地は母國の拘束を離脱して完全なる自主權を要求し、結局獨立するにあらざれば止まざるものとなつたのである。

獨立の宣言 北米殖民地に於ける反抗の氣勢益々甚しくなるに隨つて、英國は將軍ゲージをマッサチューセツト州知事に任じ、その下に兵を派遣した。殖民地の反感は之に激せられて益々加はり、ゲージがマッサチューセツト州會を解散するや、州會議員は他の殖民地諸州に檄して彼等の代表者を殖民地大會に派

遣せんことを求め、一七七四年（安永三）九月五日、ジョージヤを除く外、全殖民地の代議士がフィラデルフィヤに集まつて、所謂大陸議會を開いた。マッサチューセットのサミュエル・アダムス、ジョン・アダムス、ニュー・ヨークのジョン・ジャー、ヴァージニアのジョージ・ワシントン、パトリック・ヘンリー等はその錚々たる者であつた。大陸會議は権利の宣言を作成し、英國王及び英國人並にカナダ、フロリダ等の住民に各宛てて、彼等の権利を主張する書案と共に、英國政府が彼等に對する政策を改めて彼等の反對せる法令を撤回する迄は、英國との間に輸出入を禁止すべきことを決議した。英國議會は既にマッサチューセットが反亂の状態にあることを宣言して、その州會を解散し、又ニュー・イングランドと交通を絶ち、武器の輸入を禁止した。然るに解散せられたマッサチューセット州會は再びコンコードに集會し、且つ義勇兵を召集した。一七七五年四月十九日英國兵の一隊はコンコードに蓄へられた倉庫を破壊せんとして進軍したが、中途レキシントンに於て義勇兵と衝突して、義勇兵八名は殺された。米國獨立戰爭の最初の血は此處に流されたのである。英國兵は進んでコンコードの倉庫を破壊したが、義勇兵の抵抗に遇つて（橋上戰）遂に敗走した。マッサチューセットに於て義勇兵の大軍は召集せられた。五月十日第二回大陸議會をフィラデルフィヤに於て開會した（ジョージヤも亦之に加はつた）。ジョージ・ワシントンは軍司令官に推され、兵を率ゐて英軍の據守せるボストンを攻圍した。六月十七日ボストン付近のバンカーズ・ヒルに於て激戰があつた。英國軍は遂に捷つたといへ、彼等の死傷者は多く、事實に於て殆ど敗戰に等しきものであつた。一七七六年三月英國軍は遂にボストンより撤退した。

戦端は既に開かれた。英國政府及び議會と殖民地との権限についての争は遂に武力に依つて決せらるゝこととなつた。一七七六年七月四日大陸議會は獨立の宣言を議決して之を發表した。獨立の宣言はトーマス・ジェフファソンがベンジャミン・フランクリン及びジョン・アダムスと共に作成したものであつて、天賦自由の人權主義と民約主義とに據つて、殖民地の人民が、彼等に壓制を加ふる英國政府の治下を脱して、獨立する正當の權利を有することを高唱したものである。

獨立戰爭と外國關係 獨立軍はカナダをも彼等に加盟せしめんと企てたが、カナダ人は彼等に應じなかつた。獨立軍の一軍は進んでカナダに侵入して一七七五年十一月モントリオールを占領したが、遂にカナダ征服の目的を達すること能はずして退却するの已むなきに至つた。獨立を宣言した殖民地十三州の中、特に南部諸州に於ては獨立に反對する勤王黨もあつた。獨立軍の兵數は英軍に比して寡く、軍需品は殖民地に於て製作したもの、外に、多くは之を佛國の供給に仰いだが、素より豊富でなかつた。加ふるに、自由民主主義と各州の割據主義との爲めに軍の統制は強固でなかつた。軍資は乏しく、紙幣はます／＼下落した。而して獨立軍は屢、英國軍の爲めに敗れた。この困難の時に方つて、軍の統制が保たれて崩壊するに至らなかつたのは、總司令官ワシントンの人格の力である。一七七七年九月フィラデルフィヤも英將ホーの爲めに占領せられた。ついでワシントンは英國軍を襲撃して、却てジャーマンタウンに於て彼等の爲め

に破られた。然るに、此の年十月十七日英國北方軍の將バーゴインがサラトガに於て獨立軍の將ゲートの爲めに破られて、その兵約六千人と俱に降つたことに依つて、獨立軍の士氣大いに振ふと共に、その影響は獨立軍に對する信用を高め、開戦後軍需品を獨立軍に送つて陰に援助を與へてゐた佛國は、公然米國の獨立を認めて之と攻守同盟を約するに至つた。

獨立戦争始まると共に、米國議會は外國交渉秘密委員會（一七七七年名を外務委員會、一七八一年以後は外務省となつた）を置き、フランクリン、ジェー等がその委員に選ばれた。されど委員會は外交に關する大小の事務について悉く議會の承認を経ることを要した上に、委員中に於て、外交に經驗を有する者はフランクリンのみであつた上に、彼等の性情は各、異なつてゐた爲めに議論は屢、分れた。唯彼等がいづれも愛國の熱情に燃えて飽く迄も獨立の目的を達せんと欲する決心の固かつたことの爲めに、委員會の統制は保たれてゐたのである。外交委員會に於ける最初の問題は歐洲諸國との關係であつて、その爲めに使節は歐洲諸國に派遣せられた。使節の使命は、獨立戦争に必要な軍需品の購入輸送の外に、列國より獨立の承認を得て和親通商條約を締結せんと欲するにあつた。

歐洲大陸諸國民は獨立軍に對して同情を寄せた。特に佛國人は最も深く同情して獨立軍の成功せんことを祈つた。彼等の同情は、革新文學の自由民主思想が民心を支配してゐたことと、古來の專制政治と階級的社會制度とに對して漸く高まつてゐた反感との外に、英國に對する世襲的仇敵心とより起つたものであ

る。特に佛國人が英國人の爲めに廣大なる海外領土を失ふに至つたことに對する憤慨は、英國殖民地に獨立運動の起つたことを欣んだのである。米國使節フランクリンの人格及び態度と理學者及び文學者としての名聲とは佛國上下社會の人心を收攬した。英國人の間に於てさへ、自由主義の人士は殖民地の主張を正當視し、武力討壓の手段を用ひずして妥協の方法を講ぜんと欲する者も尠くなかつた。佛國の青年貴族ラフアエット侯、佛國軍籍に在つた獨逸人フォン・カルブ、波蘭の愛國者コシウスコ、曾てフレデリック大 Lafayette Kalb Kosciuszko 王の副官であつたフォン・ストイベン等は自ら進んで獨立軍に加はつた。而して佛國人ボーマルシェー侯 Beumarchais は政府より資金を融通せられて私立商會を創立し、獨立軍に向つて軍需品を供給した。

佛國にては、一七七四年ルイ十六世王位に即き、ヴェルジャンヌは外政の局に當つてゐた。王及び外相の對外政策は、英國の優勢を打破して前敗の恥を雪ぐと共に、海上及び殖民地に於ける往昔の勢威を回復せんと欲することを以て主眼としてゐた。ヴェルジャンヌは陰かに軍需品を送つて獨立軍を援助しながらも、陽には中立の態度を守つて英國と衝突することを避け、戦争の経過を見てゐたが、獨立軍が屢、敗るや、彼は援助を與ふることを躊躇するに至つた。然るにサラトガに於てバーゴインが全軍を以て獨立軍に降り、獨立軍の兵勢大いに振ふに至つたことの報道が巴里に達するや、佛國政府は巴里駐劄の米國使節と直に交渉を開き、一七七八年二月六日佛米間に二種の條約が締結せられた。一は和親通商條約にして、一は同盟條約であつた。同盟條約に於て、兩國は米國の獨立を目的とする政治及び軍事的行動に於て協力

し、休戦及び媾和には双方の合意を要し、互に單獨的行動を取らざるべきことが締結せられた。米國政治家の間には、後年のモンロー主義と同じ理由に據つて、歐洲強國と政治的關係を結ぶことに反対する者があつて、彼等の多數の意向も恐らく之に傾いたであらうが、戰場に於ける實際の形勢を考ふれば、歐洲強國の援助に藉るにあらざれば、到底獨立の目的を達する能はざること明かであつた爲めに、米國議會も遂に佛國との同盟條約を承認するに至つた。而してサラトガの戦捷後、佛國外相が急に米國の獨立を承認して之と攻守同盟條約を締結するに至つたのは、若し佛國が久しく曖昧なる中立の態度を續けたならば、米國は新捷の勢に乗じて遂に英國と妥協して媾和するに至るべく、爲めに佛國は英國の恨を受けて攻撃を受ける場合に、孤立の窮境に陥るべきことを懼れたが爲めである。

佛米同盟の結果、英國は佛國に向つて宣戦し、佛國海陸軍は米國獨立軍を援けて戦争に参加し、必要の軍需品は米國に輸送せられた。佛國政府は西班牙を誘うて英國に向つて開戦せしむることに努め、西班牙は最初容易に之に應じなかつたが、海上及び殖民地に於ける英國の優勢を打破せんと欲する上に於て、兩國の利害が一致してゐた爲めに、一七七九年四月十二日佛西間に同盟條約は締結せられた。之に依つて兩國は英國との戦争に於て協力し、佛國は西班牙がミノルカ、ジブラルタル、及びフロリダを回復するを援け、西班牙がジブラルタルを奪取するに至るまで戦争を中止せざるべきことを約し、またニューファウンランドを攻略して、此の方面に於ける漁業權を兩國の間に分つべきことをも約した。

西班牙が北米大陸に於てフロリダを回復し、ミシシッピ河西の地を領有するのみならず、ニューファウンランドを攻略して、その漁業權を佛西兩國の間に分つことは、明かに米國の利害に反するものであつた。且つ西班牙は米國の獨立戦争に對して同情なく、米國が獨立して強大に赴くことは北米大陸に於て領土を有する西班牙の欲するところでなかつた。故に西班牙が佛國と同盟して英國と開戦するに至つたことは、米國の獨立を援助せんと欲するものでなかつたといへ、西班牙が参戦したことに依つて英國の戦鬪力は益、分たれた爲めに、獨立軍は間接に援助されたこととなつたのである。

佛西兩國以外の歐洲諸國に於ても、人民の間には米國獨立軍の自由民主主義に共鳴して同情を寄する者が尠くなかつた。されば各國政府は米國の獨立が彼等に何ら直接の利害關係なきのみならず、獨立戦争は彼等の君主政治より見れば反亂であつた爲めに、之を冷眼視して各、中立の態度を取つた。されど、彼等はいづれも、英國が海上に於て獨り勢威を振うて廣大なる海外領土を有し、世界の市場を獨占する勢あることを疾んだ。米國の獨立に依つて英國の過大の勢力が挫かれて、彼等に商權伸張の機會が與へらるゝに至ることは、彼等の窺かに期待するところであつた。故に彼等は中立を標榜して、英國が獨立軍を討壓せんとするに對して援助を與へなかつたのみならず、寧ろ間接には之を妨げた。普魯西のフレデリック大王は英國政府が大陸に於て募集した傭兵の普國領内を通過するを禁止したるに反して、米國獨立軍が兵器その他の軍需品を普國內に於て購入することを默認した。露國のカタリナ大女帝は、英國王ジョージ三世が

特に親書を露帝に遣し、また有数の外交官サー・ジェームス・ハリスを露廷に遣して之を請はしめたるに拘はらず、英國政府が露國內に於て傭兵を募集せんとする依頼に應じなかつた。加ふるに、一七八〇年三月十日露國政府は戰時國際法に、關して(一)中立國船舶が交戰國の封鎖せられざる港灣に出入して商業を営み得る權利あること、(二)中立國船舶に積載せる貨物の鹵獲せられざるべきこと、(三)戰時禁制品は戰爭に直接使用せらるゝ物資に限るべきこと、(四)封鎖は封鎖せらるゝ港灣外に於て行はるべきことを要求し、武力に依つて之を擁護すべきことを宣言した。この宣言は海上に於ける武装中立と稱せられ、丁抹、瑞典、普魯西、墺地利、葡萄牙、西班牙、佛蘭西等相次いでこの原則に賛同した。武装中立の主たる目的は海上に於ける英國の横暴を制壓して、中立國の爲めに商權を伸張せんとするにあつた。米國獨立軍は彼等の要する軍需品を歐洲に求め、その代價として米國の物産を歐洲に輸出することに努めたが、歐洲諸國の中に於て此の戰爭を利用して貿易の利を最も多く圖つた者は和蘭であつた。和蘭は夙より北米の英國殖民地と密貿易を行つてゐたが、獨立戰爭始まつて後、英國海軍の監視が嚴重となつて容易に米國海岸に近づくことが不可能となるに及んで、蘭領聖ユースタチウス島は米國貿易の中間市場となつた。即ち米國物産は此の島を経て、和蘭人に依つて歐洲に輸入せらるゝと共に、獨立軍に必要な軍需品は此の地に來泊せる米國人に賣渡されたのである。されば、英國艦隊は聖ユースタチウス島の海上に於ける監視を益、嚴にすると共に、一七八〇年以後は和蘭船の米國物貨を積載せるものをば容赦なく捕獲し、此の年十二月英國政府

は和蘭駐劄公使を召還し、ついで艦隊に命じて聖ユースタチウス島を占領せしめた。和蘭は露帝の首唱したる武装中立聯盟に加盟すると共に、一七八二年米國使節ジョン・アダムスと通商和親條約を締結し、米國公債は和蘭市場に於て募集せられた。此に於て英國は佛西兩國の外に、和蘭をも敵國に有することとなり、他の歐洲諸國一として英國に同情するものなく、國際間に於て全く孤立するに至つたのである。

翻つて、米國獨立軍は、サラトガの戰捷後も、獨力を以て英國軍に對抗することは容易でなかつた。屢、英國軍の爲めに敗れた。ベネデクト・アーノルドの如き叛將も生じた。民心は漸く戰に倦み、兵士の脱走する者多く、彼等之間に暴動も屢、起つた。獨立軍の統制が保たれたのはワシントンが將士の信望を得てゐたからである。然るに、佛西兩國が英國に向つて開戦するに及んで、獨立軍は茲に有力なる海軍の應援を得たのに加へて、佛國は營に軍需品を供給したのみならず、正規兵を輸送して獨立軍に加はらしめた。

戰爭中特に注意すべきことは、一七七七年八月サラトガ戰捷の後、十一月十五日米國議會に於て、殖民地十三洲(ニュー・ハンプシャー、マッサチューセツト、ロード・アイランド及びプロヴィデンス殖民地、New Hampshire Massachusetts Rhode Island Providence Plantations、コネクチカット、ニュー・ヨーク、ニュー・ジャージー、ペンシルヴァニア、デラウェア、メリーランド、ヴァージニア、北カロリナ、南カロリナ、ジョージヤ)が亞米利加合衆國の名を以て、永久の聯邦を結ぶことを決議したこと、カナダに向つて聯邦に加盟せんことを勧誘したことである。彼等は北米大陸に於ける英國殖民地の悉く彼等と俱に母國より分離獨立することが、彼等の獨立を保障し、且つ將來

の發展を圖る上に於て必要なることを知つたからである。されどカナダは遂に彼等の勸誘に應じなかつた。この外に獨立戰爭中、米國人はアレガニー山脈を越えて西進したことも亦注意すべきことである。彼等の西進は、前に英佛交戦中に英軍の取つた方針を繼續せるものであつて、米國人の西方に向ふ進展は既に殖民地時代に始まつてゐるのである。また米國船が初めて支那の廣東に來着したことも、獨立戰爭を終つた直後である。

一七八一年十月十九日英將コーンウォリスはヴァージニアのヨークタウンに於て、獨立軍の爲めに包圍せられて、遂にその兵七千人と共に降つた。獨立軍は茲に最後の勝利を得て、彼等の目的は事實に於て達せられたのである。而してヨークタウンの攻撃戦に参加した佛國兵の數は米國兵よりも多かつた。獨立軍の戦捷は佛國兵の協力に負ふところが極めて多かつたのである。

〔巴里平和條約と米國の獨立〕 ヨークタウンに於て、コーンウォリスが部下と共に獨立軍に降つた翌年一七八二年二月二十七日英國議會下院は戰爭の繼續に反對を決議し、三月二十日ノース卿内閣は辭職し、ロッキンガム侯新に内閣を組織し、チャールス・ジェームス・フォックスは外相に、シェルバイン卿は殖民大臣に各、任ぜられた。新内閣の米國に對する方針は速に之と媾和せんと欲するにあつた。然るに七月一日ロッキンガム侯は病を以て歿した爲めに、シェルバイン卿が代つて首相となるや、彼と意見を異にした外相フォックスは辭職した爲めに、米國との媾和の交渉はシェルバイン親ら之に當ることとなり、彼の命

を受けたりチャード・オスワルドは四月巴里に遣されて、その地に滞在中の米國使節フランクリンと密かに會見し、非公式に媾和條件に關する協議を遂げて倫敦に歸つた。

英國政府は、ノース卿内閣の時既に、サラトガの敗戦後、米國と媾和の方針を以て密かに交渉を始めたが、双方の主張が一致しなかつた爲めに、遂に成立するに至らなかつた。然るに、一七八二年に至つて、再び媾和の交渉を開始するに至つたのは、(一)ヨークタウンに於けるコーンウォリスの降服の爲めに、武力に依る獨立軍の討壓が事實に於て不可能となつたこと、(二)米國獨立軍の外に佛、西、蘭三國を敵として戦ふのみならず、列國が相次いで武装中立聯盟に加はつた爲めに、英國は國際間に全く孤立し、海上帝國の將來について深き憂慮を感ずるに至つたこと、(三)米國の獨立が殆ど既成の事實とも稱すべき時に於て、速に之を承認して商業的關係を復興せしめ、米國貿易に他強國の侵蝕するを防止せんと欲したこと、(四)米國と媾和した後全力を擧げて佛、西、蘭の三敵國に當り、以て海上に於ける優勢を確保せんと欲したこと等の爲めである。英國の輿論は益々、米國との媾和を望んだ。米國人に對する民族的同情心に加へて、世仇の佛西兩國に對する反感が、此の趨勢を生ずるに與つて力があつたのである。而して、米國が媾和の交渉に應じたのは、(一)速に戰爭を終つて、専ら力を國力の開發に用ひんと欲した外に、英國が和蘭と開戦した後、軍需品の供給が益々困難となつたのみならず、獨立軍の統制強固ならずして、既に述べた如く、脱走兵相次ぎ、民心亦漸く戰爭に倦み、爲めに永く戰爭を繼續することの困難を感ずるに至つたこと、(二)佛國と同

盟してその兵力的援助を借るの已むなきに至つたといへ、歐洲強國と永く政治的關係を持続することに依つて、遂には歐洲の國際的葛藤裡に捲込まるゝに至るべきことは、米國の愛國者が等しく憂懼してゐたことであつた爲めに、速に戰爭を終つて、かゝる憂より免れんと欲したこととの爲めである。その外に英國人に對する民族的感情も亦戰爭の終結を望むに至らしめたことは言ふまでも無いのである。

一七八一年六月既に米國議會はジョン・アダマス、ベンジャミン・フランクリン、ジョン・ジェー、ヘンリー・ローレンス及びトーマス・ジェファソンを媾和委員に命じたが、ジェファソンはヴァージニア州知事としての職務に妨げられて歐洲に渡航すること能はず、ローレンスは航海中に英國艦隊の爲めに捕虜とせられ、アダマス及びジェーは彼等の他の任務であつた和親通商條約締結等の爲めに各、和蘭及び西班牙に赴いてゐた爲めに、英國政府の密使オスワルドが巴里に来るや、之と應接した者は、巴里駐在中のフランクリンのみであつた。英國政府は米國使節の要求を容れて先づ米國の獨立を承認した後、一七八二年十一月三十日英米平和暫定條約は巴里に於て調印せられた。ジョン・アダマス及びジェーは、その前既に巴里に歸着し、ローレンス亦英國の獄より釋放せられて之に會し、フランクリンと共に右條約に調印した。而して彼等は、米國議會が彼等に與へた訓令に違ひ、また佛米同盟條約の明文を無視して、英國政府の要求を容れ、佛國政府に何ら告ぐることなくして右平和暫定條約を締結し、調印後に於て、初めて之を佛國政府に通告した。佛國外相ヴェルジャンヌは米國使節の不信を憤慨したといへ、英米間に平和條

約が成立した後には於て彼等を責むるも遂に効なきのみならず、却て米國をして益、英國に親近するに至らしむべきことを虞れ、フランクリンの釋明に満足して右平和條約を承認した。(フランクリンは佛國政府に秘して、英國政府と平和談判を開くことに反對したが、ジョン・アダマス及びジェーが強硬に之を主張した爲めに、遂に之に同意するに至つたのである。)而して米國議會は彼等が訓令に違反したことを非難しながらも、彼等の締結した暫定條約に對して満足の意を表し、之を承認した爲めに、之に據る本條約は一七八三年(天明三)九月三日巴里に於て調印せられた。

英國と佛國・西班牙及び和蘭との戰爭と媾和 佛國は海陸軍を以て米國獨立軍を援けたのみならず、また西班牙及び和蘭にも應援した。佛國艦隊は英國艦隊の爲めに占領せられた和蘭領聖ユースタチウス島及び和蘭領ギヤナを奪還した。和蘭艦隊もドッガー・バンクの海戰に於て英國艦隊と戦うて、勝敗は遂に決しなかつたが、和蘭海軍の名聲は之が爲めに揚つた。而して佛西聯合艦隊はミノルカを占領し(一七八二)、また提督スッフランの率ゐる佛國艦隊は印度に向ひ、英國人に抗して起つた土豪ハイダル・アリを援けた。されど西印度に於て提督ド・グラスの率ゐる佛國艦隊は英國提督ロードネーの爲めに破られて、爲めに佛國艦隊のジャマイカ攻略は目的を達し得なかつた。而して佛西聯合軍はジブラルタルを攻圍すること三年に亘つたが、英將エリオット善く防ぎ戦ひ、爲めに聯合軍は遂に之を陥るゝこと能はず、地中海の關門は依然英國人の掌裡に歸した。かくて英米間に暫定平和條約が協定せられた後、一七八三年正月二十日

エルサイユに於て、英國と佛國及び西班牙との間に暫定平和條約は成り、一七八三年九月三日之に據る本條約は調印せられた。而して翌年初め英國と和蘭との間にも平和條約が締結せられた。

巴里及びヴェルサイユ平和條約に依つて米國の獨立は承認せられて、その境域が劃定せられた外に、英國はトバゴ島を佛國に、フロリダを西班牙に割讓した。されど海上に於ける英國の優勢は依然として舊の如く、佛西兩國の得るところは失ふところを償ふに足らず、特に佛國の財政はこの戦争の爲めに益、窮迫を加へ、米國の獨立は自由民主主義の勝利と認められて大いに佛國の民心を刺戟し、俱に佛國に大革命の起る原因となつたのである。

米國は獨立後、憲法の制定に着手したが、各州の自治主義と全國の統一主義との間に議論は沸騰したが、主としてアレクサンダー・ハミルトンの主張の下に、各州に廣汎なる自治權を享有せしむると共に、全般に通ずる政務は之を中央政府に集中する共和主義の憲法は、一七八七年フィラデルフィヤに於て開かれた憲法制定議會に於て確定し、一七八九年三月四日ジョージ・ワシントンが最初の大統領に選舉せられた。

二 英國の印度併有

英國東印度會社の勢力伸張 一六五三年の巴里平和條約に依つて、印度に於ける佛國人の勢力は打破せられて、英國東印度會社は獨り商權を擴張するのみならず、また莫臥兒帝及び印度諸侯を漸くその權下に制壓するに至つた。ブラッシーの戰捷後、ベンゴール地方は英國人の權下に服屬するに至つたが、彼等の

壓制と誅求とに對する土民の反感は益、加はつた。東印度會社の役員は土民を擄取して私利をのみ圖つた。その結果、會社の役員が富むに反して會社そのものの財政は窮迫した。ブラッシーの戰捷者たるクライヴも亦大いに富みて國に歸り、爵を授けられて貴族に列した。一七六五年彼は再び印度に來つて會社の施政について改革するところがあつたと共に、會社の所領を擴張し、印度諸侯を隸屬せしめ、莫臥兒帝亦會社より年貢を受けて、ベンゴール、オリッサ及びベハールの收稅權を會社に委任した。されば一七六七年クライヴが再び英國に歸つた頃、ベンゴール地方の主權は事實に於て東印度會社に歸し、印度諸侯は空名を保つに過ぎなかつた。印度が遂に英國人の權下に隸屬するに至つたのは、莫臥兒帝の權威衰へて全國を統一すること能はず、各地の總督は名は帝の權下に在るも事實に於ては獨立して、諸侯割據の勢をなし、帝權に抗し、また彼等相互の間に勢力を争ひ、國家としての統一が全く破壊せられてゐたに加へて、印度人の武力は英國人のそれに比して遙かに劣り、その侵略に對抗して自ら防衛する實力を全く失うてゐたが爲めである。莫臥兒帝も諸侯も、外敵に當る爲めに英國人の武力に依頼したことは、英國人をして彼等の内政に干渉せしめ、遂に自ら主權を失ふに至つた所以である。而して佛國人の勢力が一掃せられた後、英國人は印度に於て強敵の彼等に對抗する者なく、自由にその侵略を逞しうすることを得たのである。

ワールン・ヘスチングスと東印度條令 東印度會社の勢威がベンゴール地方に伸張した頃、南印度のマイソール侯ハイダル・アリ（一七六六—一七八二）は英國人に對抗せんが爲めに南方諸侯を糾合し、西海

岸に於て廣大なる領土を獲得し、また佛國人と聯盟した。時偶、一七七〇年ベンゴール地方に於て大飢饉起り、東印度會社の財政が益、困難となつた爲めに、會社は政府の補助を請ふに至つたが、英國の輿論は會社の役員が私利を貪つて印度人に對する施政の宜しからざることを非難した（クライヴも遂に議會に於て彈劾せられた）。此に於て政府は東印度會社を監督して施政の統一を圖る必要あることを見て、會社に補助金を給すると共に、一七七三年議會の協賛を経て、統治令を發布し、之に依つて、新に總督を置いて行政及び軍事を統督せしめ、カルカッタに高等法院を開き、Regulation ワーレン・ヘスチングスを任じて最初の總督にした。

ワーレン・ヘスチングスは任に就くの後、地租の制を改め、收税吏には印度人を退けて英國人を用ひ、またウード侯スヂャ・ダウラーが附近の地を侵略せんが爲めに起した戦争を援助し、莫臥兒帝に給した年貢を中止した。目的は會社の爲めに収入を増さんと圖つた爲めである。ついで一七七八年にマールタ族と、一七八〇年にマイゾール侯及びその歿後嗣子チッピー・サヒブとの間に戦争が起つた。彼等は印度に於ける英國人の勢力が増長するに反抗して起つたものである。マイゾール侯はマールタ族及びデカン地方に君臨せるニザムと結び、且つ佛國人は彼等と同盟して海陸軍を以て之を援け、佛國提督スッフランは艦隊を率ゐて印度洋に現はれた。時は恰も米國獨立戦争に方り、印度に於ける英國人にとつて最も危難の時であつた。されど彼等が遂に克つて印度に於ける勢威を確保することを得たのは、彼等の武力が克く敵

軍に對抗し得るものあつたのに加へて、米國獨立軍に援助を與へた佛國が、同時に大兵を印度方面に増發し得なかつたが爲めである。而してヴェルサイユ平和條約の結ばれた後、英國人は印度に於て占領してゐた佛國領を還附すると共に、佛國人はマイゾール侯に與へた援助を中止し、英國人はマイゾール侯とも平和條約を結んで、侯に舊領地を保有せしめ、一七八四年に戦争は終つた。戦後ワーレン・ヘスチングスは戦費を補はんが爲めに、その權下に隸屬せる印度諸侯を壓迫して巨額の資を搾取し、且つ自己の爲めにも富を得ることを忘れなかつた。一七八五年彼は英國に歸つた後、議會に於てエドモンド・バーク等の猛烈なる彈劾を被つて、遂に公判に付せられたが、八箇年の後はじめて釋放せられた。一七八四年ウィリヤム・ピットは議會の協賛を経て印度法を發布し、之に依つて、國王の任命する六名の參議官より成る監督會議が設けられて、印度に於ける高級文武官吏の進退並に行政及び軍事を監督することとなり、この後東印度會社の重役は商業的關係にのみ力を用ひることとなつた。

第二十二章 近世の文化

近世文化の起原と發達 近世の文化は伊太利に於ける文藝復興に始まるのである。中世特に十四世紀以後漸く覺醒し來つた個人的自覺は文藝復興と結び付いて、精神的活動の何ら拘束せられざる自由を以て、人と自然とを考察し、人生を完美ならしめんことを求めた。所謂人道學は茲に起つたのである。而して、

人道學はアルプス山脈を越えて、伊太利より西歐諸國に弘まり、文藝復興の氣運を起すに至つた。されば西歐の文藝は古典に據ると共に、また初は範を伊太利のそれに取つたものであるとはいへ、尙ほ發展して、各、民族的特性を有する國民文藝となるに至つたのである。近世文化の特性は、中世に於ては宗教がその中軸となつてゐたのに反して、人と自然とに對して端的に眞と美とを求めたことである。基督教は依然人心を支配してゐたとはいへ、近世に於て政治と宗教とが漸次區別せられたる如く、知識は信仰に制せらるることなくして發達した。特に自然科学の發達は近世文化の誇であつて、益々進歩して今日に至つてゐる。而して學者及び文藝の士が宗教家の外に立つて、民心を指導する社會の一階級となるに至つたと共に、經濟的發達につれて、學校の増設せられたことと、印刷術の進歩とに依つて、知識と文藝の趣味とは益々廣く一般民衆の間に普及するに至つた。

自然科学の進歩 近世の科學は古代希臘及び羅馬の學者と中世亞刺比亞學者との知識に基いて發達したものである。古典の研究に依つて、古代の知識そのものが復興せられたのみならず、學者が宗教の束縛を離れて自由に知識を求め、且つ抽象的思索の外に實驗的考察を力めたことに依つて、自然科学は漸く發達するに至つたのである。而して實驗の爲めに考案せられた器械は科學の發達を助け、科學の發達は器械を益々精巧ならしめた。また經濟的發達に促されて製作せられた實用的器械は科學の應用に依つて發達し、また科學を進歩せしめた。而して科學の進歩に依つて、自然界に對する人智の向しのみならず、その

影響は思想界に及び、また科學の應用に依つて人生は豊富となり、特に十八世紀に於て蒸氣機關の發明せられて以來、大規模の工業は漸く起つて、十九世紀の初に亘る所謂産業革命となり、その影響は經濟、社會及び政治の上に及んで、現代の社會と文化とを生ずるに至つた。左に列擧するのは、科學の進歩及び應用に大いに貢献し、人生の恩人と稱すべき人々である。而して科學の研究者は學者であつたが、之を應用して機械を發明した人々は、必ずしも學者でなく、單なる市井の人が多く加はつてゐる。

コペルニクス (ニコラス)

波蘭人で、一四七三年(文明五)トルン(普魯西)に生れ、伊太利に於て

Copernicus

Nicolas

人道學を修め、法學及び醫學に於て博士となり、また天文學に通じた。伊太利より歸つて後、フラウエン

Frauenburg

ブルグ(普魯西)寺の長老となり、一五四三年歿した。彼の名を不朽ならしめたものは、初めて太陽を中心とする地動説を唱へたことである。

ケプラー (ジョン)

獨逸ヴュルテンベルヒの人、一五七一年(元龜二)ヴァイル市に生れた。貴族で

Kepler

Wuerttemberg

Vail

はあるが、極めて貧しかつた。チュビンゲン大學に學んだ後、一五九四年スチリヤのグラッツ大學に於て

Tuebingen

Styria

Graz

數學の教授となり、理學者のチホ・ブラへと交はり、その推薦に依つてブラーグに到り、皇帝ルドルフ二

tycho Brahe

Prague

世より帝室天文學者の地位を授けられたが、俸給の正確に支給せられなかつた爲めに、常に貧窮に苦しんだ。帝の歿後リンツの學校に於て數學教師となり、一六三〇年レゲンスブルグに於て歿した。彼は新教徒であつた爲めに、舊教派に依つて迫害せられ、且つ常に貧窮であつたに拘はらず、天文學上に於て、コペ

Liniz

Regensburg

ルニクスの説を紹ぎ、更に彼の名に依つて知らるゝ天體運行の法則を發見し、天體表を作成した。

○**ガリレオ** Galileo 一五六四年(永祿七)伊太利ピサに生れ、前にピサ大學、後にパドヴァ大學の數學教授となり、後フロレンスに移り、一六四二年に歿した。彼は望遠鏡を作つて天體を觀測し、コペルニクス地動説の正しきことを確め、獨り天文學に於てのみならず、物理學に於て、振子の運動その他について新に發明するところが多かつた。而して、コペルニクスに依つて唱道せられた地動説は、地球を宇宙の中心とする古來の學説を覆し、また之が教會の教へるところに違ふものであつた爲めに、この説を奉じたガリレオの如きは教會の迫害を被つた。

ブラヘ(チホ) 一五四六(天文一五)丁抹領であつた南瑞典に生れた。丁抹王フレデリック二世の保護を受けて、天體を觀測し、コペルニクスの説に反對したが、天文學者を以て當時に著はれた。後、事を以て國を去り、獨逸皇帝ルドルフ二世に招かれてプラゲに到り、一六〇一年その附近ベナトキーに於て歿した。

是等天文學者に依つて、天文學は中世の占星術を離れ、また教會の拘束を脱して、科學として興り、數學や物理學の進歩と、觀測に用ひる器械の精巧を加ふるとにつれて、益々發達するに至つた。而して天體の運行について、その根本原因を闡明したものは、ニュートンの引力説であつた。

9 **ニュートン** Newton (アイザク) 一六四二年(寛永一九)英國リンカンシャーのウールストルプに生れ、

ケンブリッジ大學に學んだ。彼が林檎の落ちるのを見て引力説の暗示を得たのは、一六六六年と傳へられてゐる。而して、彼が引力説を公にしたのは一六八四年であつて、更に之を詳密に論じた名著自然哲學の

數學的原理は一六八七年に發行せられた。彼は獨逸の學者ライブニツと等しく微分學を發見した。ニュートンはケンブリッジ大學に於て數學教授となり、また大學を代表して議會の議員となり、女王アンネより

サーの爵位を授けられ、一七二五年(享保一〇)歿して、ウェストミンスター寺に葬られた。

ニュートンと同時代のグリニッジ天文臺長エドモンド・ハレー(一六五六—一七二四)及びその後任ジ

ョームス・ブラッドレー、伊太利人ドメニコ・カッシニ(初めボロニヤ大學、後巴里大學教授。一六二五

—一七二二)及びその子の巴里天文臺長ジャック・カッシニ(一六七七—一七五六)、孫カッシニ・ド・チ

ュリー(一七二四—一七八四)、曾孫伯爵カッシニ(一七四八—一八一六)、獨逸ハンノーヴァーの人ウィリ

ヤム・ヘルシヘル(一七三八—一八二二)及びその子ジョン・ウィリヤム・ヘルシヘル(一七九二—一八

七一)、佛國人ジョセフ・ド・ラランド(一七三二—一八〇七)及び甥ジャン・ド・ラランド(一七六六—

一八三九)等は、天體の觀測に依つて天文學の發達に貢献するところ多かつた。而して天體の起原について獨逸の哲學者カント及び佛國の理學者ラプラスは各々星雲説を立てた。

ラプラス(ピエル・シモン) 一七四九年に生れた。貧しい農民の子であつたが、數學を修めて、巴

里兵學校の教官となり、ナポレオンの代に、元老院議員に任ぜられ、ルイ十八世の位に復するに至つた後、

侯爵を授けられ、一八二七年歿した。天文學及び物理學に於ける業績は多かつた。

天體觀測の爲めに天文臺は一六六七年巴里に、一六七五年グリニッジに、一七〇六年伯林に、一七二五年にペテルスブルグに、一七五五年ウィーンに各、建設せられた。種々の科學的實驗器械も發明せられた。望遠鏡は益々發達し、一六七一年にニュートンは初めて反射鏡を有する望遠鏡を作り、一七五七年英國人ジョン・ドロンドは無色望遠鏡を造つた。その外に時計は益々精巧となり、クロノメートル、寒暖計、晴雨計、濕度計、ライデン蓄電壘等は創作せられた。伊太利の人トリツェリ(一六〇八—一六四七)は數學及び物理學者たるのみならず、望遠鏡、顯微鏡等を改良し、また液體力學の原理を發見したことを以て著はれてゐる。

右に述べた天文學者及び物理學者は何れも亦數學者であつたが、近世に於ける數學の發達には著しきものがあつた。十六世紀に於て獨逸の畫家として有名であつたニュルンベルヒの人アルブレヒト・デュラー(一四七二—一五二八)及び有名な伊太利の畫家レオナルド・ダ・ヴィンチ(一四五二—一五一九)は藝術の巨匠たると共に卓越せる數學家であつた。ついで十六世紀には伊太利人ヒエロニモ・カルダノ(一五〇一—一五七六)、佛國人フランソア・ヴィエト(一五四〇—一六〇三)、獨逸人アダム・リーゼ(一四九二—一五五九)、十七世紀以後佛國の哲學者デカルト(一五九六—一六五〇)、數學者で、また思想家であつたパスカル(一六二三—一六六二)、ピエール・フェルマ(一六〇一—一六六五)、英國のニュートン、獨逸の

ライプニツ(一六四五—一七一六)、瑞西バーゼルのベルヌキ一家(十九世紀に至る迄代々學者)及びその系統に屬するバーゼルの人レオンハルト・オイレル(一七〇七年に生れ、露帝カタリナ二世に聘せられて露國に赴き、一七八三年ペテルスブルグに於て歿す)、佛國の數學者ジャン・ルロンド・ダレンベル(一七一七—一七八三)等の大家輩出して、數學は著しき進歩を遂げた。

和蘭の人クリスチャン・フイゲンス(一六二九—一六九三)亦數學及び物理學を以て著はれ、天文學上に於ては、土星の輪及び第四衛星を發見し、光學上に於て、彼の名を以て知らるゝ原理を立てた。獨逸マゲブルグ市長となつた理學者オットー・フォン・ゲリッケ(一六〇二—一六八六)は、一六五〇年排氣ポンプを創作し、また電氣について實驗し、尙ほ不完全ではあつたが發電機を作つた。電氣は學者のみならず、一般人民の興味を喚起し、種々の發電機は考案せられ、その應用せられた玩具も造られたが、一七五二年米國人ベンジャミン・フランクリンは電光と電氣の火花と等しきことを證明して、避雷針を工夫した。十八世紀の末期に伊太利人アロイジオ・ガルヴァニ(一七三七—一七九八)及びアレッシェサンドロ・ヴォルタ(一七四五—一八二七)は電氣について發明するところあつて、電氣が動力として用ひらるゝことの端を開いた。

化學は、中世以後近世に至つても、尙ほ久しく鍊金術の性質を脱しなかつたが、化學を科學として發達せしむることに先づ功があつた者は英國人ロバート・ボイル(一六二二—一六九一)であつて、實驗分析

化学の基を築めた。獨逸人チャールス・ウィリヤム・シェーレScheele（一七四二—一七八六）、英國人シ・セス・プリーストリーPriestley（一七三三—一八〇四）は酸素を、ヘンリー・カヴェンディッシュCavendish（一七三一—一八一〇）は水素を各、発見し、水が兩氣の化合に依つて成ることを證明した。佛國人アントワニス・ラヴォアジエLavoisierは化学の大家として著はれ、定量分析學を建てたが、佛國革命の起つた後、一七九四年革命政府の爲めに斷頭臺上に殺された。

生物學の發達について、顯微鏡の造られたことは與つて大いに力がある。顯微鏡は、一五九〇年頃和蘭の眼鏡師ハンス及びザハリヤス・ヤンセンに依つて工夫せられ、その後アイゲンスHuygens（一六二九—一六九三）に依つて完成せられた。和蘭人アントニー・ヴァン・レーウエンフックLeeuwenhoek（一六三二—一七二三）、ヤン・スワンメルダムSwammerdam（一六三七—一六八五）、伊太利の醫師マルセロ・マルピギMarcello Malpighi（一六二八—一六九四）は、顯微鏡の力に依つて、生物の組織等について多く発見するところがあつた。瑞西チュールヒの人コンラッド・ゲスネルGesner（一五一六—一五六五）、伊太利の人アンドレヤ・ツェサルピニAndrea Cesalpini（一五一九—一六〇三）、英國人ジョン・レーJohn Ray（一六二七—一七〇五）等は動植物學者として著はれた。而して十八世紀に於て瑞典にチャールス・リンネLinne出づるに及んで近世植物學の基は築められ、彼の名に依つて知らるゝ分類法は創見せられた。リンネは一七〇七年南瑞典のロスフルトに生れ、後ウプサラ大學の教授となり、一七七八年此の地に歿した。彼の名著システマ・ナチュレSystema Naturaeは、一七三五年和蘭のライデンに於て發行せられた。佛國植物學者ア

ントワニス・ド・ジュッシュューAntoine de Jussieu（一六八六—一七五八）その甥ベルナルBernard（一六九九—一七七七）及びアントワニス・ローランLaurent（一七九七—一八三六）とローランの子アドリヤンAdrien（一七九七—一八五三）は植物の自然的分類法を大成した。

動植物學と俱に、人體の解剖學、生理學も漸く進歩した。ブリュッセルの人アンドレヤス・ヴェサリウスAndreas Vesalius（一五二四—一五六四）は、一五四三年人體解剖書を著はして、斯學に於ける劃期的著作と認められてゐる。英國人ウィリヤム・ハーヴェイWilliam Harvey（一五七八—一六五七）は血液の循環を発見し、佛國人キユヴィエCuvier（一七〇八—一七七七）は學廣く、また詩人であつたが、解剖學者植物學者としても亦名を知られた。而して解剖學の進歩と共に、外科醫術は漸く興つた。十六世紀に巴里の外科醫アムプロワーズ・パレーAmprobe Pare（一五一〇—一五九〇）は近世外科學の始祖と稱せられる。十八世紀に英國人ウィリヤム・ハンターHunter（一七一八—一七八三）は、解剖學及び産科を以て、弟ジョン・ハンター（一七二八—一七九三）は外科を以て各、有名であつた。而して人生に偉大な恩澤を與へたものは、エドワード・ジェンナーEdward Jenner（一七四九—一八二三）に依つて發明せられた種痘法である。ジェンナーは英國グルースターシャーのバークレーBerkleyに生れ、ジョン・ハンターに就いて醫學を修めた。彼が種痘法を發明したのは一七九六年（寛政八）である。

動植物學の研究と共に、標本の蒐集が行はれ、既に十四世紀に伊太利に於ては植物園が作られてゐたが、

十六世紀に至つては諸國に植物園が相次いで作られ、中でも英國の植物園は最も有名であつた。露西亞に於ても一七二五年ペテルスブルグに植物園が設けられた。植物園の最初の目的は藥用植物の栽培であつた。動物園も亦漸く作られ、ウィーンのシェーンブルン動物園は一七五二年に設けられ、巴里の植物園は一七九四年以後動物園をも兼ねるに至つた。
Schoenbrunn
Jardin des Plantes

礦物學及び地質學も、亦化學及び物理學の進歩と相伴うて漸く發達した。礦物學に於ては、佛國人アイウヘー(一七四三—一八二二)は結晶學の幾何學法則を發見し、獨逸の人アブラハム・ゴットロープ・ウヘー(一七五〇—一八一七)、レオポルト・フォン・ブッフ(一七七四—一八五三)、英國人ジェームス・ケルネル(一七五〇—一八一七)、レオポルト・フォン・ブッフ(一七七四—一八五三)、英國人ジェームス・ハットン(一七二六—一七九七)は各、地質學者として著はれた。化石に據る地史の研究も亦瑞西人シヨイフチ(一六七二—一七三三)、佛國人ビュッフ(一七〇七—一七八八)、ケュヴィエ(比較解剖學者)等に依つて進められ、一七六一年獨逸人クリスチャン・フュックセルは、彼の故郷チュリンギヤ地方について、地質圖を初めて作成した。地理學に於ても、探險に依つて知識は進み、一七六八より一七七九年に亘るジェームス・クックの前後三回に亘る探險航海は太平洋及びその諸島の、露西亞の西比利亞征服は北亞細亞の地理的知識について大いに貢献し、伯林の人ペートル・シモン・パラスは一七六八から一七七四年まで露國政府に招かれて、西比利亞に學術的探險旅行をなし、フランドルの人ゼラール・メルカトール(一五一二—一五九四)は彼の名に依る製圖法を創め、製圖術はネーデルランドに於て先づ發達し

たが、獨逸ニュルンベルヒの人ジョン・バプチスト・ホームマン(一六六四—一七二四)は地理學者及び製圖家を以て著はれ、彼の手に成つた地圖は廣く世に行はれた。
John Baptist Homann

科學の應用と機械の發明 近世特に十七世紀以後、科學は各方面に於て前古無比の發達を遂げ、今日にいたる迄底止することなき進歩を續けてゐる。科學の進歩と共に、實驗用の器具も發明せられて、互に發達を助けたことは既に述べた。而して一面に於て、經濟的發達は産業の發達を意味し、種々の機械は考案せられ、科學は之に應用せられて、益、精巧となり、また確實となつた。科學も亦機械の發明に助けられて益、發達した。多くの發明は理論的には夙く案出せられてゐたが、その實際に用ひられ得る機械として製作せらるゝに至つたのは、科學の知識が應用せられたが爲めであつて、天才的技能を有して、しかも學歴なき人の之を發明した場合が多かつた。

工業については、英國が先進國として興つた。十六世紀に、英國が大陸に於ける領土を全く喪失して、將來の發展を海上に求めねばなくなつたことは、英國人が商業國民として發達するに至つた第一動機である。而して無敵艦隊の擊退に續いて、西班牙人、和蘭人、最後には佛國人と戦うて之に克ち、遂に世界の海上權を占め、海外領土の膨脹するに隨うて、英國の商業は益、發達し、漸く世界の市場を左右するに至つた。商業の發達するにつれて、商品を廉價に迅速に且つ多量に生産する必要は、工業の發達を促進した。而して英國に、機械の製作材料である鐵と、蒸氣が動力として用ひらるゝに至つて、燃料として缺

くべからざる石炭とを豊富に有してゐたことは、工業の發達にとつて實に天恵であつたのである。英國民が島國民たることを自覺して發展を海上に求め、海上に於ける敵國と戦うて之に克つたことは、商業を昌んにし、また之につれて工業を發達せしむるに至つた主たる原因である。英國以外に於ても、新しき發明はあつた。ネーデルランドに於ては商工業俱に昌えた。而して英國人は自ら發明したものの外に、外國で發明せられたものをも採用し、且つ之を改善して實用的にしたことに彼等の長所は認められるのである。政府は欣んで外國技術家の來るのを迎へた。ネーデルランドの新教徒は英國に移住した。佛國の新教徒亦英國に遁れ來つた。彼等に依つて英國の玻璃、紙、絹工業は大いに興つた。政府は新發明を獎勵し、既にエリサベス女王の代に特許法は制定せられた。而して商工業の發達と共に資本は増殖し、大陸諸國に於て國家が自ら製作また蒐集した物資を、英國に於ては私立會社が克く之を供給し得るに至り、隨つて政治及び社會に於ける資本家の勢力は漸く加はつた。

英國の綿布は世界の市場を支配するに至つたが、紡績機械はリチャード・アークライトに依つて創作せられ、サミュエル・クロンプトンが改善したものである。最初は水力が動力として用ひられた。織布機はエドモンド・カートライトに依つて完成せられた。

リチャード・アークライト (一七三二—一七九二) はランカシャーのプレストンに生れ、一七五〇年彼はホルトRichard Arkwright Lancashire Preston Bolton

に於て理髮業を營んでゐたが、その後紡績機の發明に熱中し、一七六八年(明和五)プレストンに歸つて之を作

つたが、地方民の反對に遭つて、ノッチンガムに移り、茲に彼の最初の機械が据付けられた。動力としては馬力が

用ひられた。一七七一年デービッド・シャアのクロンプトフォードに於て、水力に依る機械を起した。蒸氣力が動力として

用ひられたのは一七九〇年であつた。

サミュエル・クロンプトン (一七五三—一八二七) はランカシャーのホルトン附近なる農家に生れた。彼が精細な

綿絲を紡出する機械を發明したのは一七七九年(安永八)であつた。

エドモンド・カートライト (一七四三—一八二三) はノッチンガムシャーのマーナムに生れ、オックスフォード大學に於て教育を受けた。彼が織布機を作成したのは一七八〇年代であるが、初は非常な反抗を受け、その實際に用ひらるゝに至つたのは、十九世紀に入つて後である。

製鐵業も亦十八世紀に至つて大いに興つた。熔礦爐にコークスが用ひられたのは、十八世紀の中頃である。英國人ヘンリー・コート (一七四〇—一八〇〇)、シェーム・ネールソン (一七九二—一八六五) 及び十九世紀に入つてヘンリー・ベッセマー (一八一三—一八九八) 等は製鐵業の發達に大いに貢献した。近世に於て殆ど斷えざる戦争は兵器を發達せしめ、之に伴ふ工業も亦大いに興つた。而して戦争が歩兵を主力となすに至つた爲めに、彼等の使用する小銃は改善せられ、且つ軍隊に於て銃の種類が統一せられた爲めに、多量に製造せらるゝことを要するに至つた。一六四〇年の頃、佛國に於て火繩銃の代りに鷄頭に石を付して、撃鐵に依つて發火する装置の小銃が製作せられたが、忽ち各國に於て採用せらるゝに至つ

た。粒狀火薬及び鉛鑄の彈丸に螺旋的進行をなさしむる装置を付することも發明せられた。瑞典王グスタフ・アドルフは移動的野砲を使用し、フレデリック大王は各大隊に二門の野砲を附屬せしめた。口径に大小はあるが、砲身の長い火砲及び臼砲は攻城野戦に使用せられ、榴弾亦發明せられた。

造船術は遠洋航海と海戦との爲めに發達し、多數の火砲を備ふる巨船が製造せられた。されど十八世紀に蒸氣船は猶ほ未だ起らず、總べてが帆船であつた。一七八三年佛國人モンゴルフィエ兄弟は麻布袋に熱氣を容れて風船を作り、同年佛國人セザル・シャルは絹布袋に水素を盛り、巴里に於て上騰せしめた。されど航空船は、猶ほ未だ發達するに至らなかつた。されど、蒸氣機關は、十八世紀に於て英國人ジェームス・ワットに依つて作られて、その後各般機械の動力に使用せられて大工業は興り、所謂産業革命を惹起す主たる原因となつた。

ジェームス・ワット(一七三六一—一八一九)は蘇格蘭のグリーンノックに生れた。商人の子である。グラスゴーに至つて、數學、器械の製造を學び、之を以て業とした。その後、彼は運河の測量、港灣の修築等に從事してゐたが、他が蒸氣機關を作つたのは、一七六五年(明和二)の頃であつた。

科學の應用は、獨り工業のみならず、農業の發達をも助けた。十八世紀の半頃にいたる迄、農業は古來の因襲的方法を墨守して、進歩するところがなかつたが、之には戦争の頻繁に起つて村落を荒されたこと、農民が生活に苦しみ、隨つて知識の低劣であつたことなども與つて力がある。然るに、人口の増殖するに

つれて、食料の需要が加はつたことは、農業を改善して收穫を増すの必要を感じしめ、識者の注意を農業に向はしめた。重商主義の經濟學説が、餘りに商工業に重きを置いたのに反對して、重農學派が起つた。而して科學特に化學が農業に應用せられて、肥料、栽培法等は漸く改善せられた。

科學の應用と實地に於ける經驗とよりして種々の機械が創作せられたが、猶ほ古來の小工業及び家内工業は存續して、十八世紀の半頃迄は、工業に於て以前と多く異なるところがなかつた。英國に於て機械を用ひる大規模の工場が起るに至つたのは、その以後である。世界の海上權を把握して、廣大なる殖民地を有し、且つ大陸諸國に比して工業の先進國となつた英國は、機械に依つて製産せらるゝ多量の物貨の爲めに市場を見出し得た。而して英國の海外貿易は海上權力と相伴うて伸張し、工業の之と共に發達するに隨つて資本は増殖し、大資本家は起つたが、彼等の爲めに酷使せらるゝ工場労働者階級が漸く社會に生じ、また殖民地に於ては、希臘や羅馬の時と同じく、亞弗利加より輸入せらるゝ奴隸が使役せられた。

政治學説 中世末期に起つた中央集權的國家は、近世に至つて益々發達して君主權の伸張となり、專制君主政治が興つた。國民は彼等の民族的自覺と政治及び經濟的利益とよりして、彼等の國民的統一を要求し、君主權の伸張を助長したのである。而して中央集權的國家主義は、中世の因襲たる羅馬法皇の政教兩界に於ける世界統治主義に衝突すると共に、國內に於ては、封建貴族の政權分割主義に反對するものであつた。

十六世紀に於ける宗教改革は、個人に信仰の自由を要求して、羅馬法皇の宗教的權威に反抗したのであるが、新教各派は國民主義と結び付いて、政教兩界に於ける世界統治主義に反對することに於て一致してゐた。而して新教各派は、教政に於て教會の國民的獨立を主張して、嘗に政權より全く獨立しなかつたのみならず、却て之を強固なるものたらしめた。即ち彼等は政權に對して臣民に服従の義務あることを教へたのである。されど、新教も舊教と等しく、政權の保護を要望してゐた爲めに、彼等の争が單に神學的争論たるに止まらずして、やがて政治的抗争と關連するに至るや、政權争奪の爲めには主權者に對して反抗を敢てするものあるに至つた。

宗教改革に始まつた新舊兩教派の争論と、之に關連する政治的抗争とは、俱に中央集權的國家の發達を阻害するものであつた。而して政治的抗争は、國家、社會の起原、主權の發生等の問題に關して、宗教を離れた政治思想を喚起し、文藝復興に由る古典の知識は之に大なる影響を與へた。

中央集權的國家の發達は君主權を強大ならしめたのであるが、君主權の伸張に反抗して、君公が人民に依つて選舉せられ、主權が人民に存在することを唱ふる思想は起つた。佛國の新教徒フランシス・オートマンFr. Gols Hotman（一五二四—一五九六）は佛國が選舉王國たることを歴史的に論じてゐるが、一五七九年に出版せられた『暴君に反抗する理由』の著者である佛國新教徒（假名ステファヌス・ユニウス・ブルーツス）は、Vindiciae contra Tyrannos 國王が神の教を犯した場合には、人民に反抗の權利あることを論じた。彼等は、佛國が新教徒の爲めに所

謂ユグノー戦争の正當なることを論證せんと欲して、その理由を佛國の歴史又は聖書に求めたのである。後者は、國王と人民との關係は、神の教を守らんが爲めに相互の間に結ばれた契約に由るものなることを述べてゐる。蘇格蘭の學者ジョージ・ブカナンGeorge Buchanan（一五〇六—一五八二）、ネーデルランド領エムデンに生れた獨逸人の學者ヨハネス・アルツシウスJohannes Althusius（一五五七—一六三三）も主權が人民に存することの説を述べてゐる。彼等はいづれも新教徒であつて、ブカナンは蘇格蘭貴族が女王マリヤの舊教主義と專制主義とに反抗して遂に之に克ち、ノックスの教に基いて新教義に據る蘇格蘭教會を建設した時に於て、新教義と俱に人民の權利を主張したのである。而してアルツシウスの教はネーデルランド人の獨立運動に同情し、之を正當視するものであつた。

カトリック教徒の間にも亦民主思想は起つてゐる。反宗教改革の中堅であつたジェズイト教派は羅馬法皇權の興復を目的とするものであつたが、彼等は民主主義に據つて君主專制政治に反對し、極端なる者は、人民に暴君を弑殺する權利あることをさへ唱へた。西班牙のジェズイト僧マリヤナMariana（一五三七—一六二四）は即ち其の人である。彼は、君王の權力が人民に依つて與へられ、隨つて人民の權利が君王の上に在ることを説いた。同じく西班牙のジェズイト僧スヴァレズSuarez（一五四八—一六一七）も亦君主權が人民の同意に發するものなることを述べた。

新舊兩教派俱に、彼等の政治説は宗教を離れて國家及び社會を論じ、その起原を人類の自然の狀態に求

め、人類を支配する自然法の存在することを認めたものであつた。羅馬法皇權の興復を目的とするジェズイト教派の間にも、政治と宗教とを區別し、羅馬法皇が直接政治に干渉することを非とする思想が起つてゐる。而して君主專制政治に反對した者は、國家の起原について、後年のルッソーを豫想せしむる民約説Hobbesianに據つて、主權が人民に存することを唱へた。然るに、之に反して國家の起原が權力に由ることを説き、君主專制政治を主張する政治思想も亦起つてゐる。宗派の争と政治的黨争とが、君主政治に反抗して、民主主義を唱ふる者を生じたのに反して、中央集權的君主政治の下に國家の統一を強固にする必要のあつたことは、君主專制政治を主張する政治思想を生ずるに至らしめた。佛國は夙く中央集權的國家として起つたのであるが、十六世紀の後半に於て、貴族の政權争奪と、之に關連する宗派的抗争との爲めに國家の統一が破壊せられんとするや、之を憤慨してボーダンの君主專制政治説は起つた。

ジャン・ボーダン (一五三〇—一五九六) は辨護士を業として、國王ヘンリー三世に寵任せられ、學者であつたと共に、政治の實際についても經驗を有してゐた。思ふに、彼は舊教徒だつたらうが、宗教に囚はれずして、當時佛國に於ける教派及び政黨の争亂の爲めに國家の統一が破壊せられんとすることに反對して、君主專制政治を主張し、論據を史的事實に求めた。彼は國家の起原を説いて、社會は人類の社交性に依つて生ずるも、國家は權力に由つて起るものたることを述べ、臣民は君主に服従し、君主は臣民に對して絶対權力を有し、君主權は法律に依つて制限せられざるものたることを論じた。されば彼は君主專制

政治を謳歌してゐるのであるが、君主政治が暴政に墮落することなからんが爲めに、君主は神と自然法の命ずるところに順ふと共に、自ら制定したる法律を遵守する必要があることを説いた。彼の著書の中に於

て *Methodus ad facilem Historiarum Cognitionem* Paris 1583. (2) *Les six Livres de la republique.*

Paris, 1599 は殊に有名である。

十七世紀に至つて英國に内亂が起つた。内亂はジェームス一世及びチャールス一世が王權神授主義に據つて君主權の絶対なることを主張したことが、英國人の傳統的憲政主義及び法律思想と背馳し、また王の英國教會に依る國教主義が、清教徒の信仰上に於ける個人主義及びプレスビテリアン教派の共和的教會主義と衝突したことが、主たる原因となつて起つたものである。王軍がクロムウェルの率ゐる軍隊の爲めに敗れて、王政は顛覆し、共和政治の建設せらるゝに至つた後、軍隊の將校の中に極端なる自由平等主義を唱へ、且つ之を實際に行はんと欲したレヴェラーの一派を生じた。彼等は軍隊の紀律を亂り、國家の統一を破壊する者であつた爲めに、クロムウェルに依つて抑壓せられたのであるが、自由民主思想は、大詩人ミルトンに依つて唱へられ、ジェームス・ハリントンHarrington (一六一一—一六七七) は更に進んで共和主義を主張した。一六六〇年チャールス二世が位に復して、英國に王政は復興したが、内亂時代に於て民主思想に反對して君主政治を主張した者はロバート・フィルマーRobert Filmer (一五九〇—一六五三) であつた。彼の主たる著書、パトリヤ (祖國) は、彼の歿後一五八〇年に初めて出版せられた。而して君主政治に哲學的論據を與へ

て、ボーダン等の主張よりも更に一步を進めて、系統的に力強く之を主張した者はトーマス・ホッブスである。

トーマス・ホッブス (一五八八—一六七九) は、人類の自然的状態は、各人が自己の慾望を満足せしめんと欲すると、他の爲めに壓迫せらるゝことを懼るゝと、自ら他を凌駕する地位に立たんことを欲することとの爲めに、不斷の闘争であることを論じ、彼等が自己保存の爲めに闘争の状態を免れんと欲し、彼等の自然に有する自由の権利を放棄して主権者に服従すべきことを約束することに依つて、國家の生ずるに至つたことを説いた。而して彼は、主権者の意志が絶対であつて臣民に依つて何ら制限せられざるものたることを論じて居るが、國家が個人の約束に成り、個人が自由に自由の権利を有してゐたことを説いてゐることは、スチュワート朝諸王の王權神授説と異なつてゐたのである。ホッブスの政治學説は彼の著書 *De Civ.* (1647) 及び *Leviathan* (1651) に於て説かれてゐる。

ホッブスが主権の絶対を説く學説は、君主專制政治にも、また議會の專制政治にも適用せられ得るものであるが、十七世紀の後半以後、歐洲大陸に於て、佛國、ブランデンブルグ、瑞典、露西亞等に於て君主專制政治が興つた。就中佛國に於てルイ十四世の代に王權は頂點に達して、王の命は即ち法律であつた。王の代にボッスエー (一六二七—一七〇四) は君主專制政治の最も自然に適ひ、最強最善の政體なることを説いてゐる。獨逸の學者プッフエンドルフ (一六三二—一六九四) は人類の自然の状態に關してボッブ

スと説を異にして、人類が理性に依つて社會及び國家を作るに至つたことを述べ、王權は最高權威たるも、猶ほ神の法と自然法とに依つて制限せらるゝことを論じてゐる。

歐洲大陸に於て君主專制政治が行はれたのに反して、英國に於ては、一六八八年の名譽革命に依つて憲政の基礎が確立した。此の時に於て英國の學者ジョン・ロック (一六三二—一七〇四) はホッブスに反對して自由民主主義を唱へた。彼は社會が個人の契約に由つて成り、契約は各人が生命自由及び財産を内外の危険に對して保護せんが爲めに結ばれたものたることを説き、その危険の何ものなるかを斷定して之を處罰する權能は社會全體に屬して、特殊の人又は團體に委任せらるゝものにあらざることを論じてゐる。而してロックは立法權と行政權とを區別する必要あることを論じてゐるが、未だ後の三權分立説にまでは及んでゐなかつた。ロックの政治思想は彼の著書 *Two Treatises of Government* に於て説かれてゐる。

國際法 國家の起原と主権の所在とについて、君主主義と民主主義とは各、説を異にしてゐるとはいへ、各國に於ける國民思想は益々發達して、國家の統一が固きを加ふると共に、國際間に政治及び經濟的利益を主とする複雑なる關係を生じ、その爲めに殆ど絶えざる戰爭も起つた。而してこの國際關係は社會及び國家と同様に自然法に依つて支配せらるゝものにして、之に據る國際法は政治學者の注意に上つた。西班牙のswales、佛國のボーダン、英國オックスフォード大學の法學教授となつたアルベリコ・ジェンチリ (一五五二—一六〇八) 等は各、之に論及してゐるが、後の國際法學に基礎を與へた者は和蘭の學者フゴ

1. グロチウス（一五八三—一六四五）であつて、彼の名著 *De Jure Belli et Pacis*（戦争及び平和の法）は一六二五年世に公にせられた。また彼は君主政治を主張して民主主義に反対してゐる。

經濟思想 中央集權的國家が興つて、封建諸侯割據の爲めに生じた交通の障害が除き去られたこと、海上發見の結果として海外貿易が興つたことは、近世の商工業を發達せしめたことの最初の主たる原因である。而して海外貿易は時と共に益、進み、新大陸の富源が開發せらるゝに加へて、十七世紀の中頃以後、科學の應用及び機械の發明に由つて、産業は大いに興り、商工業は益、發達した。經濟的進歩に伴うて貨幣經濟は發達し、貨幣が富と同一意義に解せらるゝと共に、社會に於ける資本家の勢力は漸く加はつた。而して君主專制政治の發達は、獨り政治上に於てのみならず、經濟上に於ても中央集權的統一を要求し、君公の政治的權力を強大ならしめ、君公はその富力を増殖する目的を以て、國家的經濟政策を立て、各、富國強兵の策を講ずるに至つた。經濟上の中央集權主義に據る富國策は、貨幣即富の思想と結び付いて、*重商主義*の政策を生じたのであるが、*重商主義*の根本思想は、一國の富がその有する金銀貨の多寡によることを信ずる思想であつた。故に重商主義の商業政策は、出來得るだけ輸入を制限して輸出を獎勵し、その爲めに關稅を重くして自國の産業を保護した。而して殖民政策も重商主義に據れば、母國の利益を圖ることを以て目的としたものであつた。而して重商主義は君主權の伸張に伴うて起り、既に十六世紀に始まつてゐるが、君主專制政治の下に國家の益、固く統一せられて、國際的抗爭亦甚しきを加へ、列國各、

富國強兵の策を講ずるに及んで、重商主義は歐洲大陸の君主專制國はいふに及ばず、憲政國たる英國に於てすら、その經濟政策は之に據ることとなつた。而して重商主義に依つて國を富ますことについて、最も成功したのは佛國のコルベールであつた。

然るに、十八世紀の半頃に於て佛國の醫師ケイネーに依つて首唱せられた重農主義（*Physiocratie*）は自然の權威の義）は、*重商主義*が商工業に重きを置いたのに反して、農業が獨り富を生産するものであることを論じ、商業に對しては人爲的策を用ひることなく、放任すべきことを説いた。重農主義は、當時益、勢力を加へてゐた自然法思想と自由主義とに影響せられて起つたものであると共に、その農業を尊重したことは、*商工業者*に對抗して、地主の利益を擁護するものであつた。而して重農主義の經濟說に影響せられてゐるものであるが、彼等の如く富を生産する者を農業にのみ限ることなく、一切の勞力に及ぼして、その分業協力に由ることを説き、新に經濟學說を興した者は、蘇格蘭の學者アダム・スミス（一七二三—一七九〇）である。彼の名著富國論は一七七六年（安永五）世に公にせられた。彼は貨幣の富にあるざることを明かにし、分業と自由貿易主義とを説いた。アダム・スミスの自由貿易主義は、十九世紀に至つて、英國の發達したる商工業の利害に適應し、英國政府は漸く之に據る商業政策を行ふに至つたのである。

哲學 近世に至つて、人智が宗教の束縛を脱して自由に發達することを得るや、自然界に於ける現象を

考察して、その由つて來るところを説明せんと欲し、茲に自然科学の著しき進歩を生じたのであるが、人と自然とを含む一切の根本原理を探求する哲學の上にも碩學が相次いで現はれた。而して哲學亦自然科学に大いに影響せられたが、双方俱に彼等の知識は中世に於ける如く論理の演繹法にのみ依らずして、歸納法に基いたものである。歸納法論理は英國の政治家でまた學者であつたフランシス・ベーコン(Francis Bacon) (一五八四—一六二六) に依つて創唱せられたのである。而して哲學は宗教を離れて、人の行爲について原則を發見せんと欲する倫理學を生じたが、哲學が一切の根本原理を探究し、自然科学が萬般の現象を説明せんと欲するに於て、彼等は宗教と傳統とに囚はれず、獨り理性にのみ訴へ、且つ思想の自由を要求し、特に自然科学が著大な進歩をなしたことは、十八世紀に於て所謂革新思想を生ずるに至つた主たる原因である。近世哲學史を飾つた碩學の學說を詳述するは本書の範圍外に屬する故に、彼等の名を擧げるに止める。

佛國の學者デカルト(Descartes) (一五九六—一六五〇) は近世哲學の父と稱せられ、また數學の大家であつた。『私は考へる故に私は在る』とは彼の有名な語である。彼は宗教と因襲的關係とに拘束せらるゝことなく、自由なる哲學的思索に依つて眞理を求めたのである。彼は精神と物質との關係に於て所謂二元論者であつたが、之に反して英國の哲學者ホッブスは唯物論の上に彼の哲學を立て、且つ神學に反對して哲學を之より全然區別した。彼が政治上に於て、君主專制政治を主張したことは既に述べた。而してデカルト及びホッブスはいづれも彼等の哲學の爲めに、新舊兩教派の僧侶より敵視せられたが、彼等と略時を同じうして、

後世にまで影響を及ぼした哲學者は、和蘭のスピノザ(Spinoza) (一六三二—一六七七) である。彼は葡萄牙から移住した猶太人の子であつたが、その哲學の爲めに猶太教團を追はれ、ハーグに於て眼鏡師を業として、清貧に安んじてゐた。曾てハイデルベルヒ大學の招聘を受けたが、思索の自由を欲して之を辭した。彼の哲學は汎神論を以て著はれてゐる。

十七世紀の後半より十八世紀に亘つて、獨逸にライブニツ(Leibnitz) (一六四六—一七一六) 出で、獨り哲學者としてのみならず、また數學家、歴史家、法律學者として著はれ、數學に於てはニュートンと等しく微積分法を發見し、また實際の政治にも關與した。哲學に於て彼は一切の根原としてモナッドを説き、宇宙の調和を論じた。英國に於てジョン・ロックは、知識が獨り經驗に依つて生ずることを説いた。ロックの自由民主主義の政治學說に就いては既に述べた。ロックに次いで、英國にダヴィット・ヒューム(David Hume) (一七一—一七七六) 出でて、ロックと等しく知識は經驗に由るも認識に限界があり、根本原因その者の不可解なることを説き、所謂懷疑論を唱へてゐる。彼は又歴史家としても有名であつて、英國史を著してゐるが、功利主義及び自由貿易主義は彼の政治及び經濟思想に現はれてゐる。ロック及びヒュームは自然科学及び工業が發達し、且つ憲政の行はれた英國の社會が産んだ哲學者である。而して獨逸のケーニヒスベルヒにイムマニエル・カント(Immanuel Kant) (一七二四—一八〇四) が出づるや、認識能力を批判して哲學に新たな基礎を與へた。彼の知識は各方面に亘り、十九世紀後の哲學は源を彼に發すと稱しても可いのである。

文學 十八世紀にいたる迄、學術的著作は多くラテン語を以て著はされてゐたが、之は中世以來ラテン語が學者の用語となつてゐたが爲めである。されど一般文學に於て、國語による國文學は政治上に於ける國民思想と相伴うて益々發達し、政治が教權の干渉より脱却した如く、文學亦宗教の拘束を離れて自然と人生そのものを對象とするに至つた。十六世紀に於ける宗教改革は國民思想と結び付き、また自由思想を助長せしめ、その影響は亦文學の上にも及んだ。

獨逸に於てルーテル、佛蘭西に於てルフェーヴルは各、聖書を國語に翻譯し、また瑞典を獨立せしめた國王グスタフ・ワーズはルーテル派新教に歸依し、その宰相ローレンツ・アンデルソンに命じて聖書を瑞典語に翻譯せしめた。聖書の英譯は既に中世に於てウィクリフ及びその徒によつて作られたが、その全文が改譯せられて印刷せられたのは、ヘンリー八世の代マイルス・カヴァーデール(一四八八—一五六八)の譯である。獨逸に於て宗教改革が起つた頃、ニュルンベルヒの靴工ハンス・ザックス(一四九四—一五七六)は新教に歸依し、また詩人として當時に著はれた。されどその後獨逸に於ける多年の戰亂は國力を疲弊せしめ、諸侯割據して國民的統一の全く破壊せられた時に於て、ラテン語及び佛國文學は勢力を有して、國文學は興るに至らず、また文學は科學の進歩に伴はなかつた。然るに十八世紀の後半恰も普魯西がフレデリック二世の下に歐洲の強國として興り、カントが哲學界の偉人として現はれた時に於て、獨逸文學亦大いに興つて、クロップストック(一七二四—一八〇三)、ヴィーランド(一七三三—一八一三)、レッ

シング(一七二九—一七八〇)、ヘルデル(一七四四—一八〇三)等文豪相ついで出で、ゲーテ(一七四九

—一八三二)及びシルレル(一七五九—一八〇五)にいたつて頂點に達した。

英國に於てはヘンリー八世の代に、

トーマス・モア

は固くカトリック教を信じて、英國教會に従はな

かつた爲めに刑に處せられたが、彼が一五一六年ラテン語にて著はしたユートピヤは、後世にいたる迄彼

を有名ならしめたものである。而してエリサベス女王の代に、内は英國教會を確立して國民の精神的統一

を固うし、外は西班牙の無敵艦隊を撃退して國勢振興するや、國文學亦大いに興つてエリサベス時代の燦

然たる一時期を劃するに至つた。シェイクスピア(一五六四年(永祿七)、ストラッフォード・オン・エ

ヴォンに生れ、一六一六年此の地に歿した。彼の著作が現はれたのは無敵艦隊撃退後である)を始めエド

モンド・スペンサー(一五五二—一五九九)、ベン・ジョンソン(一五七三—一六三七)は各、不朽の名作

を遺した。フランシス・ベーコン亦此の時代に屬した。十七世紀に於て、英國文學に巨光を放つた者はジ

ョン・ミルトン(一六〇八—一六七四)である。彼はシェイクスピア後に於ける英國の最大詩人であつ

て、Paradise Lost の名篇が完成せられたのは一六六三年頃で、その出版せられたのは一六六七年(寛文

七)である。ジョン・ドライデン(一六三一—一七〇〇)に次いでアレクサンダー・ポープ(一六八八—

一七四四)、ジョセフ・アチソン(一六七二—一七一九)、ジョン・ナサン・スウィフト(一六六七—一七四五)、

ガリヴァー旅行記の著者)、ダニエル・デフォー(一六五九—一七三二)(ロビンソンクルーソー漂流記の著

者)、オリヴァー・ゴールドスミス(一七二八—一七七四)、サミュエル・ジョンソン(一七〇九—一七八三)等は、十七世紀より十八世紀に亘つて、英國文學に於ける巨名であつて、その著作は我が國に於ても廣く行はれた。

佛國に於ては、ヘンリー四世の代に多年の内亂終つて後、國勢隆々として興るに隨つて、國語は益々精鍊せられて文章の美を求め、政府の保護と共に、文豪相次いで出で、佛國語と佛國文學とは歐洲を風靡するに至つた。リシュリューは文學を保護し、彼の創立した佛國學士院は國語を統一し、且つ完美にするこゝとを以て事業となし、國語字典を作つて、一六九四年その第一版を發行した。リシュリューの時代にコルネイユ(一六〇六—一六八四)は出た。彼の名作シッドの發表せられたのは一六三六年である。コルネイユに次いで、ルイ十四世の代にラシーヌ(一六三九—一六九九)及びモリエール(一六二二—一六七三)が各、戯曲の名篇を公にした。コルネイユ、ラシーヌ及びモリエールは、英國文學に於けるシェイクスピア、獨逸文學に於けるゲーテ及びシルレルと等しく佛國文學の名を重からしめた者である。彼等三人の外に、ルイ十四世の代にボアロー(一六三六—一七一七)、パスカル(一六二三—一六六二)、ラフォンテーヌ(一六二一—一六九五)、フェネロン(一六五一—一七一五)、ボッスエー(一六二七—一七〇四)等は各、文學を以て著はれた。ルイ十四世の歿後、十八世紀に於ける所謂革新文學については後に述べる。

以上に述べた外に、近世に於ける世界的文豪として後世にまで著はれた者は西班牙のセルヴァンテーズ

(一五四七—一六一六)である。彼の名著ドン・キホーテは各國語に翻譯せられてゐる。

繪畫建築 近世の繪畫も伊太利の文藝復興に發し、漸く宗教的拘束を脱して文學と等しく直に自然と人生とを表現せんとすると共に、また國民的特性は各、その上に現はれてゐる。而して國勢の盛衰は藝術に反映し、又國民性と天才の出現とに伴うて流派の別は生じてゐる。十六世紀の宗教改革時代にニュルンベルヒの人アルブレヒト・デュラー(一四七二—一五二八)、アウグスブルグの人ハンス・ホルバイン(一四九七—一五四三)は畫家として各、著はれた。ホルバインは英國に赴いてヘンリー八世の保護を得た爲めに、彼の作品は英國にも多く残つてゐる。彼等は木版、銅版術にも亦巧であつた。是等の工藝は獨逸に於て最も進んでゐた。十七世紀の畫家として先づ指を屈すべき者は西班牙のヴェラスケス(一五九九—一六六〇)とムリロ(一六一八—一六八二)とである。彼等は何れもセヴィヤに生れて、俱に古今を通じての大家に數ふべき者である。ネーデルランドは、そのブルグンド公領たりし頃よりして既に藝術に優れてゐたが、十六世紀以後益々發達して名家輩出した。而して獨立戰爭に依つて、遂に南北に分裂するに至るや、彼等の異なつた民族性は藝術の上にも現はれて、南のフランドル派は寧ろ佛國風に接近してゐる。和蘭の畫家として一新機軸を現はした巨匠は、レムブランド(一六〇七—一六六九)である。南の西班牙ネーデルランドに於ては、ルーベンス(一五七二—一六四〇)及びヴァン・ダイクが著はれた。ヴァン・ダイクは英國王チャールス一世の寵遇を得て爵を授けられ、倫敦に於て歿した。而して英國に於ては、十八世紀

に至つてホガート(Hogarth)(一六九七—一七六四)、レイノールズ(Reynolds)(一七三三—一七九二)、ゲンスボロー(Gainsborough)(一七二七—一七八八)は時を同じうして出で、英國の畫風を起した。

建築に於て彫刻を以て外觀を飾り、宏壯華麗の觀を與ふるバロック式は、十七世紀に於て歐洲各地に行はれたが、十八世紀の初に於て室内の裝飾に重きを置くロココ式が佛國に起つた。即ち佛國に於けるサロン(Salon)(客室)的社交の要求に應じたものである。

革新思想 近世の自由思想は、自然科学の進歩に伴うて、一切を理性に訴へて判断せんとする合理主義を發達せしめ、合理主義は、その見て不合理となす因襲と舊慣とを打破せんとする革新思想を喚起した。而して革新思想は、貴族を始め、商工業の發達に伴うて漸く社會に勢力を加へた市民階級の有識者の間に弘まり、また英國に於ける憲政主義とロックの學說とは、大陸諸國民特に佛國人の政治及び社會思想に大なる影響を與へた。

佛國の王政が盛運の頂點に達したルイ十四世の代に於て、既にボッスエーが君主專制政治を謳歌せるに反して、フェネロン(Fenelon)(一六五—一七一五)及びバイル(Bayle)(一六四七—一七〇六)は自由主義を説き、また武將として功があつた元帥ヴァーバン(Vauban)(一六三三—一七〇七)及び法官ボアギューベル(Boisguilbert)(一七一四歿)は下層人民の窮乏を救ふ爲めに行政を改革し、特に賦税の負擔を軽減する必要あることを論じた。ルイ十五世の代に至つて、ヴォルテール(Voltaire)(一六九四—一七七八)は明快でまた深刻な文章に依つて革新思想を唱道

した。彼には特に獨創的思想として見るべきものがなかつたとはいへ、彼の天稟の文才は、詩に、歴史に、また評論の上に自由に發揮せられて、自然科学的思想を鼓吹し、英國の憲政及びその自由思想を謳歌し、合理主義に感情を交へて過去の人物及び歴史を評論し、彼が不合理と認めたる信仰並に因襲的の制度及び習俗をば無遠慮に嘲笑した。

ヴォルテールと等しく革新思想を鼓吹して普及せしめた者は、一七四五年に着手せられて一七八〇年に完成した百科辭書の執筆者である所謂アンシクロペヂストであつた。ヂデロ(Diderot)(一七一三—一七八四)、ダレムベール(Dalembert)(一七一七—一七八三)が、その編輯を統督し、ルッソー、ヴォルテール等革新思想を抱ける學者文人が之に加はつた。而してアンシクロペヂストの名は、總べて彼等と同じ思想の傾向を有する學者文人を稱することとなつたが、彼等は當時の哲學及び自然科学の知識と共に革新思想を普及せしめた者である。而して是等革新思想家の中に於て後世にいたる迄、政治及び社會思想に重大なる影響を及ぼした者はジャン・ジャック・ルッソーとモンテスキューとである。

ルッソーは一七二二年瑞西のジュネーヴに於て時計職工の子として生れ、一七七八年巴里の北東エルメノンヴィユ村に於て歿した(一七九四年巴里のパンテオンに葬られた)。彼の民約論は、彼がモンモランシ(Montmorancy)村(巴里の北)の所謂隱宅にゐた頃一七六四年に作られたものであつて、彼が説いた自由民主主義と平等主義とは佛國當時の君主專制政治及び階級的社會制度と全然相容れざるものであつた。

モンテスキューは貴族に屬し、一六八九年ボルドー附近のラ・ブレード城に生れ、一七五五年巴里に於て歿した。彼の名著『法の精神』は一七四八年ジュネーヴに於て初めて公にせられた。彼の政治學説は、英國のロックに影響せられてゐるが、更に進んで、立憲政治と立法、行政、司法の三權分立の必要とを論じてゐる。

革新思想は、既に述べた如く、佛國に於て貴族及び市民階級の有識者の間に弘まつた。蓋し佛國が中央集權的國家として統一せられ、經濟的發達に依つて貴族の外に市民階級が社會に大なる勢力を有し、且つ彼等の間に文化の普及してゐたが爲めである。而してこの革新思想は、君主專制政治と階級的社會制度と到底相容れざるものであつて、佛國王政の衰頹と共に革命の起るに至つた原因をなしたものである。



昭和五年五月一日印刷
昭和五年五月五日發行

西洋近世史講話

定價 金 參 圓

著 者

齋 藤 清 太 郎

東京市神田區錦町一丁目十番地

發 行 者

株式會社 明 治 書 院

取締役社長 鈴木友三郎

東京市神田區三崎町三丁目十二番地

印 刷 者

細 谷 祐 三

發 行 所

東京市神田區錦町一丁目
(振替東京四九九一番) 株式會社

明 治 書 院

電話神田 (25) 一四一四番

株式會社明治書院印刷所刷印

- | | | | |
|-----------------|--|--------------------|-------------------------|
| 露普同盟 |399 | ワレンスタインWallenstein | 109—112,
106—108,254 |
| ロボジツ | Lobosiz.....347 | | |
| ロマノフ朝 | Romanov..... 253,274,
275,298,300,396 | | |
| 羅馬 | Rome.....42 | | |
| 倫敦大火 | 198 | | |
| ロムバルヂヤ | Lombardy..... 295,325,
336 | | |
| ロレーヌ
コートリンゲン | Lorraine.....234,235,
237,240,245,282,
325,326,334 | | |
| ロレンツ | Lorenz.....250 | | |
| ローレンツ・アンデルソン | Anderson..... 250,446 | | |
| ワ | | | |
| ワイト | Wight.....162 | | |
| ワイマー公 | Weimer.....110,113,114 | | |
| 王權神授主義 | ...131,135,148,155,156,
158,161,163,168,
176,186,194,196,
202,205,209 | | |
| ワザ家 | Wasa.....250 | | |
| ワザ朝 |395,397 | | |
| ワシントン | George Washington ...
368,369,406,413,
418 | | |
| ワシリー三世 |271,274 | | |
| ワラキヤ | Wallachia.....326,375,
376,380,388,390 | | |
| ワルソウ | Warsaw...256,264,305,
306,333,394,402 | | |
| ワルテ河 | Warthe.....392 | | |
| ワルトブルグ | Wartburg.....16,25 | | |
| ワルポール | Walpole.....330,331 | | |
| ワーレン・ヘスティング | Warren Hasting...420,
421 | | |

267,298,393,394,
396,401
リトワニヤ公 392
リバリ群島 Lipari.....236
リンカーンシャー
Lincolnshire..... 424
リンツ Linz..... 423
リャザン Rjasan..... 270
リュクサンブルグ
Luxemburg..... 345
リューゲン Ruegen..... 117,309
リュツェン Lutzen..... 110,255
リュネブルグ Lueneburg..... 26,112
リュパート親王 Rupert... 157,168,170,
182
リュベック Luebeck... 246,249,250
リュベック平和條約.....107,247
リール Lille..... 294,297

ル

ルイ(コンデ公) Louis..... 60
ルイ(バヴァリヤ公).....284,285
ルイ(佛) 61,289,346
ルイ(洪)267,275,283,393
ルイ二世 43
ルイ十三世 121,124,137
ルイ十四世124,126,196,204,
207—209,224,226
—245,256,265,266,
278,280,284,286,
288—294,296,303,
306,314,318,319,
321,361,362,364,
371,44,448
ルイ十五世314,320,321,325,
341,343,352,359,
366,450
ルイ十六世374,409

ルイ十八世 425
ルイジヤナ Louisiana..... 314,364,
368,371
ルイ・ジョーリエ Louis Joliet..... 364
ルイゼ Louise..... 42
ルイ・ド・レケーセンス
Louis de Requesens 90
ルイブルグ Louisburg..... 369
ルーヴォア侯 Louvois... 225,227,228,
241,242
ルクサンブルグLuxemburg...237—239
ルクサンブルグMarshal Luxemburg...
241,242
ルクサンブルグ家..... 261
ルゴス Lugos..... 285
ルツェルン Luzern..... 51
ルッシヨン Roussillon..... 127
ルッソー Jean Jacques Rousseau
403,438,451
ルーテル Martin Luther ...1,8,9,
15—20,23—26,29,
32,40,50,51,53—
55,58,59,67,250,
440
ルーテル派 ...32,38,88,99,100,250,
260,261
ルドルフ二世 Rudolf...100—102,104,
423,424
ルフォー Lefort..... 301
ルフェーブル Jacqus Lefevre... 9,54,
58,59,446
ルブリン協約 Lublin..... 394
ルブリン聯合 268
ルーベンス Rubens..... 449
ルミヤンツェフ Rumyanzew.....387
ルンフ議會 Rump Parliament.....
163,164,174,176,
192,194
ルリック朝 Rurik..... 396

レ
レイノールツ Reynolds.....450
レヴァル Levar..... 304
レヴェラー Leveller...161,162,165,
184,191,439
レオ十世 Leo..... 15
レオナルド・ダ・ヴィンチ
Leonardo da Vinci.....
426
レオポルド Leopold... 229,238,239,
241,280,281,288,
291
レオポルド一世.....126,295,315,318
レオポルド二世.....390,391
レオポルド・フォン・ブッフ
Von Buch..... 430
レオンハルト・オイレル
Leonhard Euler... 427
レキシントン Lexington.....406
レケーセンス Requesens..... 91
レゲンスブルグRegensburg...114,116,
423
レゲンスブルグ會議(Convention of Regens-
burg).....31
レゲンスブルグ休戦條約.....239,240
レスキルデ條約Roeskilde..... 257
レスリー Leslie..... 157
列強聯盟(Alliance of the Powers).....241
レッシング Lessing..... 446
レナタ Renata..... 53
レパント Lepanto..... 87
レパント海戦12,84,85,91
レヒ河 Lech.....109
レンス Reims..... 126,226
レンチック Lenzyzk.....264
レムノス Lemnos.....279
レムベルヒ Lemberg..... 306

レムブランド Rembrandt..... 449
レルマ Lerma..... 143,145,213

ロ

ロイテン Louthen..... 348
露澳同盟 381
ロココ式 Rococo..... 450
ロストフ Rostow..... 270
ロースフルト Rashurt..... 428
ロスバハ Rosbach..... 348,353
ロタール Lothar..... 260
ロッキンガム Rockingham.....414
ロックレーヴェン
Lochleven.....97
ロード・アイランド
Rhode Island.. 222,413
ロード島 42,45
ロードネー Rodney..... 417
露土平和條約(Russo Turkish Piece Treaty) .
285
ロバート・クライヴ
Robert Clive... 366,367
ロバート・セシル
Cecil.....134,136,138
ロバート・ハーレイ
Robert Harley..... 295
ロバート・フィルマー
Filmer..... 439
ロバート・ブラウン
Brown.....130
ロバート・ブレイク
Brake..... 182
ロバート・ボイル
Boyle..... 427
ロビンソンクルーソー漂流記
Robinson Crusoe ...447
ロブコヴィツ Lobkowiz..... 332

モントーバン Montauban.....62
 モンフェラト Monferrat.....238
 モンマス公 Monmouth.....205
 モンモランシー Montmorency.....410
 モラヴィヤ Moravia.....280,349
 モリエール Moliere.....448
 モーリス(オレンジ公)
 Maurice.....92
 モーリス(サクソニヤ公).....36—39,60
 モーリス親王168
 モーリツ Moriz.....335
 モリスコ Morisko.....83,84,214
 モルダヴィヤ Moldavia.....327,375,
 376,388,390
 モルッカ諸島 Molucca.....216
 モレヤ Morea.....84,279,285,
 318,319
 モロッコ Morocco.....85

ヤ
 ヤゲロ Jagello.....3,266—268,
 392,393,398
 耶蘇會(Jesuit)76
 ヤッシー平和條約
 Jassy.....391,401
 ヤム Jam.....271
 ヤン・コーン Jan Coen.....217
 ヤン・スワンメルダム
 Swanmerdam.....428
 ヤロスラウ Yaroslaw.....270

ユ
 新教徒(ユグノー)
 Huguenots...55,62,240,
 242,306,432
 ユグノー戦争62,107,437
 ユージン Eugene....219,282,285,

293,294,322
 猶太人(Jew)394,397
 ユートピヤ Utopia.....447
 ユトレヒト Utrecht.....296
 ユトレヒト平和條約...296—298,312—
 314,319,320,358,
 364
 ユトレヒト聯盟(Union of Utrecht).....91
 ユーリヒ Julich.....262
 ユーリヒ公261

ヨ
 ヨアヒム Joachim.....261
 ヨアヒム二世261
 ヨーク York.....156,157
 ヨーク公200,202
 ヨークタウン Yorktown.....414,415
 ヨハン・スタウピッツ
 Johann Staupitz....16
 ヨハネス・アルツシウス
 Johannes Althusius....
 437
 ヨハネス・エック
 Eck.....18—20

ラ
 ライデン Leyden.....28,90,428
 ライプチヒ Leipzig.....18,109,110,
 114,348,353
 ライブニツ Leibnitz.....316,425,
 427,445
 ライヘンバッハ條約
 Reichenbach.....390
 ライボン休戦條約
 Ripon.....153
 ライン河 Rhine.....109,114,115,
 118,209,215,229,

231,235,236,239,
 242,243,245,263,
 284,285,287,293,
 297,314,315,326,
 333,339,348,349,
 353,354,377
 ライン地方110
 ライン聯盟126,229
 ラインスベルヒ城.....317
 ラインバハ Rainbach.....400
 ラヴァイヤック Ravallac.....121
 ラヴェンスベルヒ
 Ravensberg.....262
 ラウジッツ Lausitz.....112,118
 ラウダーデールLauderdale.....198
 ラウド Laud.....150—152,154
 159
 ラウドン Laudon....340,350,390
 ラ・オーグ La Hogue.....242
 ラクール Racoulle.....317
 ラゴス Lagos.....369
 ラコチー Rakoczy.....125
 ラ・サル La Salle.....364
 ラサレト派 Lazarist.....78
 ラシーヌ Racine.....448
 ラ・シャリテ La Charite.....62
 ラスタット Rastadt.....297
 ラスタット平和條約.....298,318,321
 ラッヂウィル Radziwill.....399
 ラッツェブルグ Ratzeburg.....118
 ラドム聯盟 Rodom.....399
 ラビアウ條約 Labiau.....264
 ラファエット Lafayette.....409
 ラフォンテーヌ Lafontaine.....448
 ラブラース Pierre Simon Laplace.
 425
 ラ・ブレード城 La Brède.....452
 ラミキー Ramillies.....294
 ランカシャヤー Lancashire.....432,433

ランケ Ranke.....379
 ランダウ Landau.....279
 ラムバート Lambert...178,193,194
 ララノ Lalano.....289
 ラリー・トレンダル
 Lally Tollendal....368
 ラ・ロシェル La Rochelle.....62,64,
 123

リ
 リヴランド Livland...247,251,253,
 254,256,257,264,
 268,271,304,307,
 308,311,337,392,
 396
 リヴォニヤ Livonia.....108
 リガ Riga.....254,304
 リーグニツ Liegnitz.....350
 リシュリユー Richelieu.....106,113,
 122—125,127,224,
 228,229,254,338,
 348,363,448
 リスウィク Ryswick.....243
 リスウィク平和條約...242,245,285,286,
 291,297
 リスボン Lisbon.....88
 リーゼンベルヒ山脈
 Riesenberg.....329
 リチャード・アークライト
 Richard Arkwright....
 432
 リチャード・オスワルド
 Oswald.....415
 リチャード・クロムウェル
 Cromwell.....191
 リチャード・チャンセラー
 Chancellor.....219
 リッチオ Riccio.....96
 リトワニヤ Lithuania...3,252,266,

- マドリッド平和條約……31,41
 マーナム Murnam……433
 マニラ Manila……369,371
 マヘー Mahe……368
 マホン Mahon……369
 マンスフェルド Mansfeld……16
 マンスフェルド伯……106
 マントヴァ Mantva……124,238
 マントヴァ公……123
 マンハイム Mannheim……144
 マーラッタ族 Mahratta……363,365,
 366,420
 マラッカ Malacca……217
 マラバル海岸 Malabar……217
 マリエンブルグ Marienburg……254
 マリー・アントワネット
 Marie Antoinette……288,
 374
 マリー・ド・メヂチ
 Mary de Medici……146
 マリヤ(英王) Maria……39,70—72,81,
 82,93,94,128,144
 マリヤ(英后)……205,207—209,232,
 244
 マリヤ(獨)……267
 マリヤ・アンナ Anne……288
 マリヤ・ギース Guise……71,72
 マリヤ・ジョセファ
 Josepha……346
 マリヤ・スチュワート
 Stuart……61,71,72,96—
 98,128,132,437
 マリヤ・テレサ Theresa……230,233,286,
 322—326,328—
 333,335,336,380,
 383,387
 マリヤ・テレシヤ
 Theresia……127
 マリヤナ Mariana……437
 マールボロー Marlborough……292—
 296,306
 マルガレット Margarete……16,42,58,
 63,88,90
 マルガレット・テレサ
 Theresa……288
 マルク Mark……262
 マルセイユ Marseille……47
 マルセロ・マルピギー
 Marcello Malpighi……
 428
 マルタ島 Malta……43,45,83,84,
 277,278
 マルチニック Martinique……226,364,
 369,371
 マルチン・フロベッシャー
 Martin Frobisher……220
 マルプラケ Malplaquet……294
 マルメー平和條約
 Malmoe……249
 マレー伯 Murray……97
 ミ
 ミジェル・ル・テリエー
 Michel Le Tellier……227
 ミシガン湖 Michigan……364
 ミシシッピー河 Mississippi……314,364,
 368,371,403,411
 南カロリナ South Carolina……413
 ミハイル Michail……298
 ミハイル・ロマノフ
 Romanov……274
 ミノルカ Minorca……296,358,369,
 371,410,417
 ミンデン Miden……118,263,350,
 354
 ミンデルハイム Mindelheim……378

- 民約論(Contrat Social)……451
 ミューニク Munich……386
 ミュンステル Muenster……28,29,116,
 117
 ミュンヘン Muenchen……109,331,
 333
 ミュールハウゼン
 Muehlhausen……28,51,
 52
 ミラノ Milan……3,40—42,49,
 58,213,238,286,287
 289,292,297,317,
 318,331,335
 ミラン公國……49
 ミル・シャフィール
 Mir Jaffier……367
 ミルトン John Milton……439,447
 ム
 ムアー人 Moor……79,211
 ムシスラウ Mscislaw……392,393
 ムスタファ・キュプリリ
 Mustafa Kuprili……284
 ムスタファバシャ
 Pasha……83
 無敵艦隊(Invincible Armada)……92,98,130,
 136,210,212,215,
 219
 ムライ・ハッサン Mulai Hassan……49
 ムリロ Murillo……449
 ヌ
 メイ・フラワー May Flower……222
 名譽革命(Glorious Revolution)……209,241
 メクレンブルグ Mecklenburg……112,
 118,310,382
 メクレンブルグ公……107
 メジナ・シドニヤ
 Medina Sidnia……98
 メヂチ Medici……61,326
 メヂナ・セリ Medina Celi……63
 メッシナ Meciina……235
 メッツ Metz……37,38,50,60,61,
 117,237
 免罪符(Indulgence)……15,16,50
 メンシコフ Menshikoff……307
 メメル Memel……254
 メラ Mela……241
 メランヒトシ Melanchton……32,54
 メリー Mary……49
 メリーランド Maryland……413
 モ
 モー Meaux……58
 莫臥兒……221,361,418—420
 モスコウ Moscow……3,270—274,
 299,301—303,308,
 311,313,386
 モセニゴ Mocenigo……277
 モナッド Monad……445
 モハチ Mohacs……43,267,275,
 283
 モハメッド・アリ Mohammed Ali……365
 モハメッド・キュプリリ
 Kuprili……278,280
 モハメッド四世……281,283
 モヒレフ Mohilev……380
 モンカーム Montcalm……369
 モンク Monk……168,177,184,
 194—196,198
 モンゴルフィエー
 Montgolfier……434
 モンテイグ Montaigne……43
 モンテククリ Montecuculi……235,280
 モンテスキュー Montesquieu……451,452

Vane.....174
 ヘンリー・カヴェンディッシュ
 Cavendish.....428
 ヘンリー・コート
 Cort.....433
 ヘンリー・スチュワート
 Stuart.....96
 ヘンリー・ベッセマー
 Bessemer.....433
 ヘンリー・ローレンス
 Laurens.....416
 ベヤーボン議會Barebone.....177
 ヘリエダレン Herjedalen.....248,256
 ベル・イール Belle Isle.....332,335
 ベルウィック協約
 Berwick.....153
 ベルグラード Belgrad...42,281—284,
 319,327,380,390
 ベルグラード平和條約.....327
 ヘルシングフォース
 Helsingfors.....309
 ヘルスフェルト Hersfeld.....118
 ヘルツェゴヴィナ
 Herzegovina...279,380
 ヘルツベルヒ Herzberg.....381,390
 ヘルデル Herder.....447
 ベルナル Bernard.....429
 ベルニ Berni.....354
 ベルヌキ Beruonille.....427
 ベルヒ Berg.....322
 ベルン Bern...50—52,55,262
 ベルムダ島 Bermuda.....223
 ベルンハルド Bernhard.....110,113,
 114
 伯林 Berlin.....348,426

ホ

ボアギユベール Boisguillebert.....450

ボアロー Boileau.....448
 ボーイン Boyne.....242
 ホイッグ黨 Whig.....202,206,292,
 295
 ホガート Hogarth.....450
 ホーキンス Hawkins.....98
 保障要塞(Barrier Fortresses).....292,297
 ボスウェル Bothwell.....96,97
 ボストン Boston...222,404—406
 ボストン港令.....405
 ボスニヤ Bosmia.....279,380
 ホスピタラー騎士團
 Knight Hospitallars...
 277
 ポーゼン Posen.....264,305,373
 ボーダ Boda.....441
 ポチヨムキン Potemkin.....389,390
 ボッスエー Bossuet.....440,448,450
 ポーツマス Portsmouth.....182
 北方七年戦役.....246,251
 ホドソン灣 Hudson.....220
 ホドソン灣地方(Hudson Bay Territory).....
 296,364
 ポトッキー Potocki.....399
 ポドリヤ Podolia...281,285,392,
 401
 ポニヤトウスキー
 Poniatowski.....401
 ホーヘンツォルレルン
 Hohenzollern.....261,
 262,379
 ホーヘンフリードベルヒ
 Hohenfriedberg...334
 ボヘミヤ Bohemia...5,102—107,
 109—112,114—
 116,119,139,266,
 267,329—333,347,
 392
 ボーマルシェー Beaumarchais.....409

ボン Bonn.....236
 ボンヂェシエリー
 Pondicherry...244,362,
 365,368
 磅税(Poundage).....134,148,154
 ポムパヅール Pompadour.....341
 ボムベイ Bombay...203,221,362
 ボメラニヤ Pommern.....107,108,
 238,240,259,265,
 266,352,393
 ホホキルヘ Hochkirch.....349
 ホリス Hollis.....155
 ボーリングブローク
 Bolingbroke.....295
 ホルスタイン公Holstein...106,304,305
 ホルスタイン・ゴトルプ
 Gottorp.....311,383
 ボルタワ Poltava.....308
 ボルドー Bordeaux.....452
 葡萄牙獨立.....87
 葡萄牙併合.....85
 ボルトン Bolton.....432,433
 ホールン伯 Hoorn.....90
 ホルン Horn.....110
 ホルムビー城 Holmby...157,158,160,
 161
 ボルンホルム Bornholm.....257
 ボレスラウ一世Boleslaw.....393
 ボロニヤ Bologna.....42,74
 ボロニヤ大學.....425
 ホワイト・ホール
 White Hall.....163

マ

マイゾール Mysore.....419—421
 マインツ Mainz.....115,382
 マイルス・カヴァーデール
 Miles Coverdale...446

マウリチウス島Mauritius.....218
 澳門.....216
 マキシミリヤン(バヴァリヤ公)
 Maximilian...101,102,
 104,105,107,111,
 115
 マキシミリヤン皇帝.....40
 マキシミリヤン一世.....15,20,21
 マキシミリヤン二世.....100
 マキシミリヤン・エマニュエル
 Emanuel.....291,292
 マキシミリヤン・ジョセフ
 Joseph.....333,334,378
 マクセン Maxen.....350
 マグデブルグ Magdeburg.....16,54,
 109,118,241,263,
 346,348,427
 マザレン Mazarin.....124—127,
 170,182,224,226,
 229,230,338
 マーストンムアー
 Marstonmoor.....157
 マゼラン海峡 Magellan.....216
 マダガスカル Madagascar.....226
 マタパン岬 Matapan.....85
 マチエヨウイチエ
 Maciejowice.....402
 マッサチューセット
 Massachusettes...222,
 405,406,413
 マツチン Matschin.....391
 マツチヤス(シュールンベルヒ伯)
 Matthias.....319
 マツチヤス(ツルン伯).....103
 マツチヤス帝.....102,103
 マテオ・リッチ Matteo Ricci.....77
 マドラス Madras.....221,362,
 365—368
 マドリッド Madrid.....41,144,291

ブルグンド公國.....49
 ブールジュ Bourges.....53
 プルート Pruth..... 308,318
 プルトスク Pultsk..... 305
 ブールボン Bourbon...60-62,64,
 228,296,302,313,
 321,332,338,342
 プレオブラシェンスキ聯隊
 Preobrashensky...300,
 384-386
 プレオブラシェンスコエ村
 Preobrashenskoe...299,
 300
 ブレキンゲン Blekingen.....257
 ブレーク Blake..... 168,170,173,
 176,177
 ブレスト Brest.....369
 プレストン Preston..... 162,432
 プレスビテリヤン
 Presbyterian..... 72,
 129-132,150,152,
 155,157-159,162,
 164,165,167,168,
 170,174,175,179,
 185,187,199,439
 プレスブルグ Pressburg.....43
 ブレスラウ Breslau.....348
 ブレスラウ平和條約...331,332,335,360
 ブレダ Breda.....197
 ブレダ條約 203
 ブレターニュ Brittany..... 369
 フレデリック(サクソニヤ公)
 Frederic..... 17,25,26
 フレデリック 瑞 309
 フレデリック(ファルツ伯).....105,
 138-139,141,143,
 145
 フレデリック(ホーヘン.....261
 フレデリック(ホルスタイン公)..... 304
 フレデリック一世.....315,316
 フレデリック二世大王..... 246,247,317,
 328,329,331,332,
 336,340,341,345-
 351,356,357,372,
 379-382,398,409,
 411,424,434,446
 フレデリック三世.....241,249,259,291
 フレデリック四世.....303,304
 フレデリック五世.....101-104
 フレデリック・アウグスト
 August.....285,305,306,
 308,379
 フレデリック・アウグスト二世.....
 302-304,324
 フレデリック・アウグスト三世.....324
 フレデリック・ウィリヤム大選舉公
 William...114,116,236,
 238,263,269,301,
 315
 フレデリック・ウィリヤム一世.....
 316-318,322
 フレデリック・ウィリヤム二世...391,401
 フレデリックスハルド
 Frederikshald..... 309
 プレムセブロー平和條約
 Broemsebro...114,248,
 256
 ブレンハイム Blenheim..... 293
 ブレーメン Bremen... 106,112,117,
 256,309,310
 プロヴァンス Provence..... 65
 プロヴィデンス殖民地
 Providence Plantations
 413
 普魯西族262
 普魯西王國 260
 プロテスタント Protestant.....32

430
 ベトル Petre.....206
 ペドロ Pedro..... 291
 ベナトキー Benatky.....424
 ペーネ河 Peene..... 310
 ベフスレン Behuslaen..... 257
 ベネデクト・アーノルド
 Benedict Arnold...413
 ベノア・デュマ Benoit Dumas.....365
 ベハール Behar.....419
 ヘヒンゲン Hechingen.....261
 ベンゴール Bengal..... 362,367,
 418-420
 ヘンシウス 292
 ベンジャミン・フランクリン
 Benjamin Franklin ...
 416,427
 ベン・ジョンソン Ben Jonson..... 447
 ペンシルヴァニヤ
 Pennsylvania.....182,
 223,413
 ベンデル Bender.....309,390
 ヘンリー(アンジュー公)
 Henry.....268,395
 ヘンリー(ギース公)..... 64
 ヘンリー(ナヴァル王).....63,64
 ヘンリー(普) 350
 ヘンリー大僧正.....86
 ヘンリー一世 260
 ヘンリー二世37,50,60,61,82,121
 ヘンリー三世 64,65,82,438
 ヘンリー四世64-66,92,106,
 120-122,125,127,
 135-138,336,338,
 363,448
 ヘンリー七世 67,70,96,128
 ヘンリー八世41,47,49,67-69,71,
 129,446,447,449
 ヘンリー・ヴェーン
 Boulogne..... 49
 フロンドの亂 Fronde.....125,126
 フロリダ Florida...371,406,410,
 411,418
 フロレンス Florence..... 61,424
 米蘭通商和親條約.....413
 ベーコン Francis Bacon.....141,
 444,447
 ベスツシェフ Bestushew..... 340
 ベスツシェフ・リュージン
 Rjumin336
 ヘックステット Hoechstet.....293,294
 ベッサンゾン・ユージュ
 Bessanzon Hugues...55
 ベッサラビヤ Bessarabia.....375
 ヘッセ Hesse..... 382
 ヘッセン Hessen..... 57,115,118,
 138,331,347,349,
 359
 ヘッセン公26,27
 ヘッセン・カッセル
 Cassel.....241,309
 ベツレン・ガボル
 Bethlen Gabor..... 104
 ペテルワールダイン
 Peterwardein.....319
 ペテルスブルグ Petersburg.....307,311,
 426,427,430
 ヘドヴィヒ Hedvig.....393
 ペートル Peter.....336
 ペートル大帝272,275,285,298-
 314,318,382-384,
 386,387,391
 ペートル三世 360,383-387
 ペートル・シモン・パラス
 Petor Simon Pallas....

213,286,288
 フィリップ四世127,137,145,233
 フィリップ五世288,290-292,
 294-296,320,329,
 313,319
 フィリップ・ヴィリエール
 Philippe Villieres de
 Islo Adam..... 43
 フィリップスブルグ
 Philippsburg... 118,245
 フィリップ・メランヒトン
 Melanchton.....19
 フェオドル Feodor.....273,299
 フェネロン Fenelon.....448,450
 フェララ Ferrara..... 53,121
 フェールベリン Fehrbellin.....265
 フェルデナンド(西)
 Ferdinand..... 67,78
 フェルデナンド(獨)..... 267
 フェルデナンド(フランスウィック公)
348-351
 フェルデナンド一世.....33,37-39,
 43-45,47,100
 フェルデナンド二世.....102-104,111,
 112,114
 フェルデナンド三世... 114,126,212,229
 フェルデナンド大公.....31
 フォン・ヴェルト Von Werth..... 115
 フォン・カルブ Kalb..... 409
 フォン・ストイベン
 Steuben.....409
 フォンテンブロー
 Fontainbleau.....
 フォントノア Fontenoy.....335
 ブカナン Buchanan..... 437
 ブグ河 Bug... 328,388,391,393
 復合 244
 復合委員会(Chambre de Reunion)..... 237,

265,362
 フーケー Fouquet..... 225,350
 フゴ・グロチウスGrotius..... 441
 富國論(Wealth of Nations)..... 443
 ブサンソン Bessancon..... 237
 フス Johann Hus...5,18,19
 ブダ Buda..... 43,283
 佛境聯盟372
 佛國學士院 123,448
 佛國革命401,428
 フッシュユ平和條約..... 308
 佛西同盟條約410
 佛米同盟條約410,416
 プッフエンドルフ
 Puffendorf...440,350,351
 ベテルスブルグPetersburg392
 フベルツスブルグ平和條約
 Hubertusburg...360,371
 文藝復興(Renaissance)..... 7,9,421,422
 ブンツェルウィツ
 Bunzelwitz..... 351
 フュッセン Fussen..... 333
 ブライザハ Breisach...118,237,245
 ブライテンフェルト
 Breitenfeld..... 109
 プライド Pride..... 163
 フライブルグ Freiburg... 237,245,297
 フラウエンブルグ
 Frauenburg423
 ブラウニスト Brownists.....130
 ブラガンザ家 Braganza..... 87
 プラーグ Prag.....103,104,330
 332,333,347,423,
 424
 プラーグ平和條約.....112,113
 プラグマチック・サンクション
 Pragmatic Sanction...
 322,324-328,332,
 333,336

ブラジル Brazil..... 216,218
 ブラッシー Plassy..... 367,418,419
 ブラッドショー Bradshaw197
 ブラニッキー Branicky.....399
 フランクー世 Frank.....377
 フランクフルトFrankfurt...71,333,350
 フランクリン Franklin...409,415,417
 スランコニヤ Franconia..... 27,110,
 240
 ブランスウィック
 Brunswick.... 347,354,
 359,382
 ブランスウィック公.....105,353
 ブランスウィック・ベヴェルン
 Bevern..... 317
 フランシス(ギース公)
 Francis..... 61,62
 フランシス(佛)49
 フランシス一世..... 12,30,34,40,42,46,
 47,58,59,121,277,
 334,336
 フランシス二世.....61,72,96
 フランシス・オットマン
 François Hotman...436
 フランシスコ・ザヴィエー
 Francisco Xavier76,77
 フランシス・ジョセフ
 Francis Joseph.....333,
 334
 フランシス・ステファン
 Stephan..... 325,326
 フランシス・ドレーク
 Drake.....219
 フランシュ・コンテ
 Franche Comte... 231,
 234,235,237
 フランセスコ・モロシニ
 Francesco Morosini ...

279
 フランツア・ヴィエート
 Francois Viète.....426
 フランツ・シッキンゲン
 Franz Sickingen...26,27
 フランツ・ラコチー
 Rakoczy.....281
 ブランデンブルグ
 Brandenburg...111,112
 114,115,118,138,
 207,232,236,240,
 241,256-259,261,
 263,264,266,269,
 303,315,316,334,
 373,440
 ブランデンブルグ選挙公...26,109,121,
 136,137,238,260-
 262,265,302,345
 ブランデンブルグ邊境伯..... 260
 ブランデンブルグ・クルムバハ
 Kulmbach..... 38
 フランドル Frandre..... 213,430
 フランドル派449
 プリグニツ Priegnitz.....260
 ブリストル Bristol..... 158
 フリートウッド Fleetwood.....166,193
 フリードランド公
 Friedland.....106
 プリビスラウ Pribislaw..... 260
 ブリンドハイムBlindheim..... 293
 ブリュッセル Brussels... 195,204,294
 429
 ブリル Brille..... 90
 フリューリー Fruli.....325,329
 ブリュール Bruehl.....337
 ブルグンド Burgundy... 40-42,57,
 449
 ブルグンド公 23,88,242

ハバナ Habana.....369,371
 法皇令19,20
 法の精神(L'E'spirit des Lois)452
 ハベヤス・コープス・アクト
 Habeas Corps Act
 201,205
 バン Ban.....319
 バンカース・ヒル
 Bunkers Hill.....406
 ハングユット Hangoudd.....309
 ハンザ Hansa.....106,112,246
 ハンザ同盟214,215,246
 反宗教改革(Gegenreformation).....10,73
 ハンス Hans.....428
 ハンス・ザックス Hans Sachs.....24,446
 ハンス・ホルバイン
 Holbein.....449
 ハンス・ルーテル
 Luther.....16
 バンダ諸島 Banda.....217
 バンダム公 Bandam.....217
 ハンチントン Hantington.....157
 パンテオン Panteon.....451
 ハムデン Hamden.....155
 ハンノーヴァー Hannover.....241,291,
 309,310,312,330,
 331,334,339,341—
 349,351—354,
 359,382,425
 ハンプトン・コート
 Hampton Court...160,
 162
 バンベルヒ Bamberg.....110,
 パラグワイ Paraguay.....77
 ハランド Halland.....246,257
 巴里 Paris...64,65,76,409,
 416,417,426,430,
 452
 巴里高等法院59,

124,125
 巴里大學58,425
 巴里天文臺425
 巴里平和條約360,368,371,418
 巴里兵學校425
 ハリソン Harrison.....176
 ハリル・パシャ Khalil Pasha.....319
 パーリヤメント Parliament.....195
 バール神聖聯盟400
 バルカン Parkan.....282
 バルカン山脈 Balkan.....387
 バルカン半島 ...279,300,313,314,374,
 377,380,390,392
 バルセロナ和約 Barcelona.....42
 バルチック海 Baltic.....11,106,108,
 246—249,251—
 253,255—258,263,
 266,268,269,275,
 312,313,329,339,
 345,377,382,387,
 391
 ハルベルスタット
 Halberstadt....118,263
 バルマ Parma.....65,91,92,98,
 322,323,326,336,
 341,346
 バーレー卿 Burghley.....94
 バーレーモン Barlaymont.....90
 ハーレム Harlem.....28
 ハレ大學 Halle.....316
 パレルモ Palermo.....236
 バロック式 Barrack.....450
 ハワード Howard.....98

ヒ

ビウス四世 Pius.....74
 ビエテル・ボト Pieter Both.....217
 ビエモンテ Piedmont.....124

ヒエル群島 Hyeres.....333
 ビエル・フェルマ Pierre Fermat.....426
 ヒエロニモ・カルダノ
 Hieronymo Cardano
 426
 ビカルデー Picardie.....53
 非國教徒(Non Conformists).....201
 ビサ Pisa.....424
 ビサ大學424
 非常審判會議90
 非常處分(Coup d'etat).....397,401
 ヒスパニオラ Hispaniola.....183
 ビッツブルグ Pittsburg.....369
 ビット William Pitt.....355,
 357,358,360,370,
 371,373
 ビネロロ Pignerol.....124,242
 ビム Pim.....155
 ビュッフォン Buffon.....430
 ビュート Bute.....370
 ビヤスト Piast.....392
 ビヤツェンツァ Piacenza.....326,336,
 341,346
 ビヤリ・パシャ Piali Pasha.....83
 ビラウ Pillau.....254
 ビルケンフェルト
 Birkenfeld.....245
 ビルテン Pilten.....246
 ビルナ Pirna.....347
 ビレネース山脈 Pyrenees.....127
 ビレネース平和條約127,230,233
 ビロン伯 Biron.....325

フ

ファンデーメンズランド
 Vandiemensland...217

ファン・トロンブ Van Tromp.....173
 ファルツ Pfalz...57,105,118,119,
 138,140,144—147,
 233,240,241,291,
 339
 ファルツ伯27,100—104,938,
 139,141—145,245,
 261,324
 ファルツ戦役245,284,285
 ファルツ・ツヴァイブリュッケン
 Zweibruecken..379,381
 ファルツ・ノイブルグ伯
 Neuburg.....137
 ファルツ派遣軍139,140
 フェレル Farel.....55,56
 フィウメ Fiume.....321
 フイゲンス Huygens.....428
 フィニステル Finisterre.....335
 フィンク Finck.....350
 フィンケンスタイン
 Finkenstein....346,381
 フィンランド Finland...108,308,309,
 311,391
 フィラデルフィヤ
 Philadelphia.....405,
 406,418
 フィラレト Filaret.....274
 フィリッピン群島
 Philippin.....369
 フィリップ(オルレアン公)
 Philip.....239,314
 フィリップ(ヘッセン伯).....31—34
 フィリップ二世10,12,36,37,39,50,
 62,64—66,70,78—
 90,92,93,95,98,
 101,119,120,135,
 145,210—213
 フィリップ三世92,102,104,137,143

283
 ニーメン河 Niemen.....262,393
 ニュー・アムステルダム
 New Amsterdam.....
 203,215,218,222
 ニュー・イングランド
 New England..... 222,
 223,406
 ニュー・キャッスル公
 Newcastle.....355
 ニュー・ジャーシー
 New Jersey.....223,413
 ニュー・ジーランド
 New Zealand..... 217
 ニュートン Isaac Newton.....
 424-426,445
 ニュー・ハンブシャー
 New Hampshire...413
 ニューファンドランド
 Newfoundland..... 223,
 296,364,368,410,
 411
 ニューベリー Newbery.....158
 ニュー・ヨーク New York..... 203,215,
 218,404-406,413
 ニュルンベルヒ Nuernberg.....261,426,
 431,446,449
 ニュルンベルヒ城伯
 Nuernberg Burgraf....
 261
 ニュルンベルヒ平和條約.....33,34,44

ネ

ネヴァ Neva.....304
 ネヴェール公 Nevres.....124
 ネースビー Naseby.....158
 ネットユ Nesh.....400
 ネーデルランド Netherland... 23,38,48,

49,57,58,66,81,82,
 85,87-99,102-
 104,116,119,139,
 184,204,211,231-
 235,237-239,241,
 242,244,284,286-
 295,297,314,318,
 321,334,335,338,
 339,341,345,353,
 377,381,390,430,
 432,449
 ネーデルランド合衆國(The Republic of
 the United Provinces
 of Netherland).....93

ノ

ノアイユ Noailles.....331
 ノイシャテル Neuchâtel.....297
 ノイスタット Neustadt.....375
 ノイブルグ Neuburg.....261
 ノイホイゼル Neuhausel.....280,282
 ノヴァスコチヤ
 Nova Scotia... 296,364
 ノヴィ・バザル Novi Bazar.....327
 ノヴゴロド Novgorod.....270,272,
 273
 ノガイ汗國 Nogay.....271
 ノーサムバーランド
 Northumberland...69,
 70
 ノース Norse.....414,415
 ノックス Knox.....72,437
 ノッチンガム Nottingam.....155,433
 ノルド・マルク Nord Mark.....112
 ノルドリンゲン Nordlingen.....112,113
 ノワヨン Noyon.....53

ハ

ハイルブロン Heilbronn.....110,112
 ハイダル・アリ Heidar Ali.....419,417
 ハイデラバート Hyderabad.....365
 ハイデルベルヒ Heidelberg.....144
 ハイデルベルヒ城.....241
 ハイデルベルヒ大學.....445
 バイル Bayle.....450
 バイロイト Baireuth.....38,379
 ハーヴァート大學
 Harvard.....223
 バヴァリヤ Bavaria... 105,112,114,
 115,117,118,232,
 233,240,260,265,
 293,297,323,328,
 329,330-333,377,
 379,380,381
 バヴァリヤ公 31,110,115,145,245
 バヴァリヤ繼承戰役.....378
 バヴィヤ Pavia.....41
 ハヴェルベルヒ Havelberg.....260
 暴君に反抗する理由(Vindiciae Contra
 Tyrannos).....436
 防護官(Defensor).....102
 パウル三世 Paul.... 34,46,47,74,76
 パウル四世75
 パウル五世121
 ハーグ The Hague.... 243,292
 ハーグ平和條約.....320,321
 バク Baku.....311
 白山(Weisser Berg).....104
 パクタ・コンヴェンタ
 Pacta Conventa....394
 バークレー Berkeley.....429
 白露西亞(White Russia).....400
 バーゴイン409
 ハースト Hurst.....163

パスカル Pascal.....426,448
 バーゼル Basel..... 50,51,53,54,
 427
 バタヴィヤ Batavia.....217
 バッキンガム公 Buckingham
 144-147,149,150,
 198
 パッサウ Passau.....38
 パッサウ條約107,118
 パッサロ岬 Passaro.....220
 パッサロウィッチ條約
 Passarowitch... 319,320
 ハッヂック Haddik.....348
 バットラー Butler.....112
 ハップスブルグ Hapsburg.....1,12,23,
 35,40,43-45,47-
 49,59,60,88,100,
 102,106,108,109,
 111,116,119,120-
 125,127,135,137,
 211,229,230,254,
 266,267,277,279,
 281,282,284,286,
 287,292,293,295,
 296,302,314,324,
 329,334,
 337-339
 ハップスブルグ・ロレーヌ朝
 Lorraine.....334
 バーデン Baden...119,138,297,
 382
 バーデン平和條約.....298
 バドヴァ大學 Padua.....424
 パトリック・ヘンリー
 Patrick Henry.....406
 パトリヤ Patria.....439
 バナート Banat.....319
 バネール Baner.....113
 ハーバート Herbert.....208

デットフォード Deptford.....301
 テネドス Tenedos.....278
 テームス河 Thames.....203
 天體表424
 テメスヴァル Temesvar..318,319,285
 デラウェア Delaware.....413
 デリー Delhi.....367
 デルフト Delft.....26
 デルフト聯合(Union of Delft).....91
 デルベント Derbent.....311

ト

 獨逸騎士團11,26,266,271
 獨逸帝國政廳21,22
 獨逸農民一揆27-30
 統一令(Act of Uniformity).....70,93,197
 東印度會社(East India Company).....151,
 180,220,221,217,
 321,323,362,366,
 405,418-421
 ドーヴァー Dover.....173
 ドーヴァー卿206
 ドーヴァー密約204,205,230,234
 ドヴィナ河 Dovina.....219
 統監(Lord Protector).....178
 統監政治173
 投石者125
 統治令(Regulation).....420
 頭目(Ataman).....273
 ドクトル・カールスタット
 Dr. Karlstadt.....18
 ド・グラス de Grasse.....417
 獨立派(Independent).....93,130
 トスカナ Tuscany.....322,323
 326,334
 ドッカー・バンク Dogger Bank.....416
 トッゲンブルグ Toggenburg.....50

ドナウ河 Danube.....319,376,378
 380,389
 ドニエステル河 Dniester.....390-400
 ドニエプル河 Dniepr.....268,328,388,
 391,393
 ドネーデン Denain.....297
 トバゴ島 Tobago.....218,371,418
 トボルスク Tobolsk.....272
 トーマス・ワーナー
 Thomas Warner.....223
 トーマス・ウィッテンバハ
 Wittenbach.....50
 トーマス・ウェントウォース
 Wentworth.....150
 トーマス・カヴェンディッシュ
 Cavendish.....219
 トーマス・クラムマー
 Crammer.....67
 トーマス・クロムウェル
 Cromwell.....67
 トーマス・ジェファソン
 Jefferson.....416
 トーマス・デ・ヴィオ
 de Vio.....18
 トーマス・ホブズ
 Hobbes.....440,441,444
 トーマス・モア
 More.....447
 トーマス・ミュンツェル
 Muenzer.....27
 ドミトリ・イワノヴィチ
 Dmitri Ivanowitch.....
 270
 ドミニカン派 Dominican...15,18,64,
 74,79
 ドミンゴ諸島 Domingo.....371
 トンガ Tonga.....217
 ドン河 Don.....300,307,388
 ドン・カルロス Don Carlos...322,323,

326
 ドン・キホーテ Don Quixote,.....449
 ドン・ジュアン Don Juan d'Autriche..
 84,87,91
 ドンスコイ Donskoy.....270
 ドムスタット Domstadt.....349
 船税(Tonnage)134,148,154
 ドン・フィリップ Don Philip...336,341,
 345
 ドメニコ・カッシニ
 Domenico Cassini..425
 トラヴェンダール平和條約
 Travendahl.....305
 トラシルヴァニア
 Transylvania...43,114,
 125,278,280-285,
 318,395
 トーリー黨 Torry..202,205,206,295
 トリエスト Triest.....321
 トリエント宗教會議
 Trient..11,34,35,73-75
 トリエル Trier.....234
 トリチノポリ城 Trichinopoli.....366
 トリツェリ Toricelli.....426
 トリノ平和條約 Turin.....242,294
 トリポリス Tripolis.....83
 ド・リヨンヌ De Lyonne.....225
 ドルイテル De Ruyter...173,203,
 234-236
 トルガウ Torgau.....31,351
 ドルゴルキー Dolgoruky.....387
 トルステンソン Torstenson...113-116
 ドルバット Dorpat.....307
 ドルバット大學255
 トルベイ Torbay.....208
 トルン Thorn...390,400,401,
 423
 トルン條約262
 ドレーク Drake.....95,98

ドレスデン Dresden...335,347,349,
 350
 ドレスデン平和條約.....335-337,360
 ドロゲダ Drogheda.....166
 ドロンタイム Drontheim.....257
 トロンプ Tromp.....179

ナ
 内閣(Cabinet)198
 ナヴァル Navarre.....60,61
 ナクソス公國 Naxos.....83
 ナタリヤ Nataria.....299
 ナボブ Nabob.....365
 ナポリ Naples.....40-42,45,
 49,58,286,287,289,
 291,297,314,318,
 326
 ナポレオン Napoleon...1,371,425
 ナムール Namur.....241
 ナルヴァ Narva.....60,62,251,
 304-307
 ナントの勅令(Edict of Nantes).....66,
 92,120,122,123,242

ニ
 ニコラス・フォン・ザルム
 Nikolaus von Salm..44
 ニザム國 Nizam.....365,366,420
 西ポメラニヤ West Pommern...311,
 317
 ニース Nice.....47
 ニース休戰條約.....47-49
 ニスタット平和條約
 Nystadt.....311,312
 ニッシュ Nish.....283,284,226
 ニムウェーゲン Nimwegen.....237
 ニムウェーゲン平和條約...237,244,265,

ダマット・アリ・パシャ
Damad Ali Pasha...318
ダーンレー伯 Darnley.....96
短期議會 (Short Parliament).....153,157
ダンケルク Dunkerque...125,126,
182,183,189,204,23
0,297,358
ダンチヒ Danzig...257,325,390,
400,401
ダンチヒ平原 Danziger Werden...254
タンネンベルヒ Tannenberg...262,266
ダンバー Dunber.....167
タルゴヴィッツ 聯盟
Targowitz.....401
ダルダネルス海峡
Dardanelles...277,278
ダルマチヤ Dalmatia.....279,319
ダルムスタット Darmstadt.....115
ダレムベール Dalembert.....451

チ

チェスメ灣 Tschesme.....388
チエップ Dieppe.....241
チェルバ島 Dscherba.....83
チーグラール Ziegler.....16
チッポー・サヒブ Tippu Sahib.....420
チデロ Diderot.....451
地頭職 (Landvogtel).....118
地動説423,424
チハン Jihan.....362
欽察汗國270,271
チホ・ブラヘ Tycho Brahe...423,424
チンスラ Tschinsura.....367
長期議會 (Long Parliament).....154,157,
174,194
チャタム卿 Chatam.....373
チャンピオン Champion.....180

チャールス(ゼーデルマンランド公)
Charles.....252
チャールス(ネヴェール公).....123
チャールス(ファルツ).....239,256
チャールス(ファルツ・ツヴァイブリュ
ッケン)379,381
チャールス(佛)61
チャールス(ヘッセン・カッセル).....241
チャールス(モンフラット).....238
チャールス(ロレーヌ).....282,332,348
チャールス一世12,20,130,142—
144,148—165,169,
170,176,191,194,
195,197,199,211,
220,267,439,449
チャールス二世166—171,183,184,
195—205,207,221,
230,231,233,234,
253,283,286—291
チャールス三世359
チャールス四世261
チャールス五世20—24,30,33,39,
40—50,59,60,67,
74,78,83,84,88,89,
119,211—213,276,
296
チャールス六世318,320—325,327,
328
チャールス七世330,333
チャールス九世61—64,82,138,253
268,395
チャールス十世65,256,257,259,264,
265
チャールス十一世257,258,303,304
チャールス十二世245,294,304—310,
320,324,398
チャールス・アルバート
Albert.....328,330
チャールス・ウィリヤム・シェーレ

William Scheele...428
チャールス・エドワード
Edward.....335
チャールス・エマニュエル
Emmanuel.....65
チャールス・ジェームス・フォックス
James Fox.....414
チャールス・スチュワート
Stuart.....163
チャールス大公288—290,295,296
チャールス・テオドル
Theodore.....378,381
チャールス・リンネ
Linne.....428
チャールス・レオポルド
Leopold.....310
デュケーヌ Duquesne...235,236,368
デュケーヌ城369
チュードル Tudor.....67,128,130,
198
デュナ Duena.....304,393,400
チュニス Tunis...34,45,46,48,85,
182
チュービンゲン大學
Tuebingen.....423
デュプレックス Duplex.....365,366,368
チュンダ・サヒブ Tschunda Sahib...365,
366
チュランヌ Turenne.....115,126,
234,236,258
チューリヒ Zurich...50—53,57,428
チュリンギヤ Thuringia...16,27,109
430
チリー Tilly.....104—107,109,
254
チルコンネル卿 Tyrconnel.....206
チロール Tyrol.....37
チロール人330

ツ

ツァポリヤ Zapolya.....43,44,47
ツァーンダム Zaandam.....301
ツァルトリスキー
Czartoryski.....398,399
ツヴァイブリュケン
Zweibruecken.....237,
238 245,256,382
ツウィングリ Ulrich Zwingli...9,32,
50—55,57
ツェルネボー Czerneboh.....349
ツォルンドルフ Zorndorf.....349
ツォルレルン山 Zollern.....261
ツグ Zug.....51
ゾーボン Deuxpont.....238
ゾーヌ Dune.....183
ヅラヴノ平和條約
Zrawno.....281
ツール Toul.....37,50,60,117
ツールヴィユ Tourville.....241
ツールネイ Tournay.....237
ツルン伯 Turn.....103
ツーロン Toulon.....333,369
ツェル Twer.....270

テ

デヴォンシャー Devonshire.....193
テオドル・ベツァ Theodor Beza.....57
デカン Deccan.....365,420
デカルト Descartes.....426,444
鐵騎 (Ironsides)157,158,190
デッサウ Dessau.....31
テッシェン平和條約
Teschen.....379,380
デッチンゲン Dettingen.....331
テッツェル Tetzell.....15

ストックホルム Stockholm..... 247,252
 ストンゲブロー Stångebro..... 352
 ストラスブルグ Strassburg..... 51,53,54,
 56,118,238,239,
 245,294
 ストラップフォード・オン・エヴォン
 Stratford on Avon..... 447
 ストラットフォード伯..... 151—154
 ストラルズンド Stralsund..... 106,108,
 254,304,309
 ストルボヴァ平和條約
 Stolbowa..... 253
 ストレーレン Strehlen..... 351
 ストレルチ Streltsi..... 299,302,303
 ストロガノフ Stroganov..... 272,273
 ストロード Strode..... 155
 スバイエル Speier..... 31,32,48
 スバーダル Subahdar..... 367
 スービーズ Soubise..... 348,349
 スピナ・ルルガ Spina-Lurga..... 278
 スピノサ Spinoza..... 445
 スフォルツァ Sforza..... 46
 西班分割秘密條約..... 289
 ズンド海峡 Sund..... 180,215,
 246—248,311
 ズンドガウ Sundgau..... 118
 スモレンスク Smolensk..... 273
 スラヴ Slav..... 260,262,292
 スラヴォニヤ Slavonia..... 283
 スラヂャ・ダウラー
 Surajah Daulah..... 367
 スラット Surat..... 221,362
 スリナム Surinam..... 218
 スレーマン二世 Sultan Suleiman.....
 42—44,81,84,275
 —377,283
 スレーマン三世..... 283
 スワレズ Swarez..... 441

セ

西印度會社(West India Company)..... 218
 西印度諸島(West India IIs.)... 364,369,371
 清教徒(Puritan)..... 93,129,131,132,150,
 152,155—157,159,
 174,185,197,199,
 222
 星雲説(Nebular Hypothesis)..... 425
 聖餐式(Ceremony of Holy Communion)..... 54,
 57
 星室廳..... 151,154,199
 成文憲法..... 160
 セイロン Ceylon..... 218,362
 セヴィヤ Seville..... 322,449
 小議會(Little Parliament)..... 168,177
 小露西亞(Little Russia)..... 307,308,392
 小ワラキラ Wallachia..... 319
 セザル・シャル César Charles..... 434
 セツセン Szecsen..... 282
 ゼーデルマンランド公
 Soedermanland..... 252
 セネガムビヤ Senegambia..... 369,371
 セネガル島 Senegal..... 358
 セバスチヤン Sebastian..... 85
 セバストポール Sebastopol..... 388
 セミオノフスコエ村
 Semyonowskoe..... 300
 セミニョウスキー聯隊..... 300
 船税(Ship Money)..... 151,152
 ゼンタ Zenta..... 285
 セント・ヴィンセント
 St. Vincent..... 369,371
 聖クリストファー島
 St. Christopher..... 223
 聖ジョン騎士團 (St. John Knight Hospitall-
 ers)..... 42,45,
 83,277,279,295

聖バルトロメオ虐殺
 Bartholomew..... 63,64,
 76,82
 聖ペテロ寺 St. Peter..... 15,73
 セント・ヘレナ St. Helena..... 218
 聖ユースタチウス
 St. Eustatius..... 218,412,
 413,417
 聖ルイ城 St. Louis..... 364
 セント・ルシヤ St. Lucia..... 369,371
 セント・ローレンス河
 St. Lawrence..... 358,364
 セムノネス族 Semnones..... 260
 專賣權(Monopoly)..... 134,141
 前ボメラニヤ Vor-Pommern..... 117,
 134,256,263,303,
 345,347
 ゼーランド Seeland..... 91,305,310
 ゼラール・メルカトール
 Gerard Mercator..... 430
 セリゴ島 Cerigo..... 85
 セルヴァンテーズ
 Cervantes..... 448
 セルビヤ Serbia..... 283,284,319,
 327,380
 ソ
 ソフィヤ Sophia..... 270,299,300,
 303,336,383
 ソフィヤ・ドロテヤ
 Dorotpea..... 317
 ソマーセット Somerset..... 69
 ソーラ Sohra..... 16
 ソール Soor..... 335
 ソルボンヌ大學 Sorbonne..... 10,59,74,
 123

タ

第一回司教戦争..... 153
 第一シレシヤ戦役
 Silesia..... 329
 第一回トリエント會議
 Torient..... 74
 第二回司教戦争..... 153
 第二シレシヤ戦役..... 333,345
 第二回トリエント宗教會議..... 74
 第三回トリエント宗教會議..... 73
 大憲章(Magna Charta)..... 149,209
 タイス河 Theiss..... 285
 大選舉公(Great Elector)..... 114,116
 大貌利顛(Great Britain)..... 128,295
 大陸會議(Continental Congress)..... 406
 第二回大陸會議..... 406
 ダヴィット・ビートン
 David Beaton..... 71
 ダヴィット・ヒューム
 Hume..... 445
 ダヴィット・レスリー
 Davit Leslie..... 167
 ダウン Daun..... 347,349,351
 タウリダ Taurida..... 388
 タガンログ Taganrog..... 308
 ダゲー Dagaе..... 311
 タス河 Tas..... 272
 タスマニヤ Tasmania..... 217
 多島海(Aegean Sea)..... 375,376
 タデウス・コシウスコ
 Tadeusz Kosciusko.....
 402
 ダートマス伯 Dartmouth..... 209
 ダニエル・デッフォー
 Daniel Defoe..... 447
 ダービシャー
 Derbyshire..... 433

- ジュトランド Jutland..... 106,114,
 248,256,265
 ジュネーヴ Geneve.....53-57,71,
 72,129,451,452
 シュマルカルド戦争
 Schmalkaldic War.....
 30,33-36,50,74
 シュマルカルド聯盟.....30,32,33
 シュムラ Shumla.....387
 シュラフタ Sulachta.....394
 ジュリウス二世 Julius.....67
 ジューリヒ Juelich.....137,138
 ジュリヤ暦 Julius.....76,303
 シューレンベルヒ伯
 Schulemberg.....319
 シュレスウィヒ Schleswig.....304,311
 シュワイドニツ Schweidnitz.....351
 シュワビヤ Swabia.....27,261
 シュワルツ・ワルド
 Schwarz-Wald.....27
 ショアジュール Choiseul.....354-356,
 358,369,373,374
 ジョアン三世 Johannes.....85
 ジョアンナ Jonne.....60
 ショイフチェル Scheuchzer.....430
 諸公聯盟(Fuerstenbund).....381
 ジョージ George.....31
 ジョージ一世317
 ジョージ二世317,329,331,332,
 335,343
 ジョージ三世241,351,370,403,441
 ジョージ・ウィスハルト
 Wishart.....71
 ジョージ・ウィリヤム
 William.....109,114,262
 ジョージ城 Fot. St. George.....362
 ジョージ・ブカナン
 Buchanan.....437
 ジョージ・モンク Monk.....193
 ジョージヤ Georgia.....406,413
 ジョージ・ラコチ Rakoczy.....114,115,278
 ジョシヤ・チャイルド
 Josia Child.....361
 ショセス・プリーストレー
 Priestley.....428
 ジョセフ Joseph.....283
 ジョセフ一世295,318,324
 ジョセフ二世374,377,380,390,400
 ジョセフ・アヂソン
 Addison.....447
 ジョセフ・クレメンス
 Clemens.....291,292
 ジョセフ・ド・ラランド
 Lalande.....425
 ジョセフ・フェルジナンド
 Ferdinand.....288,289
 ジョナサン・スウィフト
 Jonathan Swift.....447
 ジョン(サクソニヤ)
 John.....31,33
 ジョン(瑞)395
 ジョン三世251,252
 ジョン四世203
 ジョン・アダムス Adams 604,406,413,416
 ジョン・ウィリヤム・ヘルシェル
 William Herschel.....425
 ジョン・カシミール
 Kasimir.....397
 ジョン・カミニイ Kaminyi.....280
 ジョン・ジェー Jay.....406,416,417
 ジョン・ジギスムンド
 Sigismund.....261,262
 ジョン・ジョージ一世
 George.....103,109
 ジョン・ソビエスキー
 Sobieski.....236,
 280-282,398

- ジョン・デーヴィス
 Davis.....220
 ジョン・ドライデン
 Dryden.....447
 ジョン・ドロンド Dollond.....426
 ジョン・ノックス Knox.....71
 ジョン・ハーヴァート
 Herbert.....223
 ジョン・バプチスト・ホーマン
 Baptist Homann.....431
 ジョン・ハンター Hunter.....429
 ジョン・ハムデン Hampden.....151,157
 ジョン・ピム Pym.....149,153,156
 ジョン・フレデリック
 Frederic.....33,34,36,37
 ションベルヒ Schomberg.....266
 ジョン・ホーキンス
 Hawkins.....219
 ジョン・ライルバーン
 Lilburne.....161
 ジョン・レー Ray.....428
 ジョン・ロック Locke.....209,441,445
 450
 シリー島 Sicily.....168
 寺領還附令(Restitutionsedikt).....107,110
 -112
 シルカッシヤ Circassia.....375
 シルレル Schiller.....447
 シレシヤ Silesia.....111,114,238,
 328-330,332-338,
 340,341,343-346,
 348-353,356,359
 -361,371,374,377,
 389,393
 ス
 スヴァンテロー Svanterå.....246
 スヴァレツ Suarez.....437
 瑞西國憲法51
 スウェンクスズンド
 Swenksund.....392
 スエビー族 Suebi.....260
 スカンデナヴィヤ
 Scandinavia.....11
 スコーネン Schonon.....248,257,310
 スダ Suda.....278
 スタニスラウス・アウグスト・ポニ
 ヤトウスキー Stanislaus August Pon-
 atovsky.....398,399
 スタニスラウス・レスチンスキー
 Leszcinski.....305,306,
 308,322,325,326
 スターレンベルヒ
 Starenberg.....282,339,
 341
 スヂャ・ダウラ -Sudja Daulah.....420
 スチュワート Stuart.....128,130,167
 170,172,185,186,
 190,192,194,201,
 205,208,209,230,
 232,243,291,292,
 320,335,440
 スチリヤ Styria.....102,289,423
 スツットガルト Stuttgart.....241
 スッフラン Suffran.....417,420
 スツームスドルフ平和條約
 Stuhmsdorf.....113,255
 スツールワイセン
 Stuhlweissenburg.....43
 ステッテン Stettin.....246,304,309,
 310,317,346
 ステファヌス・ユニウス・ブルーツ
 Stephanus Junius Bru-
 tus.....436
 ステファン・バトリー
 Stefan Bathory.....
 251,268,395

サン・ジェルマン St. Germain.....62,126
 サン・ジェルマン条約.....239
 サン・ジェルマン秘密同盟条約.....265
 サン・ジェルマン平和条約.....63
 サン・ジェルマン・アン・レイ平和条約
 St. Germain-en-Laye....
 265
 三十年戦役(Thirty Years War)....6,11,13,
 247,254,277,284
 サンテン条約 Xanten.....261
 サン・ドミンゴ San Domingo..183,226
 サンタ・クルズ Santa Cruz.....182
 サンタ・マウラ Santa Maura.....
 サン・ルイ St. Louis.....369
 サン・マロ港 St. Malo.....362
 サラセン人 Saracens.....215
 サラトガ Saratoga...408,409,410,
 413,415
 サラン・ケメン Salan Kemen..284,285
 サリー公 Sully.....120,136
 ザールダム Saardam.....301
 ザールブリュック
 Saarbrueck.....237
 サールルイ Saarlouis.....245
 サルチコフ Saltykow.....350
 サルヂニヤ Sardinia...286,287,297,
 314,318,320,326,
 333,335,336,377
 ザルツァ河 Zaltza.....379
 ザルツブルグ Salzburg.....115,381
 サレー Surrey.....165
 サロン Salon.....450

シ

修道院(Monastery).....68
 シェヴェニンゲン
 Scheveningen.....173
 シェークスピアー

Shakespeare...447,448
 ジレズイト Jesuit.....10,74,76,77,
 85,100,101,104,
 141,252,364,395,
 397,437,438
 シエラッツ Sieradz.....264
 ジェノア Genoa.....44,84,123,
 239
 ジェーン・グレー Jane Gray.....70
 ジェームス James.....196,205
 ジェームス(ヨーク公).....202
 ジェームス一世.....96,102-105,121,
 128,130-136,
 138-148,199,220,
 439
 ジェームス二世.....205-209,242,292,
 296
 ジェームス五世.....49,61,71
 ジェームス六世.....96,97,128
 ジェームス・ウルフ
 Wolfe.....369
 ジェームス・エドワード
 Edward.....292
 ジェームス・クック
 Cook.....430
 ジェームス・ハットン
 Hutton.....430
 ジェームス・ハリントン
 Harrington.....439
 ジェームス・ブラッドレー
 Bradley.....425
 ジェームス・ワット
 Watt.....434
 ジェーム・ネールソン
 Neilson.....433
 シェンブルン Schoembrunn.....430
 シェルド Schelde.....381
 シェルバーン Shelburne.....414
 シェリフ Sheriff.....198

ジギスムンド Sigismund.....261,262
 ジギスムンド一世.....267,393,395
 ジギスムンド二世.....251,267,268,
 393-395
 ジギスムンド三世.....251,252,268,395
 自謙條令(Self-denying Act).....159
 四國同盟.....320
 シシリー Sicily.....83,235,236,
 297,320,326
 システマ・ナチュレ
 Systema Naturae...428
 シストヴァ平和條約
 Sistova.....390,391
 自然哲學の數學的原理(Philosophiae Natur-
 alis Principia Mathem-
 atica).....425
 七年戦役(Seven years War).....387,404
 シチリヤ.....45,213,286,289,291
 首長令(Act of Supremacy).....68,70,93
 シッキンゲンの亂
 Sickingen.....26,27,30
 シッド Cid.....448
 シビル汗 Sibir.....272
 ジブラルタル Gibraltar.....293,296,
 298,313,321,322,
 410,417
 ジーベンビュルゲン
 Siebenbuergen.....114,
 268
 西比利亞(Siberia).....272,273,430
 新教聯盟(Protestant Alliance).....31,101-105
 信仰の擁護者(Defender of the Faith).....67
 審査法(Test Act).....200,204,206
 神聖同盟(Holy Alliance).....47,64,66,84,
 278,282,399
 神聖羅馬皇帝(Holy Roman Emperor).....12,
 20,42,211
 人道學(Humanism).....421,422
 人道學者(Humanist).....19

人民の協約(Agreement of the people).....161
 ジャヴァ Java.....217
 シャウムブルグ伯
 Schaumburg.....370
 常置參事官.....22
 ジャカタラ Jacatra.....217
 ジャック・カッシニ
 Jacques Cassini.....425
 ジャマイカ Jamaica...166,183,417
 ジャン・デ・ウィット
 John de witt.....204
 シャンデルナゴール
 Chandernagor..362,367
 ジャン・パリソー・ド・ラ・ヴァレット
 Jean Parisot de La
 Valette.....83
 シャンブレイン Champlain.....363,369
 ジャン・ボードン Jean Bodin....438,440
 ジャン・ボッケルゾーン
 Jan Bokelsohn.....28
 ジャン・マッチス Jan Mattis.....28
 ジャン・ラランド Lalande.....425
 ジャン・ルロンド・ダレンベル
 Jean Lerond Dalem-
 bert.....427
 シャルトル Chartres.....120
 シュヴァロフ Suwaroff.....389,390
 シュウィツ Schwyz.....51
 シュウィリン Schwerin.....118
 自由禁止權(Luverum Veto).....396,397,399,
 401
 宗教改革(Religious Reformation).....1,6,9,11,
 15,23,40,246,250,
 261,262,394
 宗教檢斷(Inquisition).....74,75,79,80,87,
 89,90,181,214
 重商主義(Mercantilism).....442
 重農主義(Physiocrat).....443
 宗論會.....18

ケ

ケヴェンヒュラー
Khevenhuller..... 330
 教會的保留(Reservatum ecclesiasticum).....99
 橋上戦(Fight at the Bridge).....406
 ゲオルグ校 Georgschule..... 16
 ゲージ Gage..... 405
 ケッセルスドルフ
Kesselsdorf..... 335
 ゲヂミン Gedymin..... 393
 ゲーテ Goethe..... 447
 ゲテボルグ Goeteborg..... 247,255
 ケーニヒスウステルハウゼン條約
Koenigswusterhausen
322
 ケーニヒスベルヒ
Koenigsberg..... 316,445
 ケーニヒスベルヒ條約..... 264
 ケーネー Quesney..... 443
 ケープ・タウン Cape Town..... 218
 ケープ・ブレットン
Cape Breton..... 369,371
 ケプラー John Kepler..... 423
 ゲブリヤン Guebriant..... 114,115
 ケベック Quebec..... 363,369
 原始カントン Urkanton..... 51,52
 ゲンスボロー Gainsborough..... 450
 ゲント Ghent..... 48,90
 ゲント協約 Pacification of Ghent
90-92
 憲法制定議會..... 418
 ケンブリッジ Chambridge..... 157
 ケンブリッジ大學..... 425
 権利の請願(Petition of Right)..... 149,194
 権利の宣言(Declaration of Right)..... 209
 権利法(Bill of Right)..... 209

ケラスコ平和條約
Cherasco..... 123
 ケルチュ Kertch..... 388
 ゲルデルン Geldern..... 297
 ケルン Koeln..... 115,233,240,
241,291,292,297
 ケルン大司教..... 245
 コ
 ゴア Goa..... 216
 後ボメラニヤ Hinter-Pommern.....
117,118,263
 國民大會(Covenant)..... 152
 コサック Cosack..... 268,272,273,
307,394
 コシウスコ Kosciuszko..... 409
 乞食(Guex)..... 90
 ゴタ Gotha..... 31,382
 コチン Kochin..... 217
 黒海(Black Sea)..... 300,375,386,388
 コッペンハーゲン
Copenhagen..... 247,256,
259,305
 コッペンハーゲン大學..... 246
 コッペンハーゲン平和條約..... 257,304
 コート Coote..... 368
 ゴドユー Godheu..... 366
 ゴトランド Gotland..... 248,256
 コニャク Cognac..... 62
 コペルニクス Nicolas Copernicus.....
423,424
 コポリエ Koporye..... 271
 コンヴェンション
Convention..... 195
 コーンウォーリス
Cornwallis..... 414,415
 コンコード Concord..... 406
 コンスタンチノーブル

Constantinople..... 278,
283,300,304
 コンスタンチノーブル平和條約..... 45
 コンスタント Constanz..... 51,52
 コンスタンツ司教..... 51
 コンチ Conti..... 341
 コンデ公 Conde..... 60-62
 コンデ親王..... 115,125-127
 コンネクチカット
Connecticut..... 222,413
 根本法(Original Law)..... 394,395
 コンフェデラチオン
Confederation..... 397
 コンラッド・ゲスネル
Conrad Gesner..... 428
 ゴリチン公 Golytcin..... 299,300
 コリニー Coligny..... 60,62,63
 コリン Kolin..... 347
 コリント Corinth..... 297
 ゴルヅノ Gorzno..... 254
 ゴルドン Gordon..... 301
 コルネイユ Corneille..... 448
 コルフ Corfu..... 319
 コルベール Corbert..... 225-227,
259,231,236,314,
362,443
 コルベルヒ Kolberg..... 351
 ゴレー Goree..... 358,369,371
 コレラー Korela..... 271
 サ
 サー・ウィリヤム・テムプル
William Temple..... 204,
205
 サー・ジェームス・ハリス
James Harris..... 412
 サー・ジョン・イリオット

John Eliot..... 149,150
 サー・トーマス・フェアファックス
Thomas Fairfax.....
158,159
 再洗禮派(Anabaptist)..... 28,29,52
 ザイドリツ Seydliz..... 349
 サーヴ河 Save..... 285
 サヴォイ Savoy..... 55,56,123,
124,232,233,241,
243,244,282,296,
297,320
 サヴォイ公..... 65,242,289
 サウンダース Saunders..... 366
 サクソニヤ Saxony..... 15,57,106,
110,111,114,115,
118,233,240,294,
305-308,310,324,
326,328,329,331-
335,337,340,341,
345-348,351,357,
360,379,382,399,
サクソニヤ選舉公..... 17,18,31,33,60,
100,102,109,112,
325,399,401
 ザスバハ Sasbach..... 236
 サックス・ワイマー
Saxe-Weimar..... 112
 ザハリヤス・ヤンセン
Zacharias Jansen..... 428
 サミュエル・アダムス
Samuel Adams..... 406
 サミュエル・クロンプトン
Crompton..... 432,433
 サミュエル・ジョンソン
Johnson..... 448
 サン・ガレン St. Gallen..... 51
 三國大同盟(Grand Alliance)..... 292,296
 サン・ゴタルド St. Gothard..... 280

ガリレオ Galileo.....424
 カルヴィン Jean Calvin...9,53-57,
 60,71
 カルヴィン派57,71,72,88,89,91,
 92,99,100,118,129
 カルカット Calcutta...221,362,367,
 420
 ガルス Garus.....50
 カルタヘナ Cartagena.....168,331
 カルヂス平和條約
 Cardis.....257
 カルヂナル・ウールゼー
 Cardinal Wolsey.....67
 カルヂナル・カエタヌス
 Cajetanus.....18
 カルヂナル・フルステンブルグ
 Fuerstenburg.....245
 カルナタック Karnatak.....365-368
 カルマル Kalmar.....246
 カルマル戦役247
 カーレンベルヒ Kahlenberg.....282
 カレー Calais.....61,66,70,81,
 94,183
 カレリヤ Carelia.....253,311
 カーロヴィッツ Karlowitz.....318,319
 カーロヴィッツ平和條約
279,285,291,
 カロッデン Culloden.....335

キ

舊教聯盟(Roman Catholic Alliance) ...102,
 104,106,107,109,
 111
 キオス島 Chios.....388
 議會(Cortes).....80
 騎士黨(Cavaliers).....156
 ギース家 Guise.....61-63
 祈禱書(Common Prayer Book) 69,70,82,93

北カロリナ North Carolina.....413
 喜望峯(Cape of Good Hope).....8,216
 貴婦人の和約(Paix des Dames)42
 キプロス Cyprus.....83,85
 キベロン Quiberon.....369
 金章令(Golden Bull).....261
 禁書目録(List of Prohibited Book).....75
 キンブルン Kinburn.....388
 ギヤナ Guiana.....364,417
 キュヴィエー Cuvier.....429,430
 ギュンス Guens.....44,45
 キュメネ河 Kuemene.....391
 キュラサウ Curaçao.....218
 共和自由國(Commonwealth and Free State)
164
 基督教の教則(Institutio Religionis Christi-
 ana)53
 ギルフォード・ダッドレー
 Guilford Dudley.....70

ク

クエーカー教徒(Quaker).....223
 グスタフ・アドルフ
 Gustav Adorf.....102,
 104,107-111,124,
 247,253-255,305,
 434
 グスタフ・ワーズ
 Wasa.....249,250,252,
 446
 クチュック Kutchuk.....272
 クチュック・カイナルヂ平和條約
 Kutueck-Kainardji.....
 376,388
 クニップハウゼン
 Knyphausen...355,356
 グネーゼン Gnesen.....394
 クネルスドルフ Kunersdorf...350,351,

359
 クネーレド平和條約
 Knoeroed.....247,253
 グヤナ Guyana.....218
 クュストリン Kustrin.....317,346
 クライヴ Clive.....368,419,420
 クラカウ Cracow.....305,393
 グラスゴー Glasgow.....434
 クラッツ Graz.....44,45,341
 グラッツ大學423
 グランヴェラ大僧正
 Cardinal Granvella...88
 クランマー Crammer.....69,71
 クラーレンドン伯
 Clarendon.....198
 クリスチナ Christine.....110,255,
 256
 クリスチアナ Christiana.....248
 クリスチャン四世
 Christian.....106,
 247-249,254
 クスリチャン五世.....259
 クリスチャン・フイゲンス
 Huygens.....427
 クリスチャン・フュックセル
 Fuechsel.....430
 クリッソフ Klissow.....305
 グリッソン Grissons.....123
 クリッフォード Clifford.....198
 クリート島 Crete....43,83,277,278
 グリーノック Greenock.....434
 グリニッチ Greenwich.....426
 グリニッチ天文臺.....425
 クリム(クリミヤ)
 Crimea...273,298,299,
 351,375,376,378,
 387,391
 クリム汗國271
 クールランド Curland...108,246,247,

257,268,301,305,
 325,337,392,402
 グルースターシャー
 Gloucestershire.....429
 クレーヴ Cleve....48,121,107,261
 グレゴリー九世Gregory.....79
 グレゴリー十三世.....76
 グレゴリー十四世.....65
 グレゴリー暦76
 グレット Goulette.....85
 グレナダ Grenada.....369,371
 クレビー和議 Crespy.....34,49
 クレフェルド Creferd.....349
 クレメンス Clemens.....64
 クレメンス七世.....31,33,41,67
 クレメンス八世.....121
 クロアチヤ Croatia.....283
 クロヴァチヤ Khrovatia.....393
 グロスワルダイン
 Grosswardein.....280
 クロップストック
 Klopstock.....446
 グロドノ Grodono.....307
 クロムウェル Oliver Cromwell...126,
 127,157-170,
 174-194,196,197,
 203,204,208,218,
 220,439
 クロンスタット Kronstadt.....307
 クロンフォード Cromford.....433
 クロンボルグ Kronborg.....246
 荒原地方(Stepp).....386
 グッステラ Guastela.....346
 グッデループ Guadeloupe...364,369,
 371
 寛容の宣言(The Declaration of Indulgence) ..
204,206
 寛宥令(Tolerance Act)197

.....281,282,284
 英蘭平和條約418
 エリー Ely.....157
 エリオット Elliot.....417
 エリサベス 英) Elisabeth..... 63,70,72,
 81,92-98,121,128
 -130,133,134,136,
 138,220,243,432,
 447
 エリサベス(クロムウ,ルの女).....189
 エリサベス(西)320
 エリサベス(佛)65,82,137
 エリサベス(露)336,360,383,387,391
 エリサベス・クリスチネ
 Elisabeth Christine.....
 317
 エリサベス・シャーロット
 Charlotte239
 エリヒ四世 Erich.....250,251
 エルンスト・アウグスト
 Ernst August.....241
 エルメノンヴィユ
 Ermenonville.....451
 エルピング Elbing.....254
 エルフスボルグ Elfsborg.....255
 エルフルト Erfurt.....16,348
 エルベ河 Elbe.....117,263
 圓顛黨(Roundheads).....156
 エムトランド Jemtland.....248,256

オ

オカ河 Oka.....273
 オステンド Ostend.....321,323
 オスナブリュック
 Osnabrueck.....116,117
 オスマン Osman.....276
 オスロー Oslaw.....248
 オスワルド Oswald.....416

オチャコフ Otchakov.....389,391
 オックスフォード
 Oxford.....157,158
 オックスフォード卿.....295
 オックスフォード大學.....433,441
 オーデル河 Oder.....117,304,329,351,
 392
 オットー大帝 Otto.....260
 オットー・フォン・ゲリッケ
 von Guericke427
 オハヨ Ohio.....368
 オビ河 Obi.....272
 オーフェン Ofen.....43
 オボア Abo.....309
 オボア平和條約.....336
 オンタリオ湖 Ontario.....369
 オーモンド伯 Ormond.....166
 オーランド島 Åland.....309
 オラフ・ペテルソン
 Olav Peterson.....250
 和蘭東印度會社(East India Company)
 216,217
 オリヴァ Oliva.....257,265
 オリヴァ平和條約.....257,304
 オリヴァー・ゴールドスミス
 Oliver Goldsmith.....448
 オリヴァレツ伯 Olivarez.....213
 オリッサ Orissa.....419
 オルコット Orkot.....366
 オルソヴァ Orsova.....380,391
 オールミュツ Olmutz.....349
 オルレアン Orleans.....53
 オルレアン公49,239,321
 オルロフ Orlow.....387
 オレンジ公 Orange.....90-92,94,
 171,172,205,207,
 208,234,237,238,
 240
 オレンジ黨173,219

塊露聯盟.....344,372

カ

海上武装中立(Armed Neutrality at sea)
412,413,415
 ガイ・フォークス Guy Fawkes.....132
 カイル・エッヂン Kair-Eddin.....45,46
 航海條令(Navigation Act).....172,173,180,
 190,403
 カウカサス山脈Caucasus.....327
 高等法院(High Court of Justice).....420
 カウニツ Kaunitz...338,339,341,
 342,344,346,352,
 378,380
 ガエタ Gaeta.....18
 カザン汗國 Kazan.....271
 カサル Casale.....238,242
 カシミール大王Kasimir.....393
 カステリヤ Castile...78,80,89,213,
 295
 カスピ海 Caspian Sea.....311
 家族協約(Family Agreement)359,372
 カタニヤ Catania236
 カタリナ(英) Catharine.....41,67,68,
 70
 カタリナ(佛)61-64,121
 カタリナ(波)251,395
 カタリナ(葡)203
 カタリナ・イワノフナ.....310
 カタリナ二世336,360,372,380,
 382,384-387,391,
 392,398,411,424
 カタロニヤ Catalonia.....80,236
 カヂス Cadiz.....98
 カッシニ伯 Cassini.....425
 カッシニ・ド・チュリー
 de Thury.....425
 カッペル Kappel.....52

カッペル平和條約
 Landfried von Kappel
 52,53
 カテガット海 Kattegat.....247
 カトール・カムブレシー平和條約
 Cateau Cambresis.....
 50,74,81,94
 カナダ Canada....120,226,358,
 363,369,371,403,
 406,413,414
 カバル Cabal.....198
 カバルダ Kabarda...375,376,388
 カプシン派 Capucin.....78
 カミニエチ Kaminieč.....281
 カミン Kamin.....118,263
 上ライン地方 Upper Rhine.....240
 監察官(Inspector).....122
 カンタベリー大司教
 Canterbury.....
 67-69,151
 カンヂヤ Candia.....278
 カント Immanuel Kant...425,
 445,446
 カントン Canton.....51-53
 監督會(Konsistorium)56
 カムバーランド公
 Camberland....335,347
 カムブレール平和條約
 Cambrai.....32,42,44
 ガラス Gallas.....112
 カラッファ Caraffa.....107
 カラブサ Carabusa.....278
 カラ・ムスタファ Kara Mustafa..281,319
 ガリヴァー旅行記
 Galivar.....447
 ガリチヤ Galicia....306,390,400
 カリッシュ Kalish.....264,390
 カリンチヤ Carinthia.....37

207, 208, 234
 ウィリヤム(カムバーランド公) 335, 347
 ウィリヤム(シャウムブルグ伯) 370
 ウィリヤム三世 209, 232, 233, 241-244, 291, 292
 ウィリヤム城 362
 ウィリヤム・セシル Cecil 94
 ウィリヤム・ハーヴェイ Harvey 429
 ウィリヤム・ハンター Hunter 429
 ウィリヤム・ピット Pitt 348, 421
 ウィリヤム・ファレル Farel 53
 ウィリヤム・ベン Pen 182, 183, 223
 ウィリヤム・ヘルシエル Herschel 425
 ウィリヤム・ラウド Laud 150
 ウィルドハウス Wildhaus 50
 ヴィルヌーヴ Villeneuve 326
 ウェステロス Westrás 249
 ウェストファリヤ Westphalia 28, 117
 ウェストファリヤ平和條約 93, 116, 117, 119, 125, 126, 170, 229, 230, 232, 237, 256, 257, 263, 277, 286, 304, 311, 315
 ウェストミンスター Westminster 158, 205, 235
 ウェストミンスター條約 340, 342, 343, 345
 ウェストミンスター寺 Westminster Abbey

425
 ウェーゼル河 Weser 117, 263, 304
 ヴェニス Venice 42, 83-85, 121, 277-280, 282, 285, 302, 318, 319
 ヴェネチヤ Venetia 380
 ヴェネーブル Venable 182
 ウェンデン Wenden 251
 ウェントウォース Wentworth 151
 ウェンド人 Wends 260
 ウェーラウ平和條約 Wehlau 264
 ヴェラスケス Velasquez 449
 ヴェルサイユ Versailles 333, 417
 ヴェルサイユ新條約 345
 ヴェルサイユ條約 342, 343
 ヴェルサイユ平和條約 418, 421
 ヴェルジャンヌ Vergennes 409, 416
 ヴェルダン Verdun 37, 50, 60, 117
 ヴェルデン Verden 106, 117, 256, 310
 ヴェレロー平和條約 Werelā 392
 ヴォルガ河 Volga 271
 ウォルター・ラレー Walter Raleigh 220
 ヴォルテール Voltaire 317, 450, 451
 ヴォーバン Vauban 228, 450
 ウォルムス Worms 24, 332
 ウォルムス勅令 25, 31, 32
 ウォルムス帝國議會 24
 ウォルムス同盟條約 332
 ヴォリニヤ Wolynia 392, 401
 ウォリン Wollin 311, 317
 ヴォロネッシュ Woronesh 300
 ウォロンツォフ Woronzov 385
 ウクライナ Ukraina 281, 285, 358, 392

ウースター Worcester 167
 ウセドム Usedom 311, 317
 ウーデナルド Oudenarde 294
 ウード Oudh 420
 ウプサラ Upsala 252
 ウプサラ大學 255, 428
 海の乞食(Gueux on Sea) 90
 ウンテルワルデン Unterwalden 51
 ヴュルツブルグ Wuerzburg 110
 ヴュルテンベルヒ Wuerttemberg 119, 138, 345, 423
 ウラヂスラウ四世 Wladislaw 267
 ウラヂスラウ七世 125
 ウラヂスラウ・ロキエテック Lokietec 393
 ウラル山脈 Ural 272
 ウランゲル Wrangel 115
 ウリ Uri 51
 ウールストルプ Woolsthorp 424
 ウールゼー大僧正 Cardinal Wolsey 41
 ウルリッケ・エレオノーレ Ulrike Eleonore 309
 ウルム休戰條約 Ulm 115
 ウルストラ・コッタ Ursula Cotta 16
 エ
 エギナ Aegina 279
 エグモント伯 Egmont 90
 エゲル Eger 112
 英國教會(England Church) 93
 英國王立學士院(Royal Academy of England) 200
 エコランパヂウス Oekolampadius 54

衛戍驍隊(Royal Regiments of Guards) 198
 エストラランド Esthland Esthonia 108, 251, 257, 271, 304, 307, 311
 エステルハッチー Esterhazy 344
 エーゼル Oesel 246, 248, 256, 311
 エジンバラー Edinburgh 153, 167
 エジンバラー條約 72
 エッセックス Essex 173
 エッセックス伯 158
 エドモンド・カートライト Edmond Cartwright 432, 433
 エドモンド・スペンサー Spenser 447
 エドモンド・バーク Edmund Burk 421
 エドモンド・ハレー Halley 425
 エドワード Edward 49
 エドワード六世 68-71, 93
 エドワード・ジェンナー Jenner 429
 エドワード・ハイド Hyde 198
 英佛戰爭(Anglo-French War) 107
 英佛西平和暫定條約 418
 英普聯盟(Anglo-prussian Alliance) 372
 英米平和條約 417
 英米平和暫定條約 416
 エマニョエル三世 Emanuel 331
 エマニョエル大王 85
 エムデン Emden 437
 エンゲル Enger 332
 エンメリク・テケリ Enmerch Toekoeli

115.
 200
 150
 60
 505
 750
 505
 245

アンドレヤス・ヴェサリウス
Andreas Vessarius...429
 アンドレヤス・ドリヤ
Doria...63
 アントワース・ド・ジュッシュエ
Antoine de Jussieu...428
 アントワース・ラヴォアジエ
Lavoisier...428
 アントワース・ローラン
Laurent...429
 アントワープ Antwerp...88,90,294
 アンナ(丁) Anna...383
 アンナ(佛) ...124-126
 アンナ(洪) ...267
 アンナ(露) ...325,327,386
 アンナ・ヤゲロ Jagello...395
 アンネ(英) Anne...244,292,295,425
 アンネ(西) ...137,286
 アンネ・ボレーン
Boleyn...68
 アンハルト Anhalt...112,182,382
 アンハルト・ツェルプスト
Zerbst...336,383
 アムプロワーズ・パレー
Ambroise Pare...429
 アムボイナ Amboyna...217,221
 アンリエッタ Henrietta...167
 アンリエッタ・マリヤ
Maria...170
 アラゴン Aragon...80
 アーリントン Arlington...198
 アルヴァ Alva...90
 アルサス Alsace...113,118,124,
234,235,237,240,
244,265
 アルジェリヤ Algeria...45,48,182
 アルタ河 Aluta...380
 アルトア Aktois...124,127
 アルトマルク Altmark...254,260

アルトマルク休戦條約...254
 アルトランステット
Altranstedt...306
 アルバ Alba...34
 アルバニヤ Albania...278,279
 アルハンゲルスク
Arkhangelsk...219
 アルビジョア教徒
Albigenses...79
 アルプス山脈 Alps...9,123,422
 アルブレヒト Albrecht...260,262
 アルブレヒト・アルキビヤデス
Alcbiades...38
 アルブレヒト・チュラー
Duerer...26,426,449
 アルブレヒト・ハレル
Haller...429
 アルブレヒト・フレデリック
Frederick...262
 アルベマール公Duke of Albemarle...
196
 アルベリコ・ジェンチリ
Alberico Jenchili...441
 アルベロニ Alberoni...320,321
 アレアンデル Aleander...24
 アレガニー山脈Alleghany...414
 アレクサンダー・ハミルトン
Alexander Hamilton...
418
 アレクサンダー・ポープ
Pope...447
 アレクサンドル・ファルネース
Farnese...91
 アレクサンドル・レスリー
Alexander Leslie...153
 アレクセイ Alexei...298,299
 アレッサンドロ・ヴォルタ
Alessandro Volta...427
 アロイジオ・ガルヴァニ

Aloisio Galvani...427
 イ
 イェニカーレ Jenikale...388
 イェニチェリー Janissary...276,278,283
 イエルマック Jermak...272,273
 イグナチウス・ロヨラ
Ignatius Loyola...76
 イサベラ Isabella...45,65,78,212
 イスマイル Ismail...390
 一門 Family...398
 イルチシュ河 Irtish...273
 イン河 Inn...379
 イン地方 ...379
 インゲルマンランド
Ingermanland...108,
251,253,311
 インゴルスタット
Ingolstadt...18
 インストルメント・オブ・ガヴァー
メント Instrument of Govern-
ment...178
 インスブルック Insbruck...37
 インデペンデント
Independents...159,160
-162,164,167,175
 インノセント三世
Innocent...79
 インノセント十一世...239
 インノセント十二世...290
 イワン三世 Ivan...3,270,271,274,
298-300
 イワン四世 ...3,251,271-274,
298,300,304
 イワン・マセバ Masepa...307
 ウ

ウァイマー Weimar...382
 ヴァイル Weil...423
 ヴァスヴァル平和條約
Vasval...280
 ヴァージニヤ Virginia...220,222,
368,369,406,413,
414,416
 ヴァッシー Vassy...62
 ヴァン・ダイク Van Dyke...449
 ヴァンドーム Vendome...294,295
 ヴァルテリヌ Valteline...123,124
 ヴァレンシヤ Valencia...80
 ヴァロア家 Valois...64
 ヴィクトル・アマデウス
Victor Amadeus...242,
291
 ヴィクトル・アマデウス二世...297
 ウィクリフ Wycliffe...5,68,446
 ウィスコンシン Wisconsin...364
 ヴィスチュラ Vistula...254,262
 ウィスマル Wismar...256,304
 ウィチ Vitti...217
 ウィヂン Widdin...283,284,380
 ウィッテンベルヒ大學
Wittenberg...9,15,250
 ウィッテルスバハ
Wittelsbach...260,261,
378,379
 ウィーン Wien...44,45,50,82,
114-116,267,278,
280-283,301,302,
393,426,430
 ウィーン條約 ...322
 ウィーン平和條約...326
 ウィンズール Winsor...200
 ヴィーランド Vieland...446
 ヴィラール Villars...297
 ウィリヤム(オレンヂ公)
William...90-94,205,

ア

愛國者(Patriot)399,400
 アイスレーベン Eisleben16
 アイゼナハ Eisenach16
 アイドゲノット Eidgenot55
 アイナリ・カウァック條約
 Ainali Kawak379
 アイヤトン Ireton166,197
 アーウェー Hauy430
 アーガイル公 Argyle167
 アウグスチン派 Augustine16,26
 アウグスト二世 August311,398
 アウグスト三世326,328,398
 アウグスブルグ Augusburg18,30,37,
 112,233,449
 アウグスブルグの告白(Confession of
 Augusburg)32
 アウグスブルグ宗教平和
38,99,100,118
 アウグスブルグ帝國議會
32,33,35,38
 アウグスブルグ臨時法(Intention of
 Augusburg)35,36,38
 アウグスブルグ聯盟240
 アウラングゼブ Aurungzeb
361,362,365
 アカヂヤ Acadia296,364
 アクセル・オクセンスチエルナ
 Axel Oxenstierna
111,248,255,256
 アクメット Achmet278,284
 アクメット・キュブリリ
 Kuprili280,281
 アーサー Arthur67
 アジャッフエンブルグ
 Aschaffenburg331
 アジュテーター Adjutator161

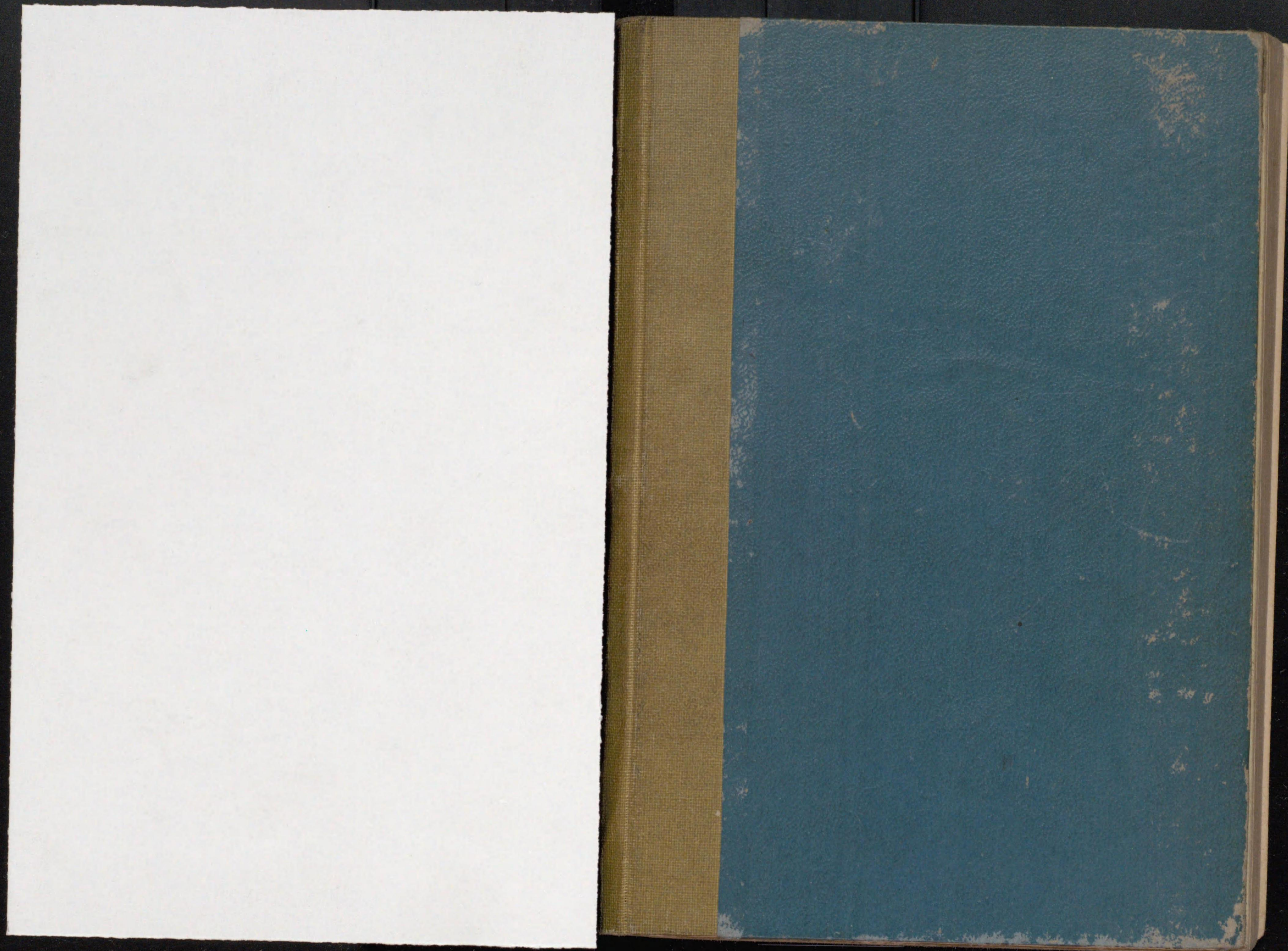
アシュレイ Ashley198
 アスカニヤ Ascania260
 アストラハン Astrakhan271
 アゾーフ Azov285,300,301,
 304,308,318,375,
 276,386-388
 アダム・スミス Adam Smith443
 アダム・リーゼ Riese426
 アッシェント Assiento297
 アテネ Athens279
 アドリヤン Adrien429
 アーネスト Earnest106
 アパフイ Apafy280,284
 アフガン人 Afghan363,367
 アブラハム・ゴットローブ・ウェルネル
 Werner430
 アーヘン平和條約
 Aachen .. 205,234-237,
 265
 アベル・タスマン
 Abel Tasman217
 アンギャン Enghien115
 アンシクロペヂスト
 Encyclopedist451
 アンジュー Anjou268,395
 アムステルダム Amsterdam234,301
 アムステルダム銀行214
 アンスバハ Ansbach379,382
 アンチルス諸島 Antilles358,369
 アントニー・ヴァン・レーウエンフック
 Antony Van Leeuwen-
 hock428
 アントン Anton60-62
 アントン・フォン・デーメン
 von Diemen217
 アントン・ヘンシウス
 Hensius291
 アンドレヤ・ツェサルピニ
 Andrea Cesalpini ... 428

22

索引目次

ア	1	ネ	22
イ	3	ノ	23
ウ	3	ハ	23
エ	5	ヒ	24
オ	6	フ	25
カ	7	ヘ	29
キ	8	ホ	30
ク	8	マ	31
ケ	10	ミ	32
コ	10	ム	33
サ	11	メ	33
シ	12	モ	33
ス	15	ヤ	34
セ	16	ユ	34
ソ	17	ヨ	34
タ	17	ラ	34
チ	18	リ	35
ツ	19	ル	36
テ	19	レ	37
ト	20	ロ	37
ナ	21	ワ	38
ニ	21		

556
481

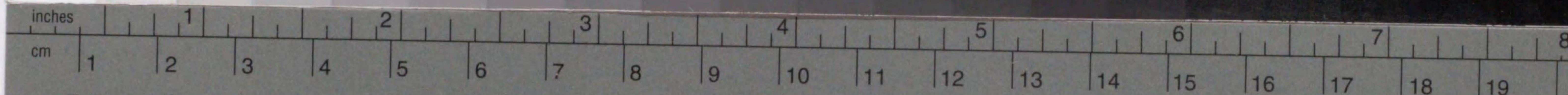


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

